

令和 8 年度

第 1 回市民意識調査 報告書

調査期間

(自) 令和 8 年 (2026 年) 6 月 22 日 (月)

(至) 令和 8 年 (2026 年) 7 月 5 日 (日)

令和 8 年 8 月

札幌市

目 次

1	調査概要	3
1.	目的	3
2.	設問項目	3
3.	調査設計	3
4.	回収結果	3
5.	集計・分析上の留意事項	3
6.	回答者属性	4
2	調査結果の詳細（第1回調査）	5
Theme 1.	市民の自転車利用について	5
1-1	自転車利用時の交通ルールの認知状況	5
1-2	運転免許の保有状況	6
1-3	自転車の利用頻度	7
1-4	自転車の利用目的	8
1-5	1日の自転車利用時間	9
1-6	走行する機会の多い場所	10
1-7	自転車損害賠償保険の加入について	11
1-8	自転車で歩道を走行する理由	12
1-9	ヘルメット着用の有無	13
1-10	自転車の歩道上での走行スピードについて	15
1-11	矢羽根型路面表示について	16
1-12	効果的な自転車交通事故防止の取り組み	17
Theme 2.	雪対策に関する取り組みについて	18
2-1	除排雪作業に注力してほしい道路種	18
2-2	緊急排雪の実施について	19
2-3	大雪時の幹線道路の通行環境について	21
2-4	大雪時の生活道路の通行環境について	22
2-5	気象警報発表時の行動について	23
2-6	大雪発生時の必要な情報について	24
2-7	雪に関する情報提供手段について	25
2-8	役に立った「冬の暮らしに関する情報」について	26
2-9	雪処理の方法	27
2-10	「融雪施設設置資金融資あっせん制度」について	28
2-11	有料除排雪サービスの利用について	29
Theme 3.	防災意識・災害への備えについて	30
3-1	災害への備えに対する考え方	30
3-2	災害への備えのきっかけ	31
3-3	地震や風水害への対策	32
3-4	備蓄目安への認識の有無	33
3-5	備蓄状況（[ア]飲料水）	34
3-6	備蓄状況（[イ]食料）	35
3-7	備蓄状況（[ウ]携帯トイレ）	36
3-8	3日以上備蓄が困難な理由等	37
3-9	3日以上備蓄を開始した方法	39
3-10	暮らしの中での備蓄の工夫	40
3-11	冬の災害への備え	41
3-12	停電（ブラックアウト）時の避難場所	42
3-13	避難しようと思う理由	43
3-14	理想の暮らしについて	44

Theme 4.	「札幌芸術の森」の魅力向上に向けた今後の施設の在り方について	45
4-1	「札幌芸術の森」への訪問の有無	45
4-2	「札幌芸術の森」への同行者について	46
4-3	「札幌芸術の森」の訪問の目的と頻度	47
4-4	「札幌芸術の森」の訪問で感じたこと	52
4-5	「札幌芸術の森」を訪れたことがない理由	54
4-6	「札幌芸術の森」の魅力向上に寄与すると思う取り組み	55
4-7	「札幌芸術の森」についての自由意見	56
Theme 5.	さぼーとほっと基金について	57
5-1	さぼーとほっと基金についての認知状況	57
5-2	さぼーとほっと基金を知ったきっかけ	58
5-3	さぼーとほっと基金への寄付の有無	59
5-4	さぼーとほっと基金への寄付の意思	60
5-5	さぼーとほっと基金への寄付の際に重要視する点	61
5-6	さぼーとほっと基金で利用したい決済方法	62
5-7	寄付をしたいと思う「市民まちづくり活動」と「6 寄付したいと思わない」理由	63

1 調査概要

1. 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 8 年度第 1 回調査では、「札幌市民の自転車利用について」「雪対策に関する取り組みについて」などをテーマとして設問を構成している。

2. 設問項目

令和 8 年度第 1 回調査のテーマは、以下の通りである。

- 【テーマ 1】札幌市民の自転車利用について
- 【テーマ 2】雪対策に関する取り組みについて
- 【テーマ 3】防災意識・災害への備えについて
- 【テーマ 4】「札幌芸術の森」の魅力向上に向けた今後の施設の在り方について
- 【テーマ 5】さぼーとほっと基金について

3. 調査設計

調査地域	札幌市内
調査対象	満 18 歳以上の男女個人
標本数	5,000 人
調査方法	調査票を郵送し、返信用封筒で回収
調査期間	令和 8 年（2026 年）6 月 22 日（月）～7 月 5 日（日）
抽出方法	住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」

4. 回収結果

発送数	5,000
回収数（率）	2,411（48.2%）
WEB 回答	なし（郵送回答のみ）

5. 集計・分析上の留意事項

報告書内の図表では、各設問の集計対象者数を「N」、性別・年代別などのクロス集計における各属性区分の集計対象者数を「n」と表記している。なお、回答対象者が限定される設問については、当該設問の回答対象となる人数を N としている。

複数回答の設問では、各選択肢を選んだ人数を N または n で除して選択率を算出しているため、各選択肢の比率の合計は 100%を超える場合がある。

また、「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など、複数の選択肢を合算した比率については、各選択肢の回答者数を合計した上で N または n を分母として算出している。このため、図表に表示された比率を単純に加算した数値と一致しない場合がある。

クロス集計の分析に当たっては、属性区分によって n が少ない場合があるため、該当する区分の数値については参考値として留意する必要がある。

なお、クロス集計表では、各属性区分の値が対象者全体の値と比較して 10 ポイント以上高い場合は網掛け、10 ポイント以上低い場合はアンダーラインを付している。

6. 回答者属性

縦軸	(実数/比率)	n	1. 男性	2. 女性	3. その他	無回答
全体		2411	964	1395	10	42
			40.0%	57.9%	0.4%	1.7%
年齢(F2)	18～19歳	20	7	12	0	1
			35.0%	60.0%	0.0%	5.0%
	20～29歳	116	45	65	2	4
			38.8%	56.0%	1.7%	3.4%
	30～39歳	209	81	127	0	1
			38.8%	60.8%	0.0%	0.5%
	40～49歳	351	140	209	1	1
			39.9%	59.5%	0.3%	0.3%
	50～59歳	452	171	270	6	5
			37.8%	59.7%	1.3%	1.1%
	60～69歳	488	191	294	1	2
			39.1%	60.2%	0.2%	0.4%
	70～74歳	270	121	147	0	2
			44.8%	54.4%	0.0%	0.7%
	75歳以上	475	206	264	0	5
			43.4%	55.6%	0.0%	1.1%
	無回答	30	2	7	0	21
			6.7%	23.3%	0.0%	70.0%
居住区(F3)	中央区	283	115	162	3	3
			40.6%	57.2%	1.1%	1.1%
	北区	312	126	183	2	1
			40.4%	58.7%	0.6%	0.3%
	東区	297	113	181	0	3
			38.0%	60.9%	0.0%	1.0%
	白石区	252	102	147	2	1
			40.5%	58.3%	0.8%	0.4%
	厚別区	173	71	99	0	3
			41.0%	57.2%	0.0%	1.7%
	豊平区	279	95	177	1	6
			34.1%	63.4%	0.4%	2.2%
	清田区	142	57	81	1	3
			40.1%	57.0%	0.7%	2.1%
	南区	187	79	105	0	3
			42.2%	56.1%	0.0%	1.6%
	西区	282	119	162	0	1
			42.2%	57.4%	0.0%	0.4%
	手稲区	177	81	95	0	1
			45.8%	53.7%	0.0%	0.6%
	無回答	27	6	3	1	17
			22.2%	11.1%	3.7%	63.0%
職業(F4)	会社員	710	401	297	5	7
			56.5%	41.8%	0.7%	1.0%
	公務員	86	53	32	1	0
			61.6%	37.2%	1.2%	0.0%
	自営業	114	73	40	0	1
			64.0%	35.1%	0.0%	0.9%
	パート・アルバイト	393	69	321	0	3
			17.6%	81.7%	0.0%	0.8%
	主婦・主夫	374	9	361	0	4
			2.4%	96.5%	0.0%	1.1%
	学生	40	19	20	0	1
			47.5%	50.0%	0.0%	2.5%
	無職	563	296	259	1	7
			52.6%	46.0%	0.2%	1.2%
	その他	87	34	48	3	2
			39.1%	55.2%	3.4%	2.3%
	無回答	44	10	17	0	17
			22.7%	38.6%	0.0%	38.6%
同居家族(F5)	配偶者	1465	657	793	5	10
			44.8%	54.1%	0.3%	0.7%
	乳幼児（0～2歳程度）	48	14	33	0	1
			29.2%	68.8%	0.0%	2.1%
	就学前児童（3～5歳程度）	78	25	53	0	0
			32.1%	67.9%	0.0%	0.0%
	小学生（6～12歳程度）	186	72	112	1	1
			38.7%	60.2%	0.5%	0.5%
	中学生（13～15歳程度）	126	57	68	0	1
			45.2%	54.0%	0.0%	0.8%
	高校生（16～18歳程度）	118	42	74	1	1
			35.6%	62.7%	0.8%	0.8%
	大学（院）・専門学校生	110	44	64	0	2
			40.0%	58.2%	0.0%	1.8%
	65歳以上の高齢者	305	110	192	0	3
			36.1%	63.0%	0.0%	1.0%
	上記「1」～「8」以外の方	457	153	294	2	8
			33.5%	64.3%	0.4%	1.8%
	いない	476	181	285	3	7
			38.0%	59.9%	0.6%	1.5%
	無回答	32	6	8	0	18
			18.8%	25.0%	0.0%	56.2%

2 調査結果の詳細（第1回調査）

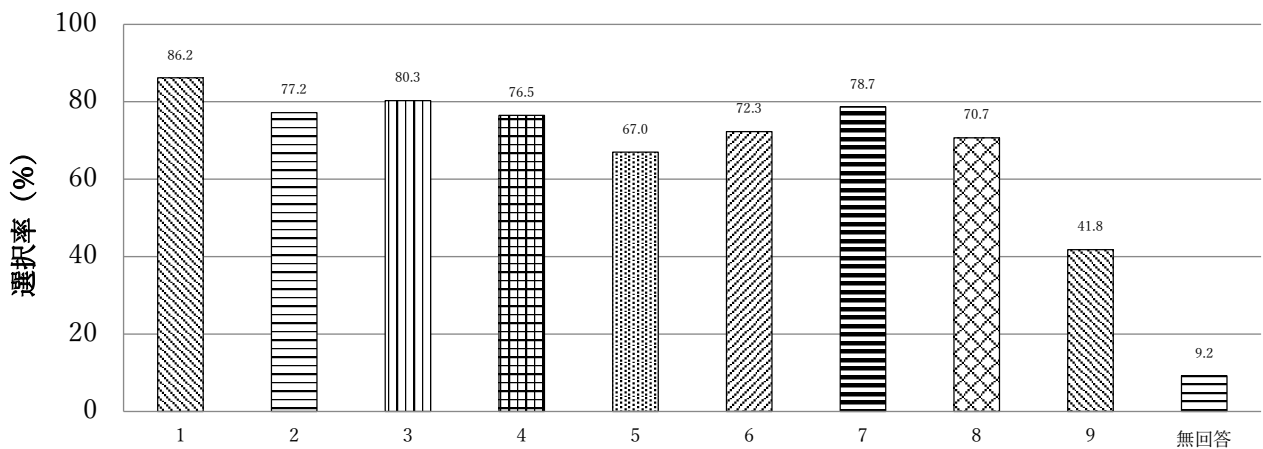
Theme 1. 市民の自転車利用について

札幌市では、交通道德の向上と交通環境の改善を図るために市民運動を展開し、札幌市を明るく快適な交通安全都市とすることを目的とし、様々な活動を実施している。以下の設問は、市民の皆様の自転車利用の状況を把握し、今後の活動の参考に寄与することを目的として実施した。

1-1 自転車利用時の交通ルールの認知状況

【問 1】自転車の安全利用についてお聞きます。以下は全て自転車に関係する正しいルールです。このうち、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

●「青切符・反則金制度」が86.2%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる青切符と反則金）が令和8年4月から導入されている	2. 自転車は原則、車道の左側を走ることであり、歩道走行する場合は決められている	3. 自転車では歩道を走る時は、歩行者を優先する	4. 自転車では歩道を走る時は、歩行者に危険がないよう徐行しなければならない	5. 自転車では歩道を走る時は、歩行者の妨げになりそうなのは一時停止しなければならない	6. 一時停止の標識は、自転車も一時停止し、安全を確認しなければならない	7. 自転車乗車用ヘルメットの着用が義務づけられている	8. 車が自転車を追いつく時は、十分な離隔を確保するか、その間隔に応じて減速しなければならない	9. 車が自転車を追いつく時は、自転車も車が追いつきやすいように左側に寄らなければならない	無回答
全体		2411	2079	1861	1937	1844	1615	1744	1898	1704	1009	223
			86.2%	77.2%	80.3%	76.5%	67.0%	72.3%	78.7%	70.7%	41.8%	9.2%
性別(F1)	男性	964	861	796	809	754	678	736	768	741	455	74
			89.3%	82.6%	83.9%	78.2%	70.3%	76.3%	79.7%	76.9%	47.2%	7.7%
	女性	1395	1177	1032	1087	1054	907	973	1091	931	534	143
			84.4%	74.0%	77.9%	75.6%	65.0%	69.7%	78.2%	66.7%	38.3%	10.3%
	その他	10	8	8	10	10	10	8	10	8	6	0
			80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	80.0%	60.0%	0.0%
	無回答	42	33	25	31	26	20	27	29	24	14	6
			78.6%	59.5%	73.8%	61.9%	47.6%	64.3%	69.0%	57.1%	33.3%	14.3%
年齢(F2)	29歳以下	136	111	99	111	106	96	95	102	87	60	16
			81.6%	72.8%	81.6%	77.9%	70.6%	69.9%	75.0%	64.0%	44.1%	11.8%
	30～39歳	209	185	169	184	170	147	145	162	169	103	11
			88.5%	80.9%	88.0%	81.3%	70.3%	69.4%	77.5%	80.9%	49.3%	5.3%
	40～49歳	351	309	279	281	272	236	252	275	266	134	27
			88.0%	79.5%	80.1%	77.5%	67.2%	71.8%	78.3%	75.8%	38.2%	7.7%
	50～59歳	452	392	353	360	344	300	320	352	335	189	44
			86.7%	78.1%	79.6%	76.1%	66.4%	70.8%	77.9%	74.1%	41.8%	9.7%
	60～69歳	488	439	392	407	390	335	377	411	375	191	32
			90.0%	80.3%	83.4%	79.9%	68.6%	77.3%	84.2%	76.8%	39.1%	6.6%
	70歳以上	745	618	550	572	543	487	534	574	448	322	89
			83.0%	73.8%	76.8%	72.9%	65.4%	71.7%	77.0%	60.1%	43.2%	11.9%
	無回答	30	25	19	22	19	14	21	22	24	10	4
			83.3%	63.3%	73.3%	63.3%	46.7%	70.0%	73.3%	80.0%	33.3%	13.3%

【全体】多くの性別・年代で「青切符・反則金制度」が最も高い。

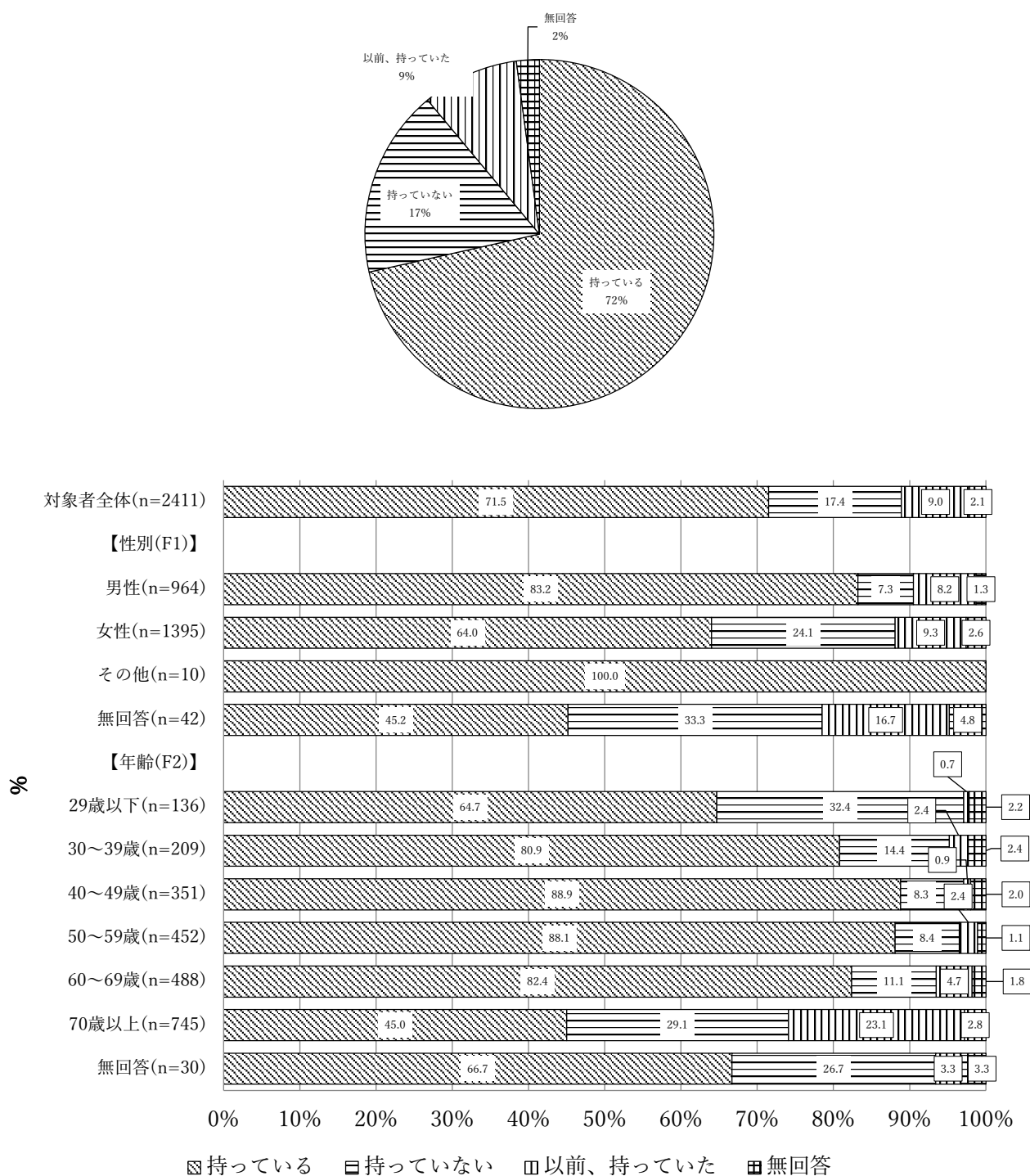
【性別】「車の追越し時の離隔・減速」は男性76.9%で、女性66.7%を10.2ポイント上回る。

【年代】「車の追越し時の離隔・減速」は30歳代80.9%、70歳以上60.1%で差が大きい。

1-2 運転免許の保有状況

【問 2】あなたは、自動車やオートバイの運転免許を持っていますか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

●性別・年代別とも「持っている」が最も高い。



【全体】性別・年代別とも「持っている」が最も高い。

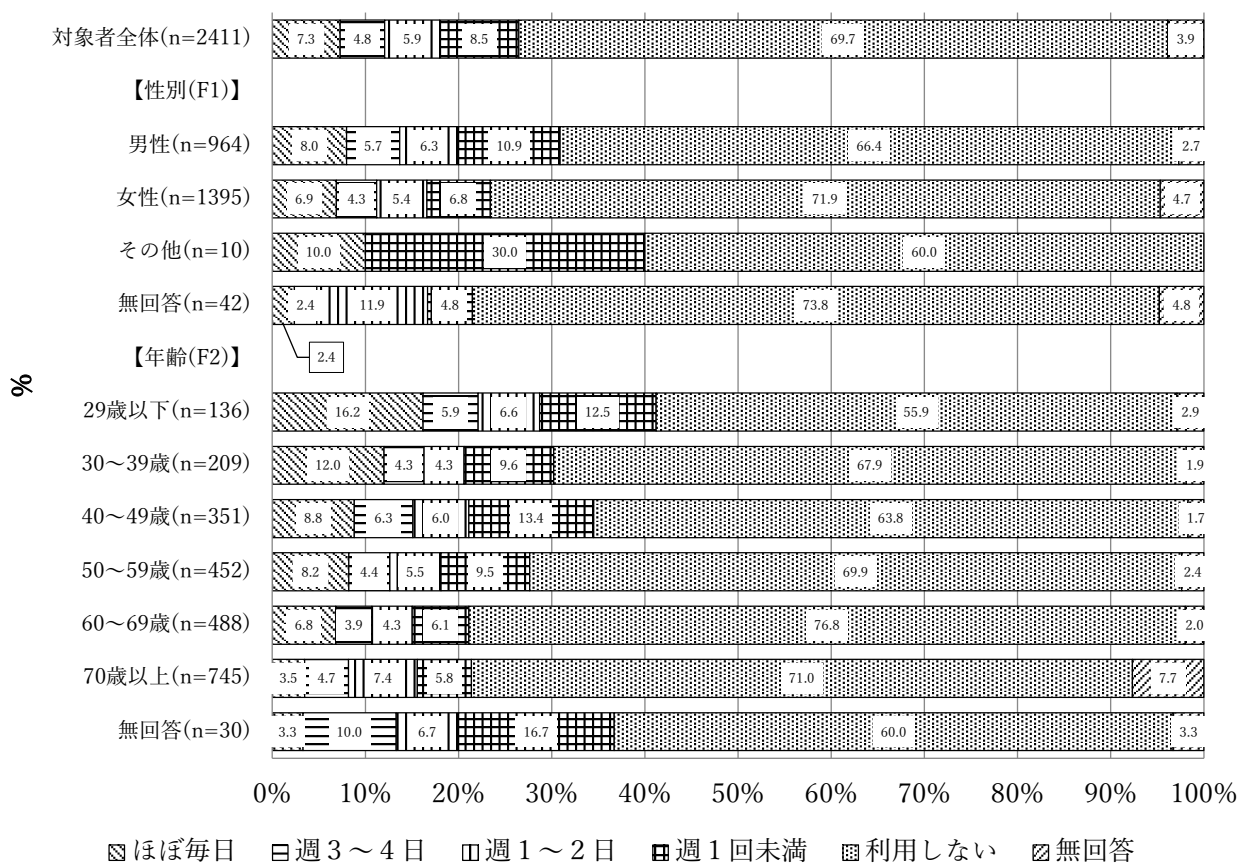
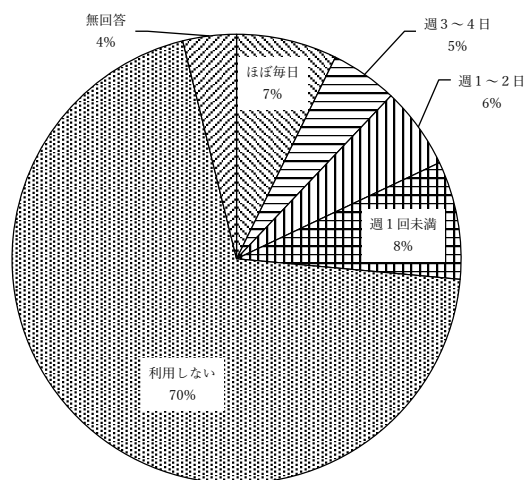
【性別】「持っている」は男性 83.2%で、女性 64.0%を 19.2 ポイント上回る。

【年代】「持っている」は 40 歳代 88.9%、70 歳以上 45.0%で差が大きい。

1-3 自転車の利用頻度

【問3】あなたが自転車を利用する頻度はどのくらいですか。夏期(4月～10月)の状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「利用しない」が69.7%で最多。



【全体】性別・年代別とも「利用しない」が最も高い。

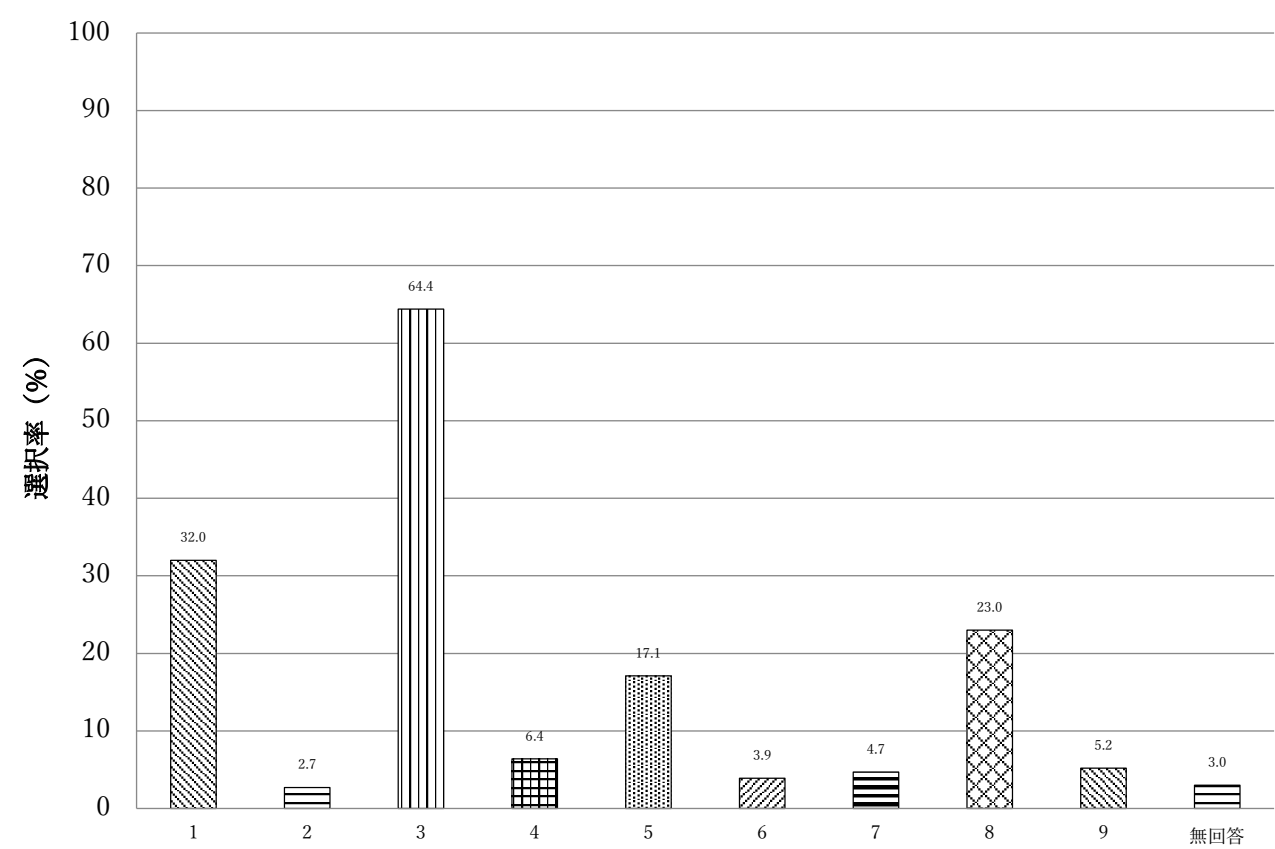
【性別】「利用しない」は女性71.9%で、男性66.4%を5.5ポイント上回る。

【年代】「利用しない」は60歳代76.8%、29歳以下55.9%で差が大きい。

1-4 自転車の利用目的

【問4】あなたの自転車の利用目的について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「買い物」が 64.4% で最多。



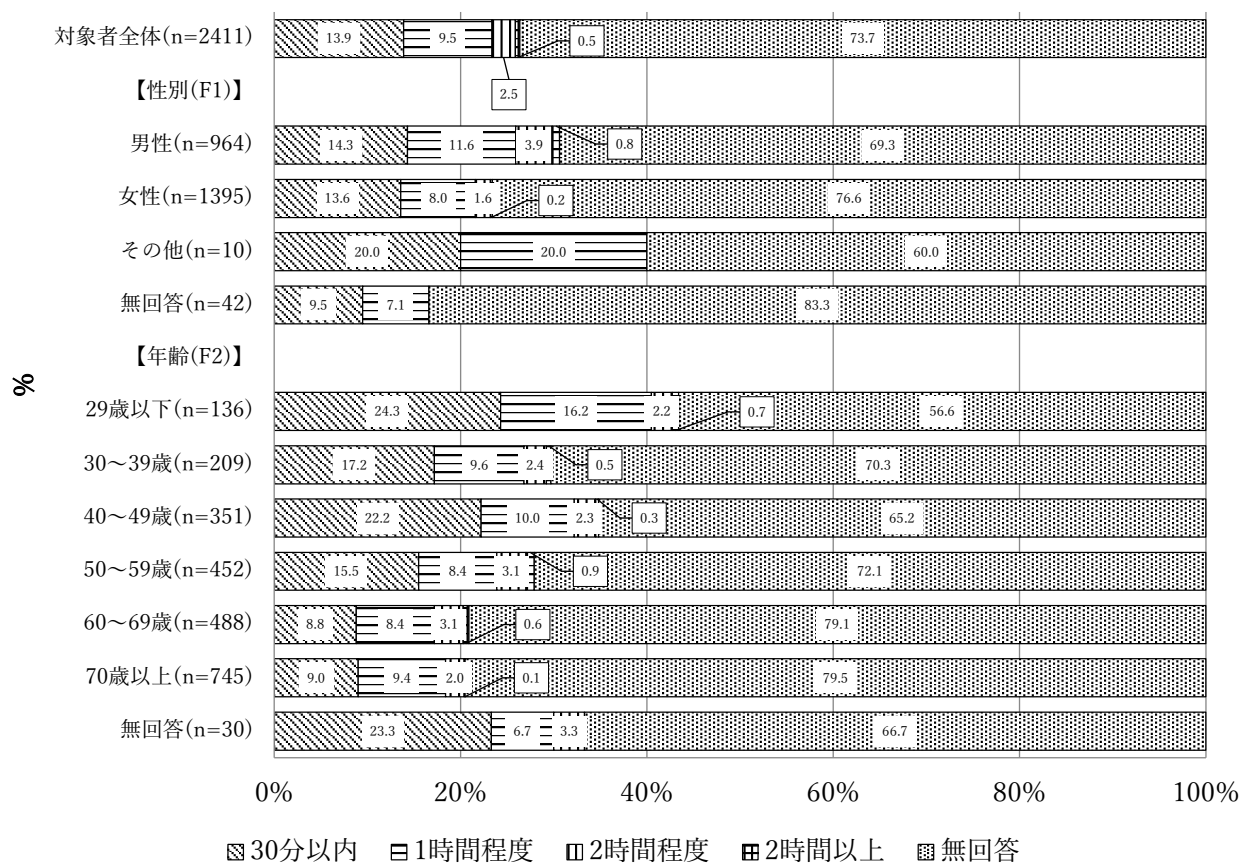
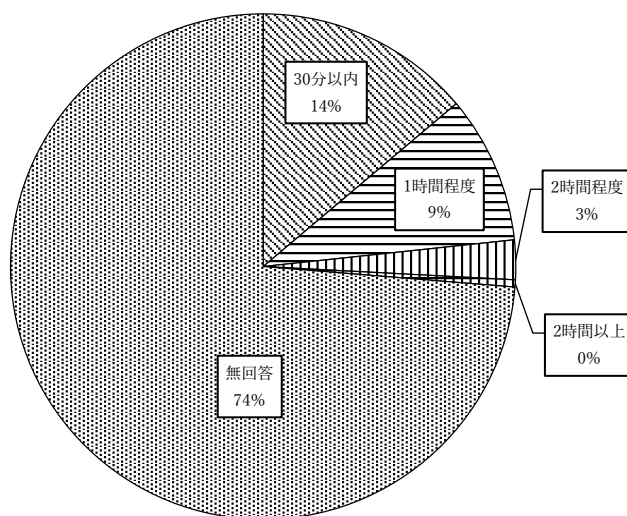
F項目		(実数/比率)	n	1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 仕事・業務	5. 通院	6. 送迎	7. 習い事	8. レジャー	9. その他	無回答
全体			638	204	17	411	41	109	25	30	147	33	19
性別(F1)	男性		298	88	9	171	24	43	10	8	98	21	8
				29.5%	3.0%	57.4%	8.1%	14.4%	3.4%	2.7%	32.9%	7.0%	2.7%
	女性		327	113	8	233	17	65	15	21	49	11	10
				34.6%	2.4%	71.3%	5.2%	19.9%	4.6%	6.4%	15.0%	3.4%	3.1%
	その他		4	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0
年齢(F2)	29歳以下		56	23	15	25	2	6	1	2	17	4	1
				41.1%	26.8%	44.6%	3.6%	10.7%	1.8%	3.6%	30.4%	7.1%	1.8%
	30～39歳		63	31	0	43	4	8	10	1	16	2	0
				49.2%	0.0%	68.3%	6.3%	12.7%	15.9%	1.6%	25.4%	3.2%	0.0%
	40～49歳		121	48	2	71	6	14	9	4	26	1	0
	50～59歳		125	39.7%	1.7%	58.7%	5.0%	11.6%	7.4%	3.3%	21.5%	0.8%	0.0%
				40.0%	0.0%	61.6%	5.6%	14.4%	1.6%	4.0%	26.4%	5.6%	2.4%
	60～69歳		103	38	0	74	9	23	2	10	24	4	3
				36.9%	0.0%	71.8%	8.7%	22.3%	1.9%	9.7%	23.3%	3.9%	2.9%
	70歳以上		159	12	0	114	11	39	0	8	30	15	10
				7.5%	0.0%	71.7%	6.9%	24.5%	0.0%	5.0%	18.9%	9.4%	6.3%
	無回答		11	2	0	7	2	1	1	0	1	0	2
				18.2%	0.0%	63.6%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%

【全体】性別・年代別とも「買い物」が最も高い。
【性別】「レジャー」は男性 32.9%で、女性 15.0%を 17.9 ポイント上回る。
【年代】「通勤」は 30 歳代 49.2%、70 歳以上 7.5%で差が大きい。

1-5 1日の自転車利用時間

【問5】あなたの1日の自転車利用時間について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「30分以内」が13.9%で最多。



【全体】多くの性別・年代で「30分以内」が最も高い。

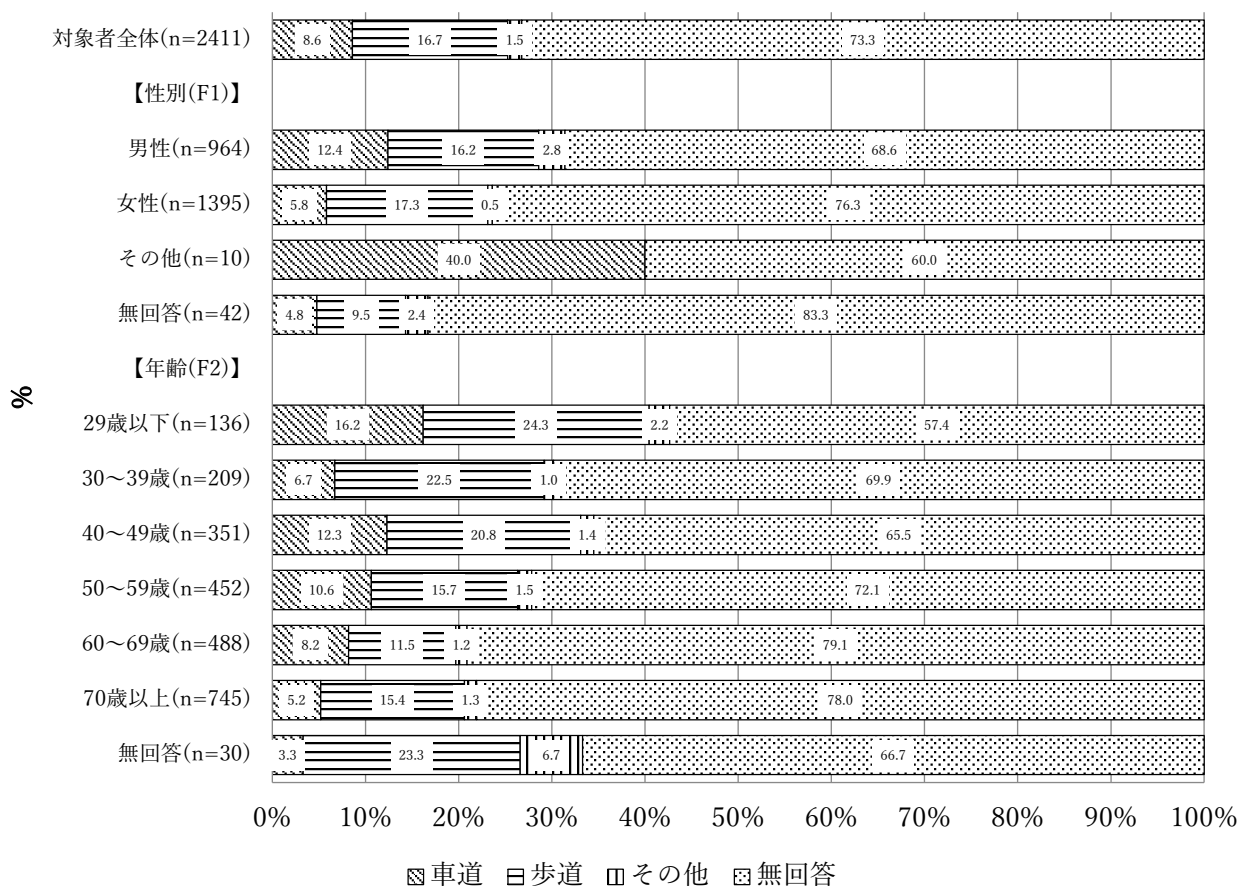
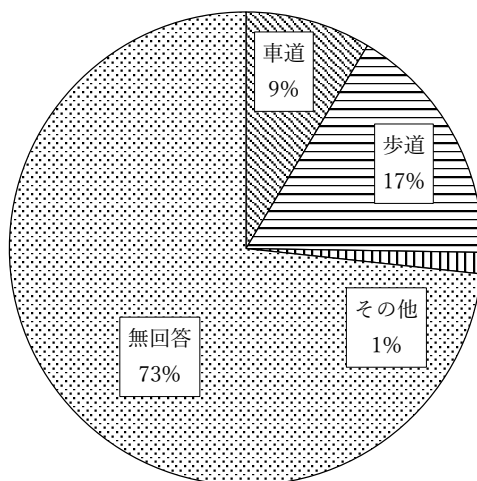
【性別】男女差は小さく、最大でも「1時間程度」の3.6ポイント。

【年代】「30分以内」は29歳以下24.3%、60歳代8.8%で差が大きい。

1-6 走行する機会の多い場所

【問6】あなたが自転車利用時に、実際に走行する機会の多い場所はどこですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「歩道」が16.7%で最多。



【全体】多くの性別・年代で「歩道」が最も高い。

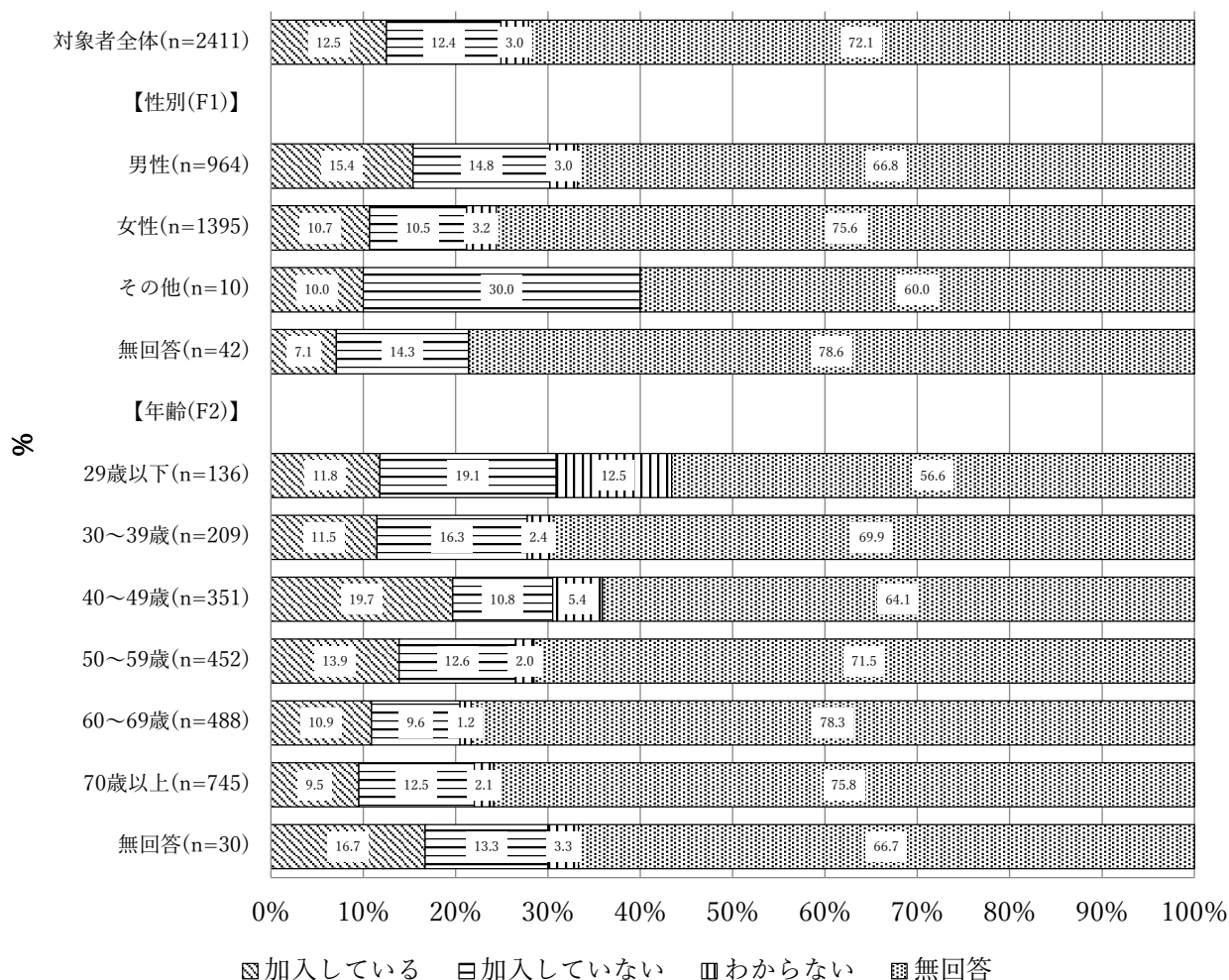
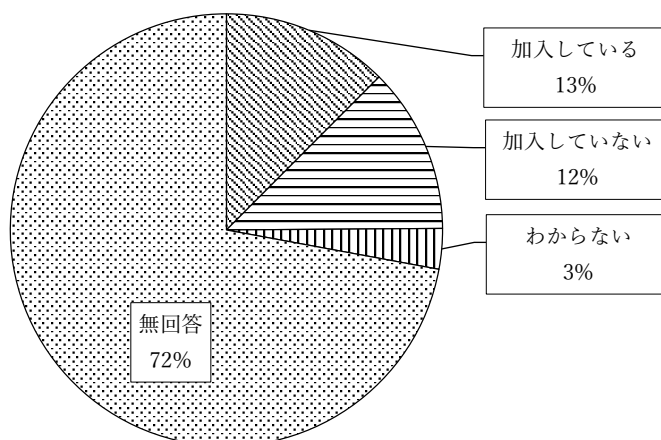
【性別】「車道」は男性12.4%で、女性5.8%を6.6ポイント上回る。

【年代】「歩道」は29歳以下24.3%、60歳代11.5%で差が大きい。

1-7 自転車損害賠償保険の加入について

【問7】あなたは、自転車損害賠償保険（他の保険に付帯されているものも含む）に加入していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「加入している」が12.5%で最多。



【全体】「加入している」12.5%と「加入していない」12.4%がほぼ同水準。

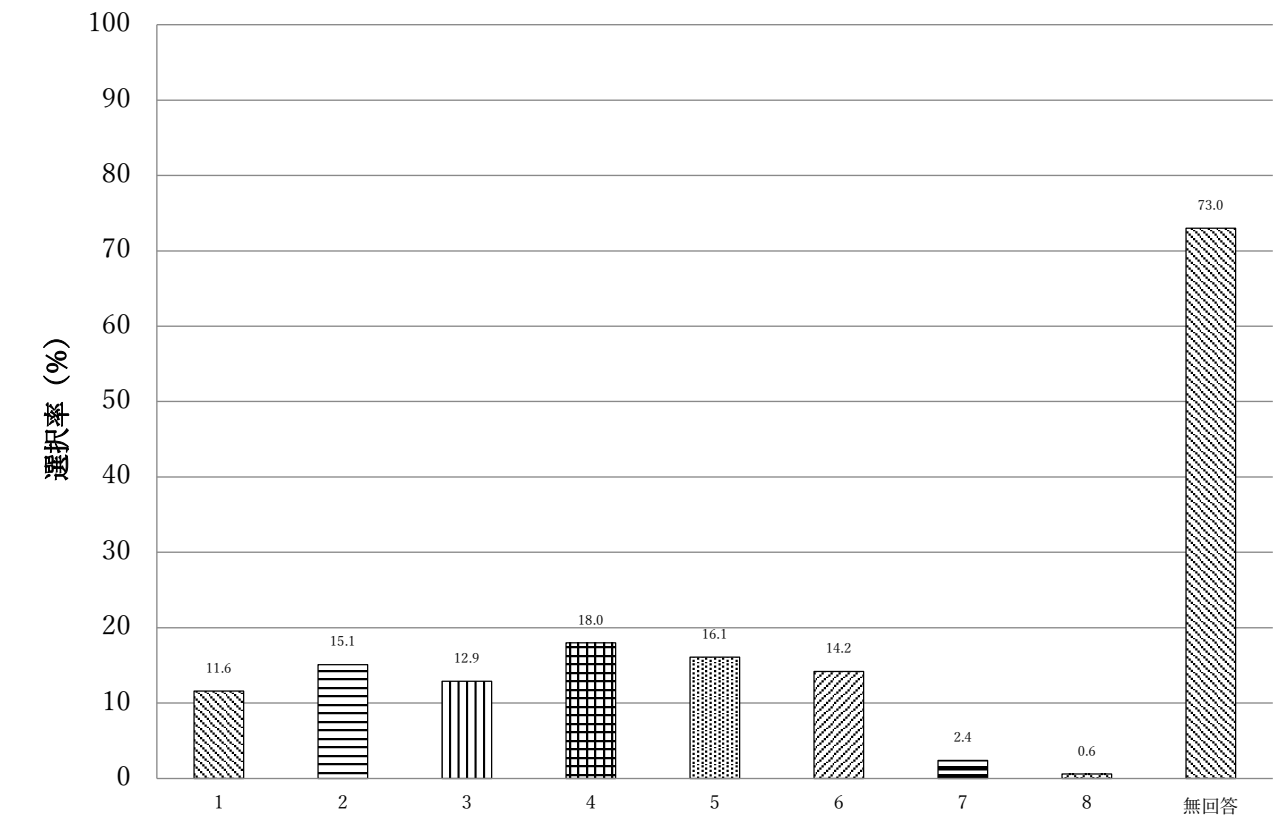
【性別】男女差は小さく、最大でも「加入している」の4.7ポイント。

【年代】「わからない」は29歳以下12.5%、60歳代1.2%で差が大きい。

1-8 自転車で歩道を走行する理由

【問8】あなたが自転車で歩道を走行する理由について、あてはまるものにいくつかでも○をつけてください。

●「車道の交通量が多いから」が18.0%で最多。



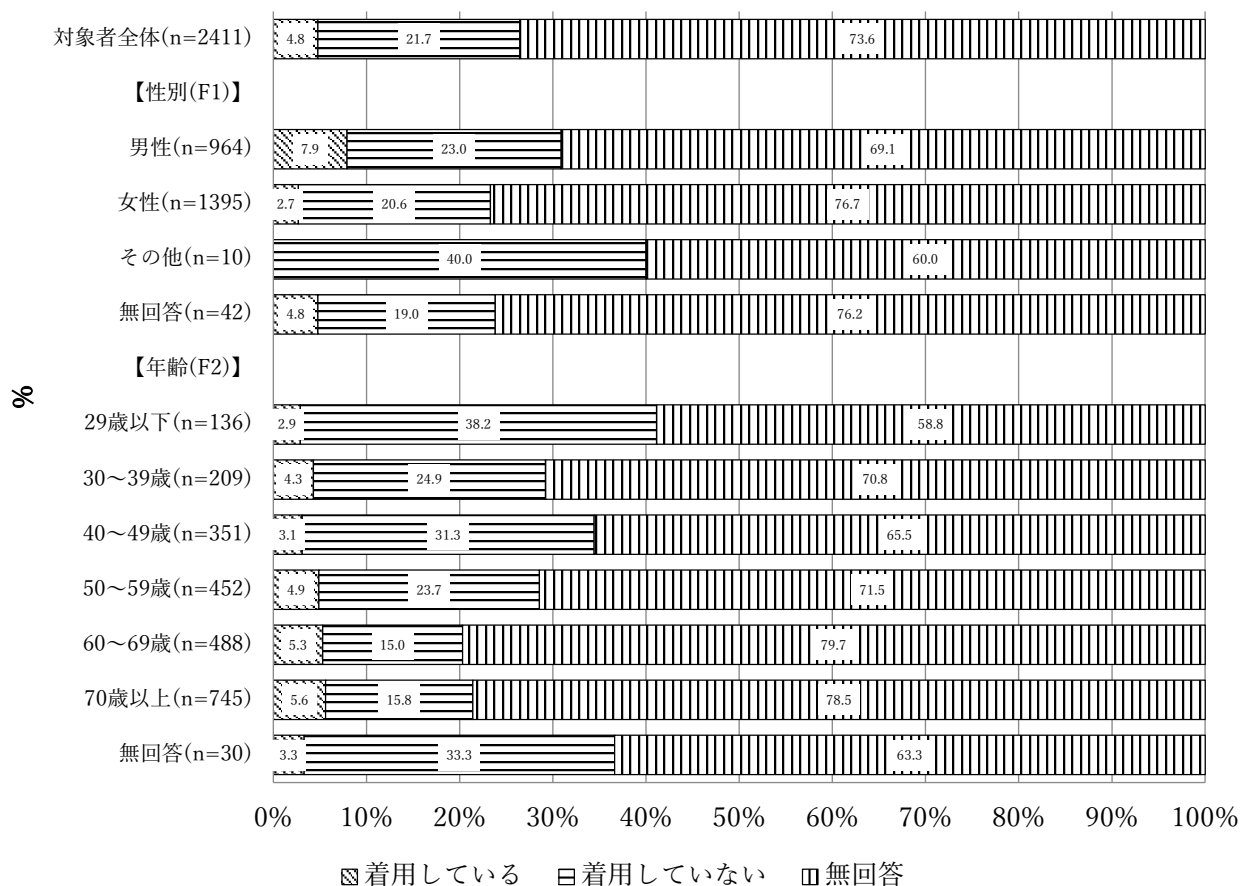
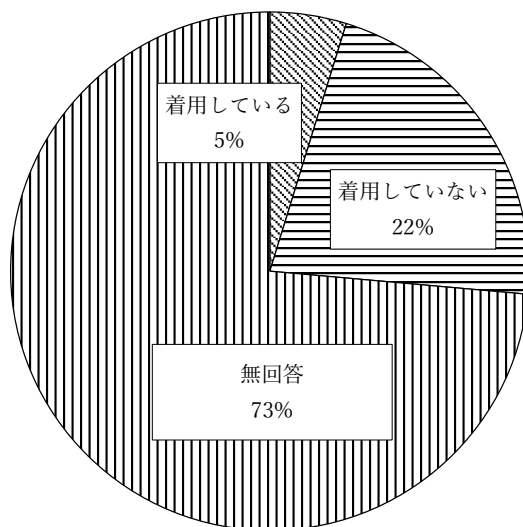
F項目	(実数/比率)	n	1. 工事や駐停車する車両があるから	2. 自転車走行帯が狭いから	3. 車のスピードが速いから	4. 車道の交通量が多いから	5. 車道走行自体が怖いと思うから	6. 歩道の方が安全だと思うから	7. その他	8. 歩道を走行することはない	無回答
全体		2411	279	364	312	435	387	342	57	15	1759
性別(F1)											
男性		964	142	167	126	196	155	153	29	9	663
女性		1395	134	192	183	234	226	184	28	4	1057
その他		10	0	0	0	0	3	1	0	1	6
無回答		42	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	60.0%
年齢(F2)											
29歳以下		136	25	39	26	35	34	27	6	0	77
30～39歳		209	26	44	33	43	37	36	8	1	147
40～49歳		351	68	77	62	90	61	53	8	0	227
50～59歳		452	64	72	64	94	85	65	12	5	324
60～69歳		488	45	52	57	75	61	55	11	2	385
70歳以上		745	46	72	65	92	102	101	11	7	579
無回答		30	5	8	5	6	7	5	1	0	20

【全体】「車道の交通量が多いから」18.0%と「車道走行自体が怖いと思うから」16.1%がほぼ同水準。
【性別】「工事や駐停車する車両があるから」は男性14.7%で、女性9.6%を5.1ポイント上回る。
【年代】「自転車走行帯が狭いから」は29歳以下28.7%、70歳以上9.7%で差が大きい。

1-9 ヘルメット着用の有無

【問9】あなたは、自転車の利用時にヘルメットを着用していますか。

●「着用していない」が21.7%で次に多い。



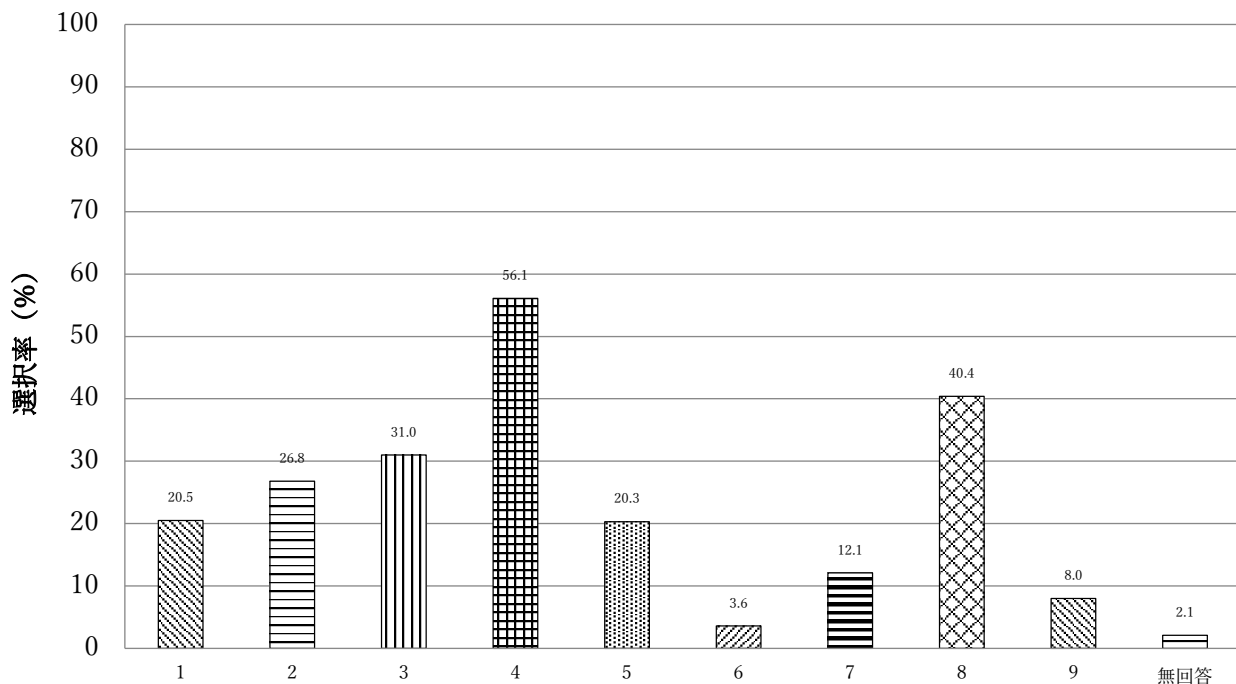
【全体】性別・年代別とも「着用していない」が最も高い。

【性別】「着用している」は男性7.9%で、女性2.7%を5.2ポイント上回る。

【年代】「着用していない」は29歳以下38.2%、60歳代15.0%で差が大きい。

【問9－1】あなたがヘルメットを着用していない理由として、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（問9で「着用していない」と回答した人のみ）

●「持ち歩くのが面倒なため」が56.1%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 必要性を感じないため	2. 販売価格が高いため	3. 頭髪が乱れるため	4. 持ち歩くのが面倒なため	5. 周りの人が着用していないため	6. 着用の努力義務化を知らなかったため	7. 気に入ったデザインがないため	8. 移動時間が短いから	9. その他	無回答
全体		522	107	140	162	293	106	19	63	211	42	11
性別(F1)	男性	222	20.5%	26.8%	31.0%	56.1%	20.3%	3.6%	12.1%	40.4%	8.0%	2.1%
	女性	288	27.9%	29.3%	23.0%	58.1%	18.0%	1.8%	9.5%	36.9%	8.1%	2.7%
	その他	4	15.6%	25.0%	37.8%	55.6%	21.5%	5.2%	14.6%	42.4%	8.3%	1.7%
	無回答	8	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
			0.0%	37.5%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%
年齢(F2)	29歳以下	52	9	15	23	33	16	4	3	16	4	0
	30～39歳	52	17.3%	28.8%	44.2%	63.5%	30.8%	7.7%	5.8%	30.8%	7.7%	0.0%
	40～49歳	110	7	13	12	31	14	5	7	22	6	0
	50～59歳	107	13.5%	25.0%	23.1%	59.6%	26.9%	9.6%	13.5%	42.3%	11.5%	0.0%
	60～69歳	73	28.2%	24.5%	40.0%	62.7%	18.2%	2.7%	14.5%	40.0%	7.3%	0.0%
	70歳以上	118	20	37	44	66	18	1	18	37	13	3
	無回答	10	18.7%	34.6%	41.1%	61.7%	16.8%	0.9%	16.8%	34.6%	12.1%	2.8%
			19	18	23	38	16	0	11	25	5	4
			26.0%	24.7%	31.5%	52.1%	21.9%	0.0%	15.1%	34.2%	6.8%	5.5%
			16.1%	23.7%	11.9%	43.2%	16.9%	5.1%	5.9%	52.5%	5.1%	3.4%
			2	2	2	5	2	0	1	5	0	0
			20.0%	20.0%	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%

【全体】多くの性別・年代で「持ち歩くのが面倒なため」が最も高い。

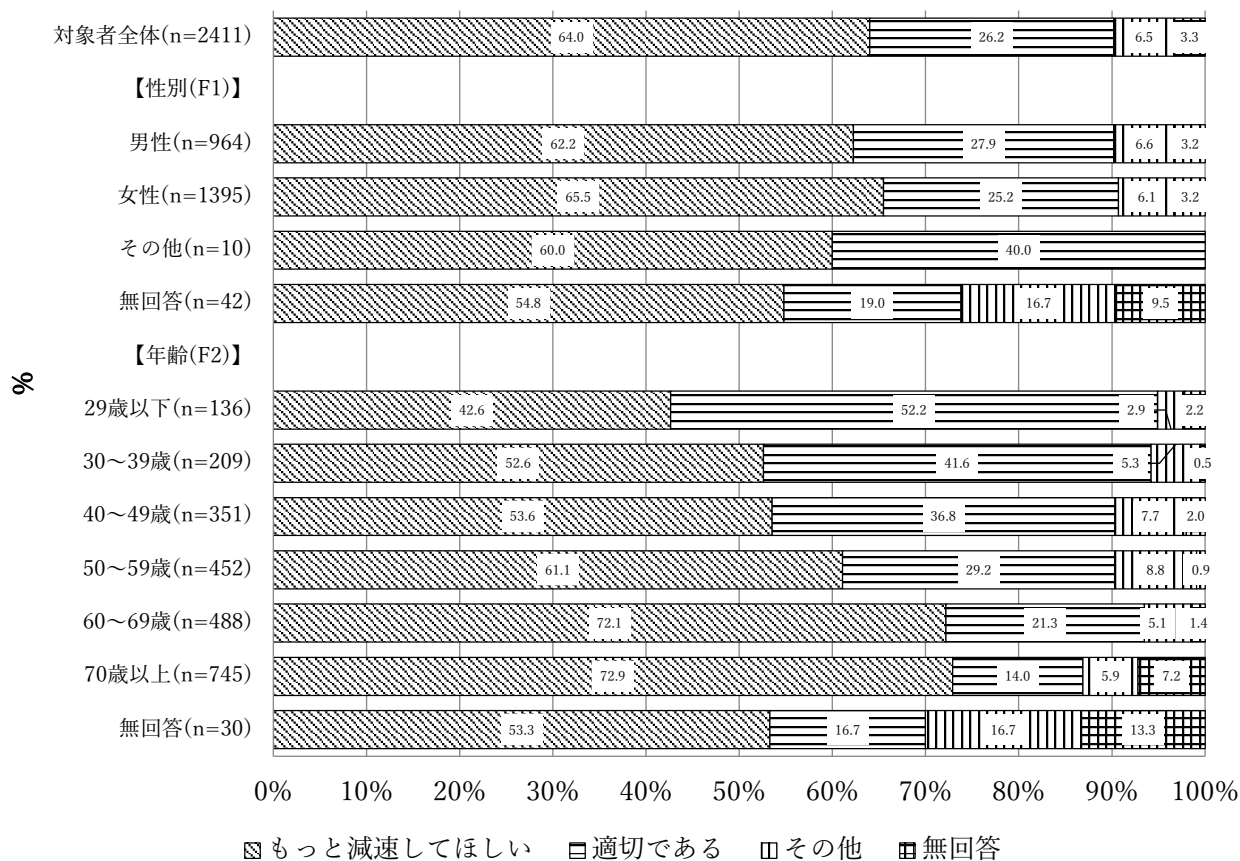
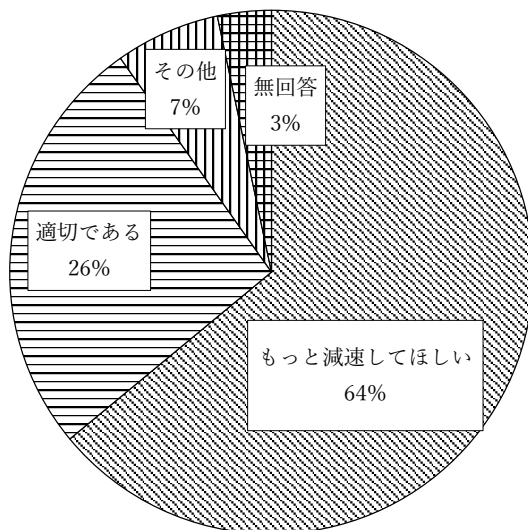
【性別】「頭髪が乱れるため」は女性37.8%で、男性23.0%を14.8ポイント上回る。

【年代】「頭髪が乱れるため」は29歳以下44.2%、70歳以上11.9%で差が大きい。

1-10 自転車の歩道上での走行スピードについて

【問 10】あなたが歩道を歩いているとき、歩道を走行する自転車のスピードについてどのように感じていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「もっと減速してほしい」が64.0%で最多。



【全体】多くの性別・年代で「もっと減速してほしい」が最も高い。

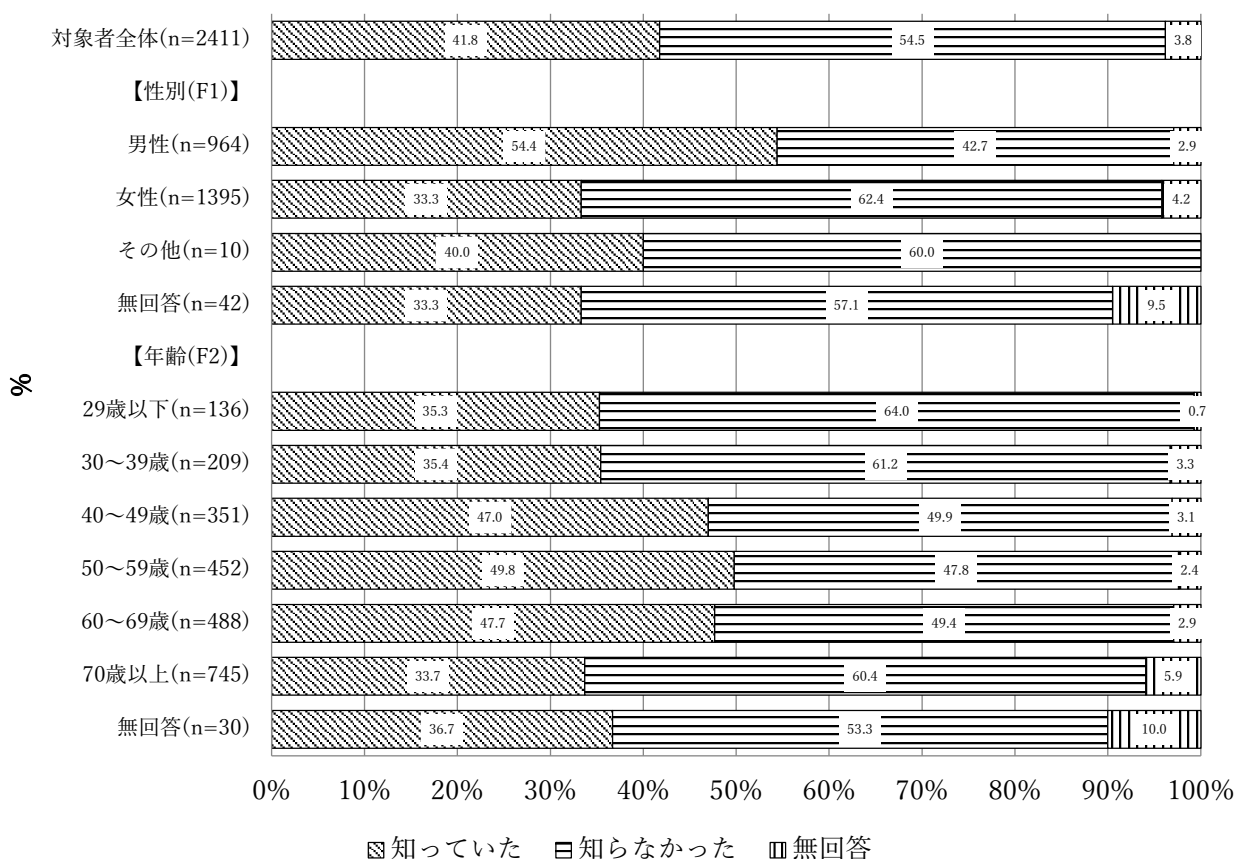
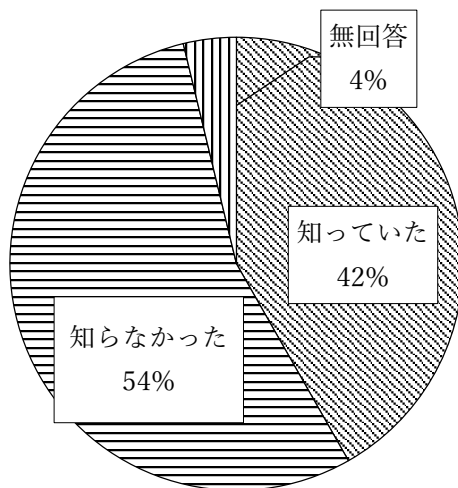
【性別】男女差は小さく、最大でも「もっと減速してほしい」の3.3ポイント。

【年代】「適切である」は29歳以下52.2%、70歳以上14.0%で差が大きい。

1-11 矢羽根型路面表示について

【問 11】あなたは、矢羽根型路面表示(※)という車道左端の青色の矢印表示を知っていますか。
 ※自転車の通行位置と方向を明示し、自転車利用者だけでなく自動車ドライバーにも車道上の自転車通行位置を知らせる法定外の路面表示。

●「知らなかった」が 54.5% で最多。



【全体】多くの性別・年代で「知らなかった」が最も高い。

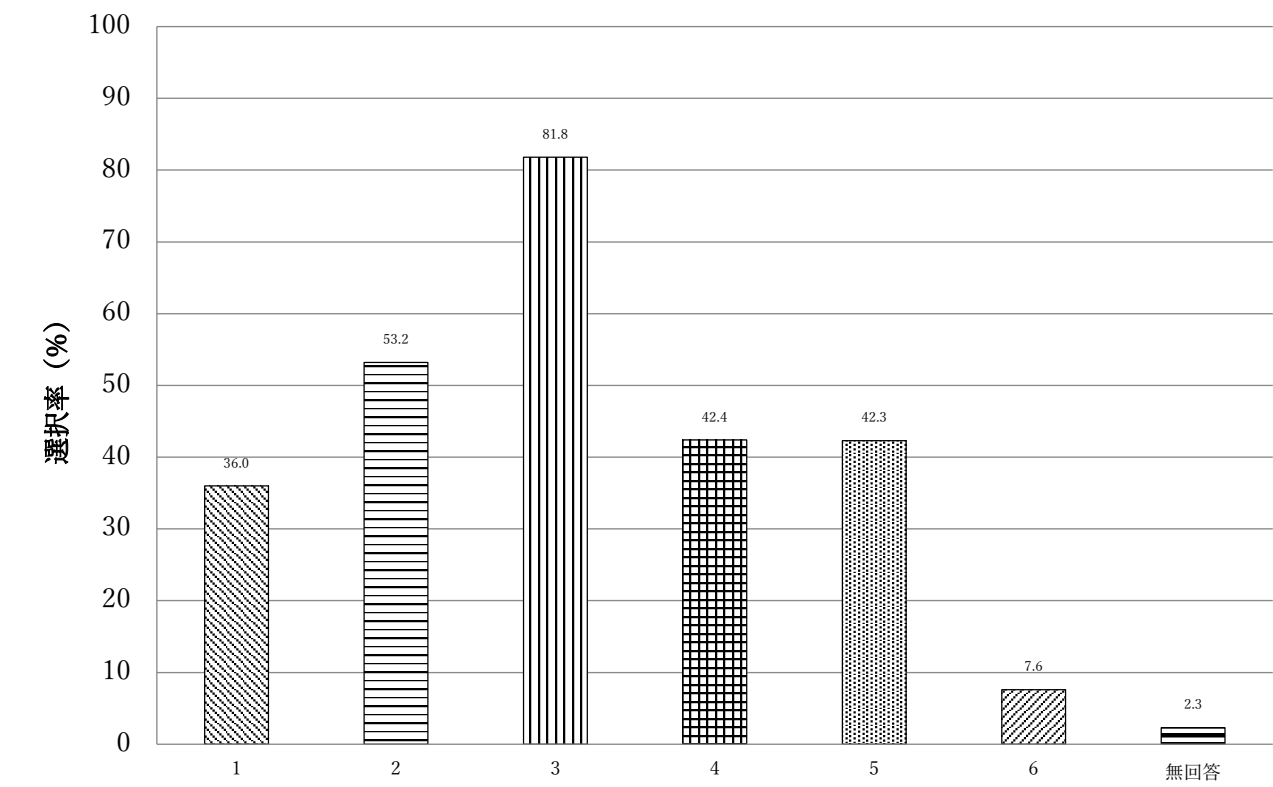
【性別】「知っていた」は男性 54.4% で、女性 33.3% を 21.1 ポイント上回る。

【年代】「知らなかった」は 29 歳以下 64.0%、50 歳代 47.8% で差が大きい。

1-12 効果的な自転車交通事故防止の取り組み

【問 12】自転車の交通事故防止の取組みについて、あなたが特に効果的と思うものを3つ〇をつけてください。

●「道路環境の整備」が 81.8%で最多。



F項目		(実数/比率)	n	1. 自転車利用者への事故防止に関する呼びかけやチラシ配布などの街頭啓発	2. 自転車のルール・マナーに関する講習会など、交通安全教育の促進	3. 自転車走行路線の整備など、道路環境の整備	4. 警察官による交通違反の取締り強化	5. 警察官の街頭パトロールの強化	6. その他	無回答
全体			2411	868	1283	1972	1022	1019	183	56
性別(F1)	男性		964	343	501	770	439	426	85	21
				36.0%	53.2%	81.8%	42.4%	42.3%	7.6%	2.3%
	女性		1395	512	754	1159	562	576	91	34
				35.6%	52.0%	79.9%	45.5%	44.2%	8.8%	2.2%
	その他		10	2	3	7	6	5	2	0
				36.7%	54.1%	83.1%	40.3%	41.3%	6.5%	2.4%
無回答			42	20	30	70	60	50	20	0
				20.0%	30.0%	70.0%	60.0%	50.0%	20.0%	0.0%
年齢(F2)										
29歳以下			136	40	49	117	56	66	12	1
				29.4%	36.0%	86.0%	41.2%	48.5%	8.8%	0.7%
	30～39歳		209	57	82	186	103	97	28	1
				27.3%	39.2%	89.0%	49.3%	46.4%	13.4%	0.5%
	40～49歳		351	104	160	300	159	159	31	2
				29.6%	45.6%	85.5%	45.3%	45.3%	8.8%	0.6%
	50～59歳		452	146	229	392	205	189	48	3
				32.3%	50.7%	86.7%	45.4%	41.8%	10.6%	0.7%
60～69歳			488	191	279	389	208	216	40	5
				39.1%	57.2%	79.7%	42.6%	44.3%	8.2%	1.0%
	70歳以上		745	323	465	561	282	282	21	43
				43.4%	62.4%	75.3%	37.9%	37.9%	2.8%	5.8%
無回答			30	7	19	27	9	10	3	1
				23.3%	63.3%	90.0%	30.0%	33.3%	10.0%	3.3%

【全体】性別・年代別とも「道路環境の整備」が最も高い。
【性別】「交通違反の取締り強化」は男性 45.5%で、女性 40.3%を 5.2 ポイント上回る。
【年代】「交通安全教育の促進」は 70 歳以上 62.4%、29 歳以下 36.0%で差が大きい。

Theme 2. 雪対策に関する取り組みについて

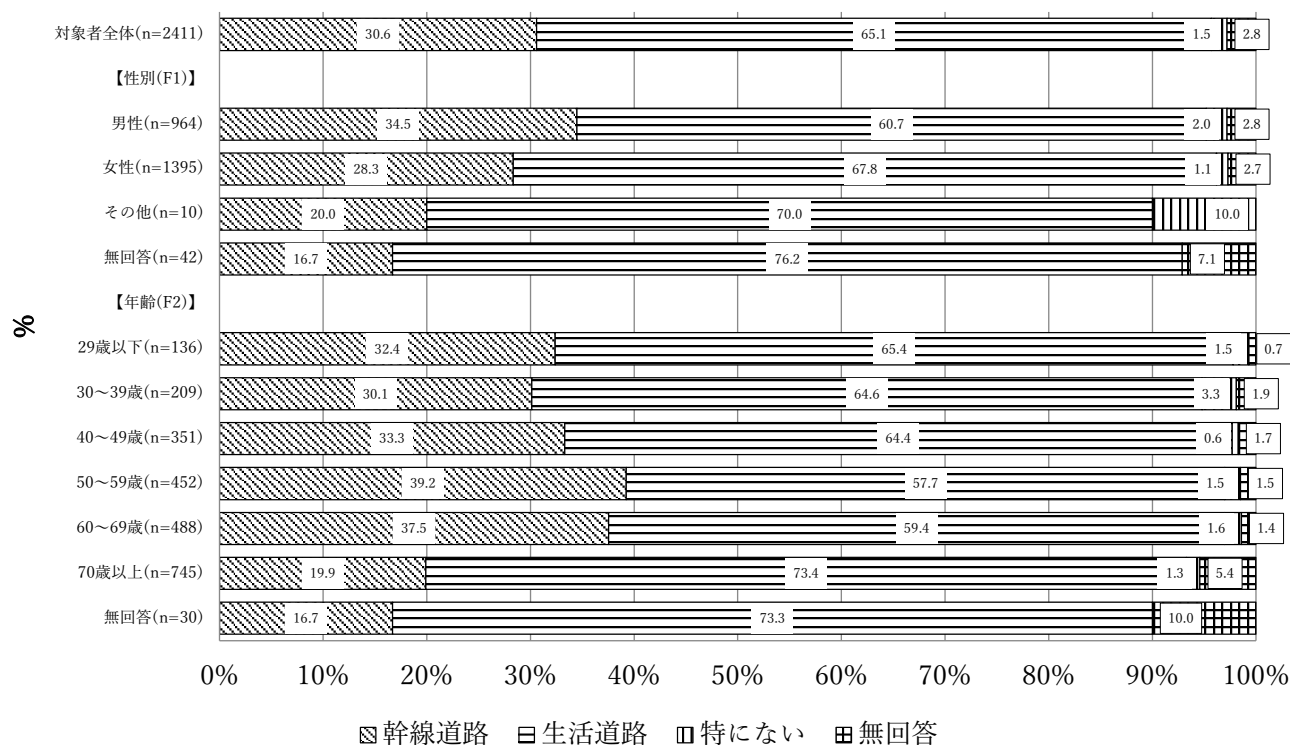
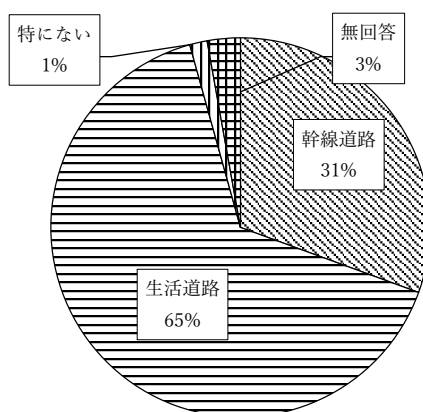
札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいる。令和8年1月24日から25日の記録的な大雪の際には、市民生活への影響を最小限に抑えるため、地域の費用負担を伴う生活道路のパートナーシップ排雪を中止し、全額市負担による「緊急排雪」を市内全域で初めて実施した。

そこで、今後の雪対策の参考とするために、札幌市による道路の除排雪作業に関する認識や考え、市民の皆さまによる取り組みの現状などについて調査を実施した。

2-1 除排雪作業に注力してほしい道路種

【問 13】あなたが特に除排雪作業に力を入れてほしいと思う道路はどれですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「生活道路」が65.1%で最多。



【全体】性別・年代別とも「生活道路」が最も高い。

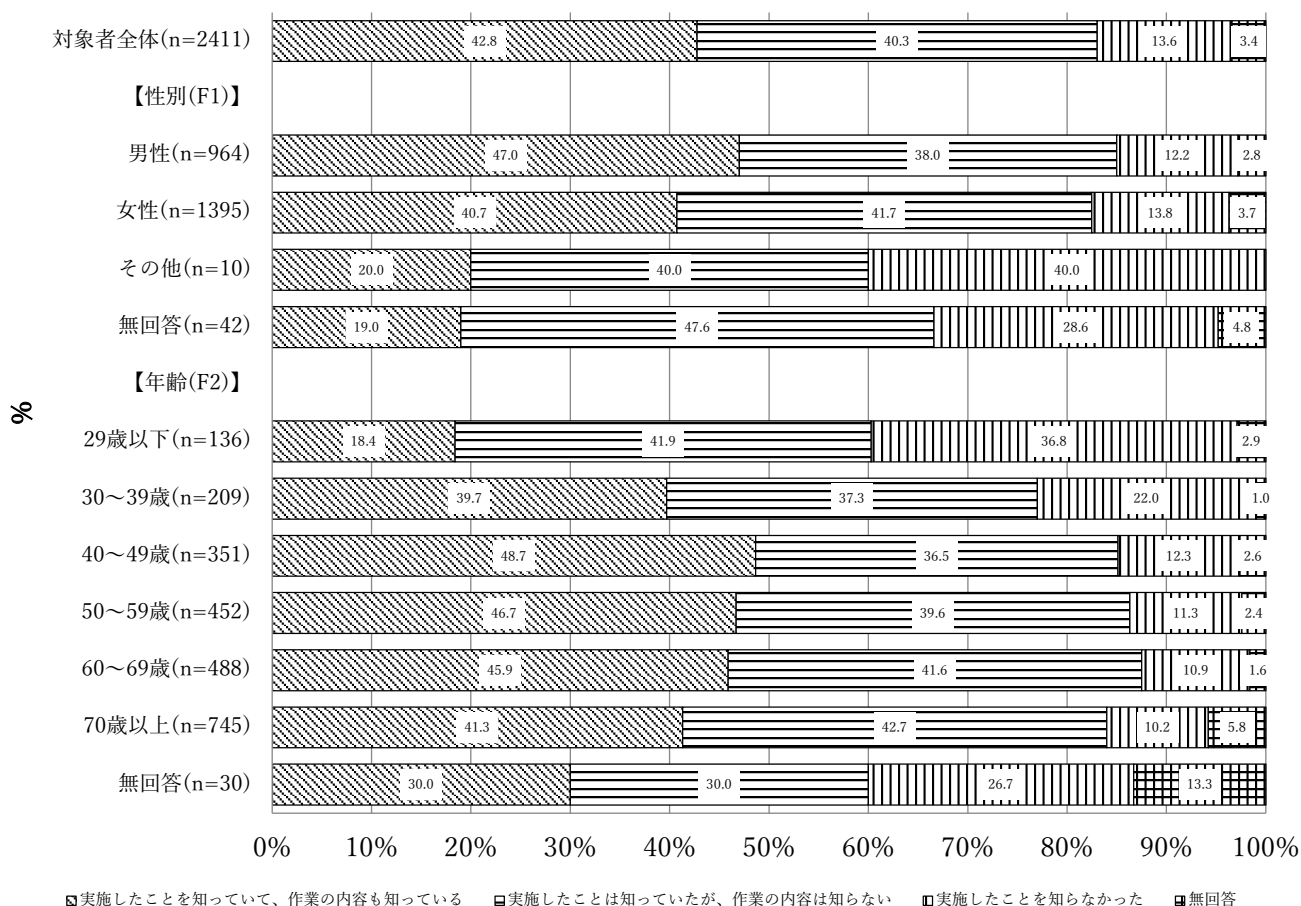
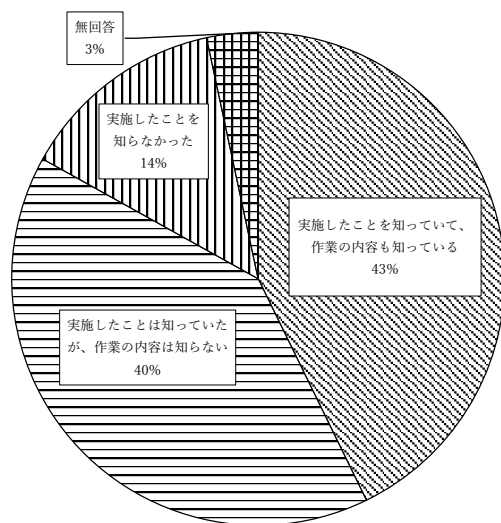
【性別】「生活道路」は女性 67.8%で、男性 60.7%を 7.1 ポイント上回る。

【年代】「幹線道路」は 50 歳代 39.2%、70 歳以上 19.9%で差が大きい。

2-2 緊急排雪の実施について

【問 14】 あなたは、今年1月に大雪が発生した際、札幌市が生活道路の「緊急排雪」を実施したことを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「緊急排雪」について「知らなかった」のは14%程度。「実施・作業内容ともに認知」が42.8%で最多。



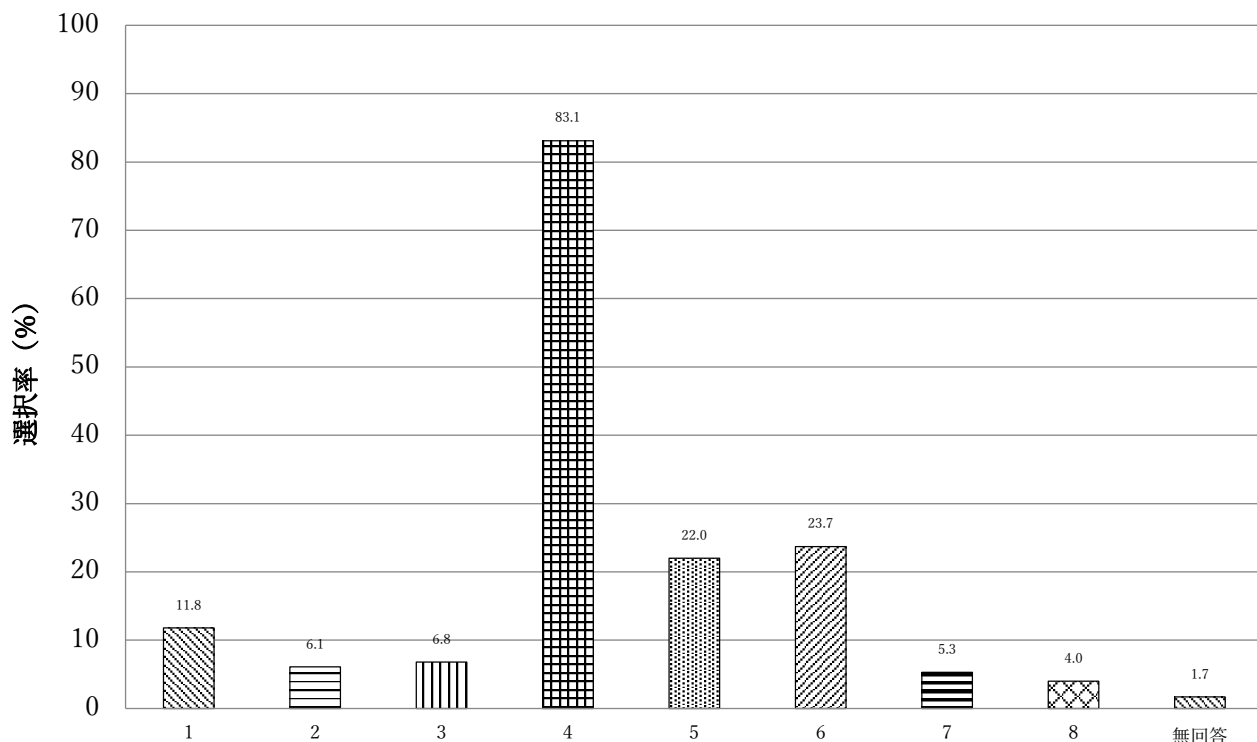
【全体】「実施・作業内容ともに認知」42.8%と「実施のみ認知」40.3%がほぼ同水準。

【性別】「実施・作業内容ともに認知」は男性47.0%で、女性40.7%を6.3ポイント上回る。

【年代】「実施・作業内容ともに認知」は40歳代48.7%、29歳以下18.4%で差が大きい。

【問 14-1】あなたは、どのような媒体から緊急排雪の実施を知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(問 14 で「1 実施したことを知っていて、作業の内容も知っている」または「2 実施したことは知っていたが、作業の内容は知らない」と答えた方)

●「テレビ報道」と答えた割合が 83.1%で最多



F項目	(実数/比率)	n	1. 札幌市 公式SNS	2. 札幌市 公式ホーム ページ	3. その他 のウェブ サイト	4. テレビ のニュー ス番組	5. 町内会 の回覧	6. 新聞	7. ラジオ	8. その他	無回答
全体		2003	237	122	136	1665	441	474	107	81	35
			11.8%	6.1%	6.8%	83.1%	22.0%	23.7%	5.3%	4.0%	1.7%
性別(F1)	男性	819	94	54	66	660	183	219	56	26	16
			11.5%	6.6%	8.1%	80.6%	22.3%	26.7%	6.8%	3.2%	2.0%
	女性	1150	142	66	69	976	251	249	47	54	17
			12.3%	5.7%	6.0%	84.9%	21.8%	21.7%	4.1%	4.7%	1.5%
	その他	6	1	0	0	5	1	1	2	0	1
			16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%
年齢(F2)	無回答	28	0	2	1	24	6	5	2	1	1
			0.0%	7.1%	3.6%	85.7%	21.4%	17.9%	7.1%	3.6%	3.6%
	29歳以下	82	13	3	9	67	6	5	0	5	2
			15.9%	3.7%	11.0%	81.7%	7.3%	6.1%	0.0%	6.1%	2.4%
	30～39歳	161	34	7	21	124	20	10	2	13	4
			21.1%	4.3%	13.0%	77.0%	12.4%	6.2%	1.2%	8.1%	2.5%
	40～49歳	299	56	8	33	245	53	24	14	12	2
			18.7%	2.7%	11.0%	81.9%	17.7%	8.0%	4.7%	4.0%	0.7%
	50～59歳	390	67	24	23	332	45	70	17	17	4
			17.2%	6.2%	5.9%	85.1%	11.5%	17.9%	4.4%	4.4%	1.0%
年齢(F2)	60～69歳	427	40	30	29	367	94	118	28	12	5
			9.4%	7.0%	6.8%	85.9%	22.0%	27.6%	6.6%	2.8%	1.2%
	70歳以上	626	26	48	20	515	219	244	46	21	18
			4.2%	7.7%	3.2%	82.3%	35.0%	39.0%	7.3%	3.4%	2.9%
年齢(F2)	無回答	18	1	2	1	15	4	3	0	1	0
			5.6%	11.1%	5.6%	83.3%	22.2%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%

【全体】性別・年代別とも「テレビのニュース番組」が最も高い。

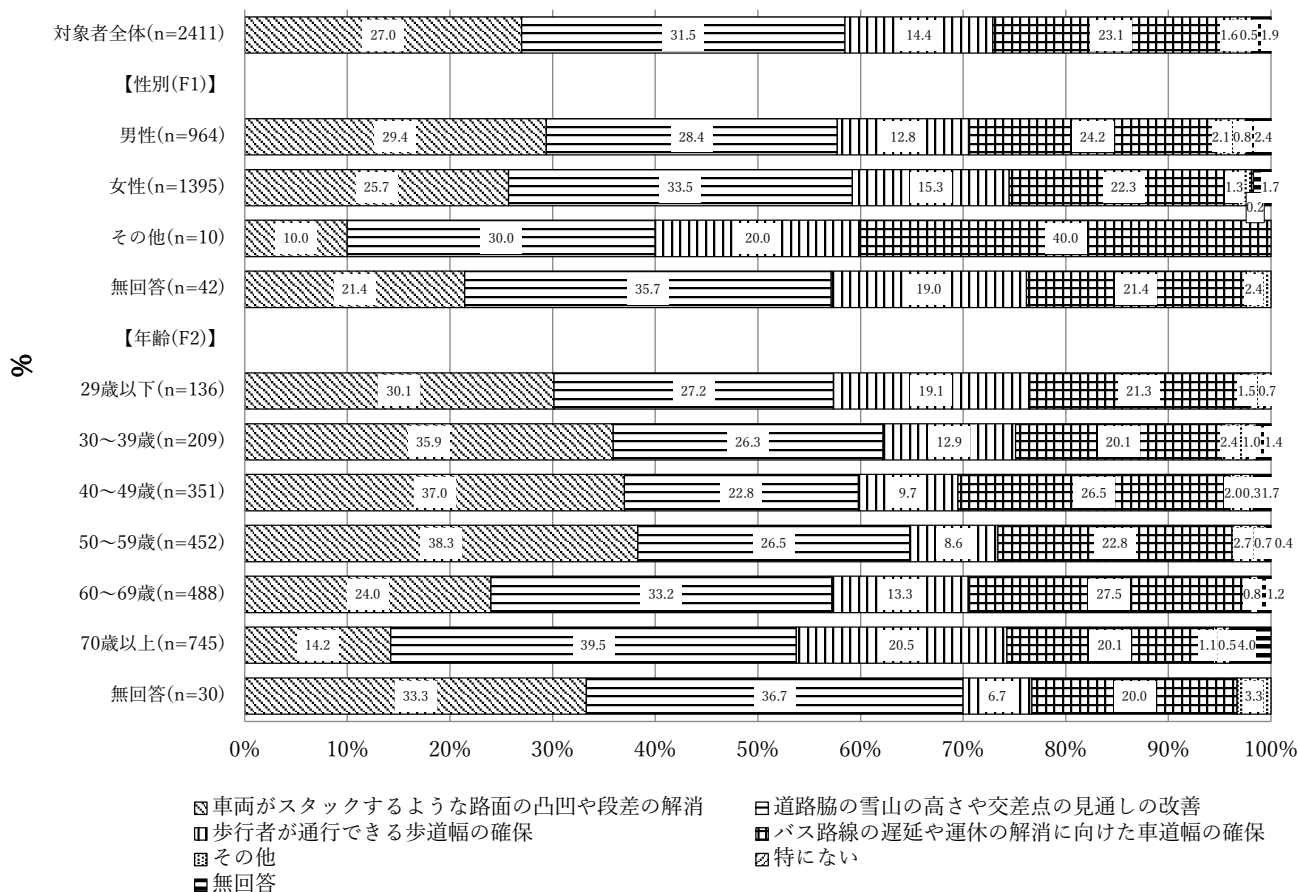
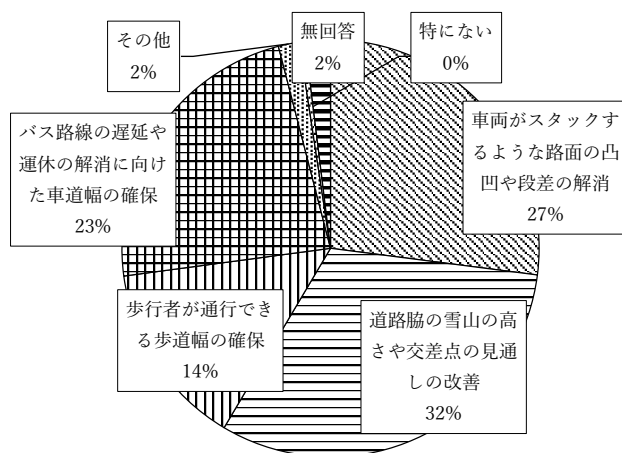
【性別】「新聞」は男性 26.7%で、女性 21.7%を 5.0 ポイント上回る。

【年代】「新聞」は 70 歳以上 39.0%、29 歳以下 6.1%で差が大きい。

2-3 大雪時の幹線道路の通行環境について

【問 15】今年1月のような大雪が発生した際、「幹線道路」の通行環境について、あなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「道路脇の雪山の高さや交差点の見通しの改善」が31.5%で最多。



【全体】属性によって最も高い回答が分かれている。

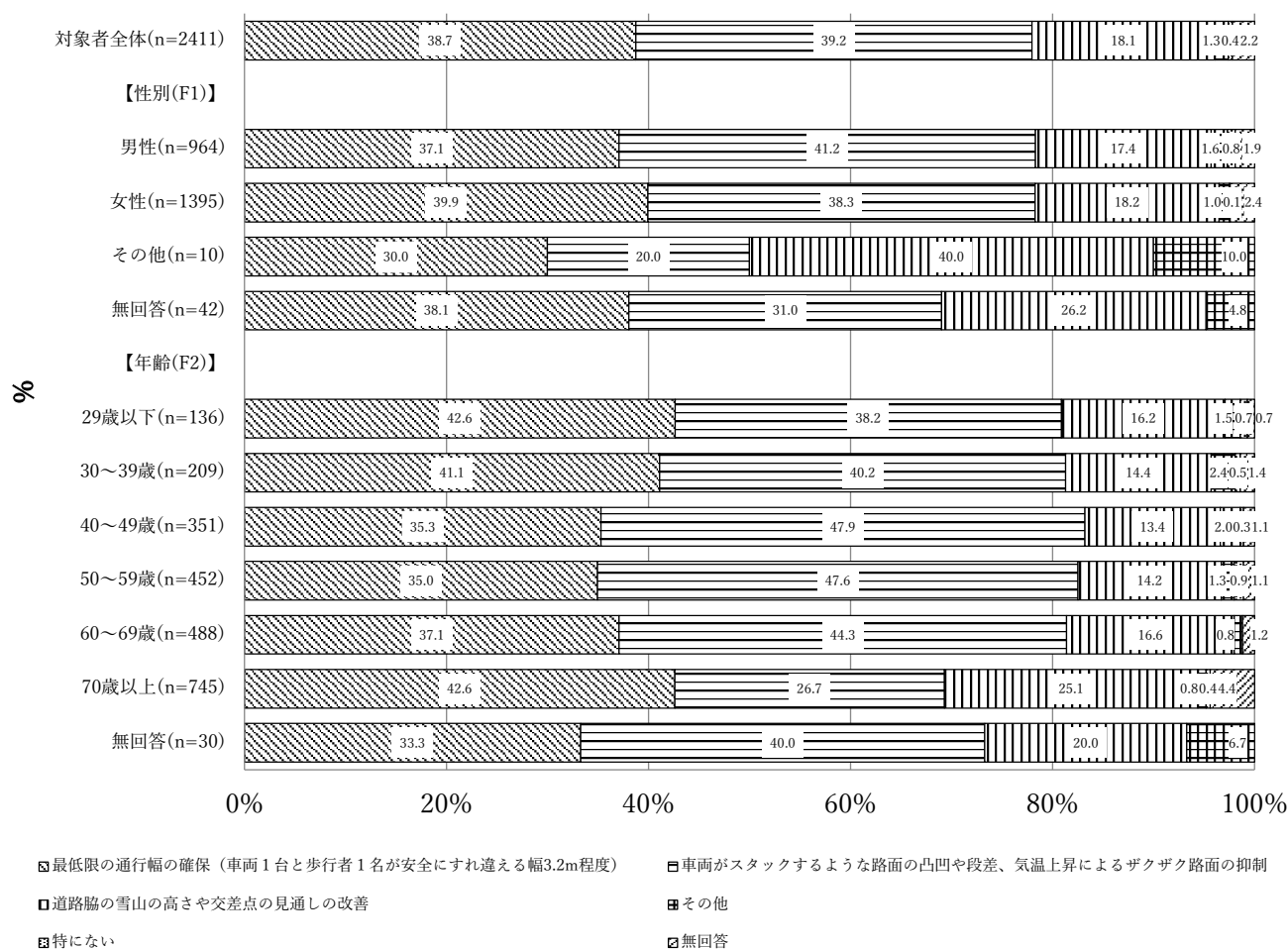
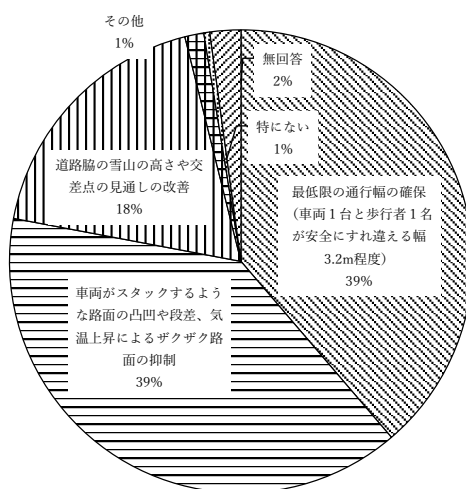
【性別】「道路脇の雪山の高さや交差点の見通しの改善」は女性 33.5%で、男性 28.4%を 5.1 ポイント上回る。

【年代】「車両がスタックするような路面の凸凹や段差の解消」は 50 歳代 38.3%、70 歳以上 14.2%で差が大きい。

2-4 大雪時の生活道路の通行環境について

【問 16】今年1月のような大雪が発生した際、「生活道路」の通行環境について、あなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください

●「路面の凸凹・段差等の抑制」が39.2%で最多。



【全体】「路面の凸凹・段差等の抑制」39.2%と「最低限の通行幅の確保」38.7%がほぼ同水準。

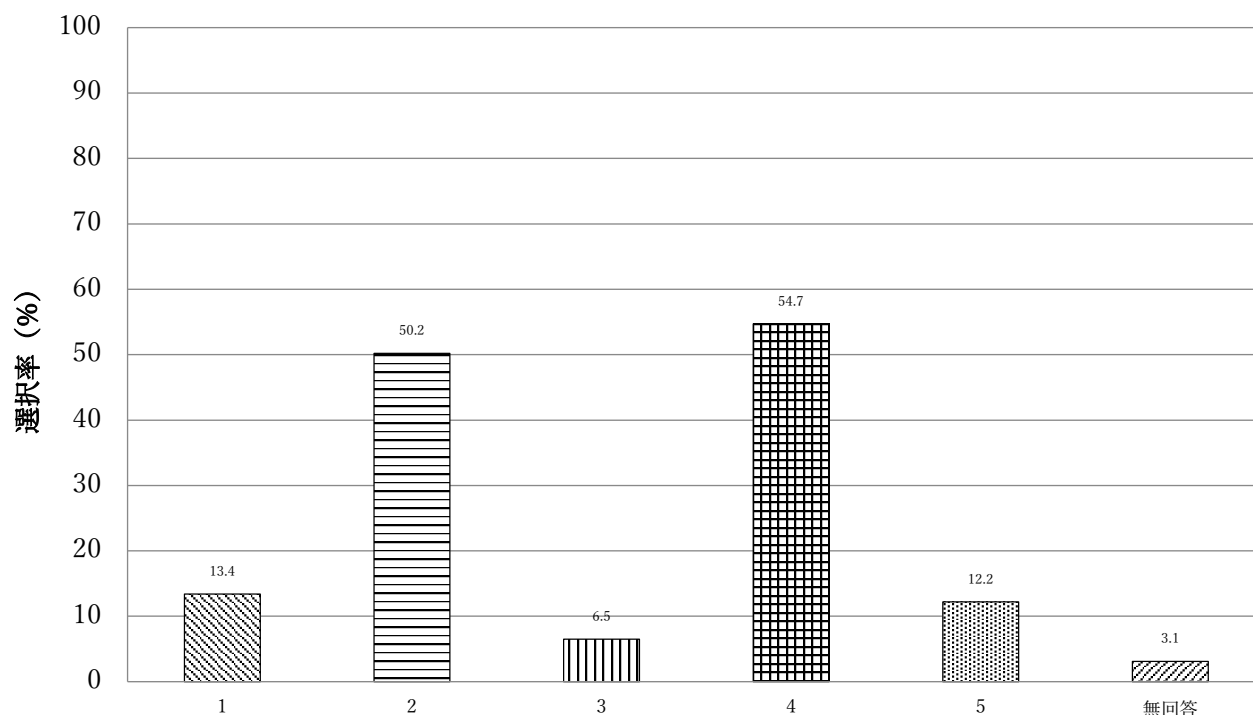
【性別】男女差は小さく、最大でも「路面の凸凹・段差等の抑制」の2.9ポイント。

【年代】「路面の凸凹・段差等の抑制」は40歳代47.9%、70歳以上26.7%で差が大きい。

2-5 気象警報発表時の行動について

【問 17】あなたは、今年1月のような大雪時や暴風雪といった気象警報が発表されたときに、どのような行動をとっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「不要不急の車による外出を控えている」が54.7%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 通勤通学時に、移動手段を変更している	2. 通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている	3. 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している	4. 不要不急の車による外出を控えている	5. 特に普段と違う行動をとっていない	無回答
全体		2411	322	1210	156	1320	294	74
性別(F1)								
男性		964	128	475	87	479	147	20
女性		1395	185	706	65	818	140	52
その他		10	2	6	0	3	2	0
無回答		42	7	23	4	20	5	2
年齢(F2)								
29歳以下		136	24	86	10	29	28	2
30～39歳		209	38	139	18	79	33	2
40～49歳		351	62	227	48	164	36	4
50～59歳		452	74	308	32	234	32	4
60～69歳		488	82	263	28	295	40	5
70歳以上		745	36	169	18	504	123	56
無回答		30	6	18	2	15	2	1
			20.0%	60.0%	6.7%	50.0%	6.7%	3.3%

【全体】属性によって最も高い回答が分かれている。

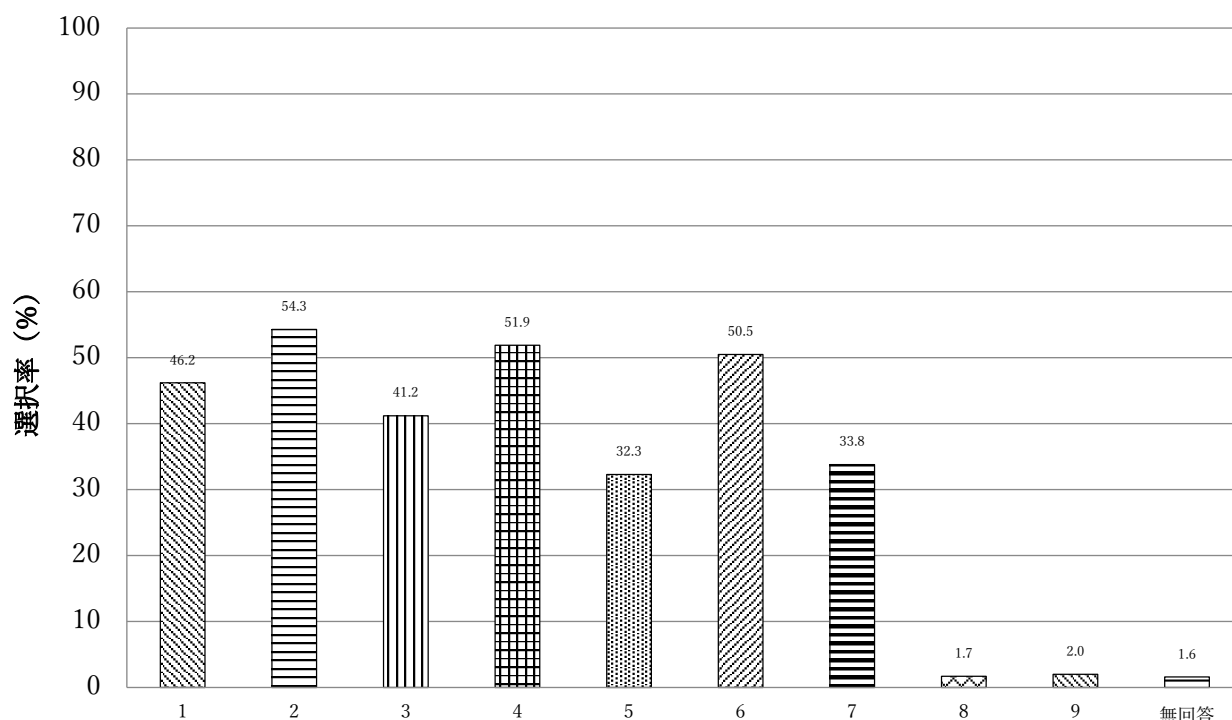
【性別】「不要不急の車による外出を控えている」は女性 58.6%で、男性 49.7%を 8.9 ポイント上回る。

【年代】「不要不急の車による外出を控えている」は 70 歳以上 67.7%、29 歳以下 21.3%で差が大きい。

2-6 大雪発生時の必要な情報について

【問 18】あなたは、今年1月のような大雪が発生した際、ご自身の生活において特に必要だと感じた情報は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「住宅地などの生活道路の「排雪」の予定や進捗状況」が54.3%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 交通量の多い幹線道路の「排雪」の予定や進捗状況	2. 住宅地などの生活道路の「排雪」の予定や進捗状況	3. 交通量の多い幹線道路の「除雪」の予定や進捗状況	4. 住宅地などの生活道路の「除雪」の予定や進捗状況	5. 幹線道路等の混雑・渋滞情報	6. 公共交通機関（バス、JRなど）の遅延・運休情報	7. 現在の気象情報や今後の見通し	8. その他	9. 特になし	無回答
全体		2411	1114	1310	993	1252	779	1217	814	41	49	39
性別(F1)												
男性		964	491	515	428	510	331	436	300	16	21	13
女性		1395	601	762	542	713	428	755	494	23	28	25
その他		10	5	6	5	5	5	5	3	2	0	0
無回答		42	17	27	18	24	15	21	17	0	0	1
年齢(F2)												
29歳以下		136	62	67	62	63	45	92	44	3	2	1
30～39歳		209	107	102	92	100	80	114	85	3	9	1
40～49歳		351	187	188	171	173	136	184	143	12	5	4
50～59歳		452	247	237	218	214	172	246	159	10	10	3
60～69歳		488	239	279	216	264	163	235	138	6	9	3
70歳以上		745	257	415	220	419	173	331	236	6	14	27
無回答		30	15	22	14	19	10	15	9	1	0	0

【全体】「住宅地などの生活道路の「排雪」の予定や進捗状況」54.3%と「住宅地などの生活道路の「除雪」の予定や進捗状況」51.9%がほぼ同水準。

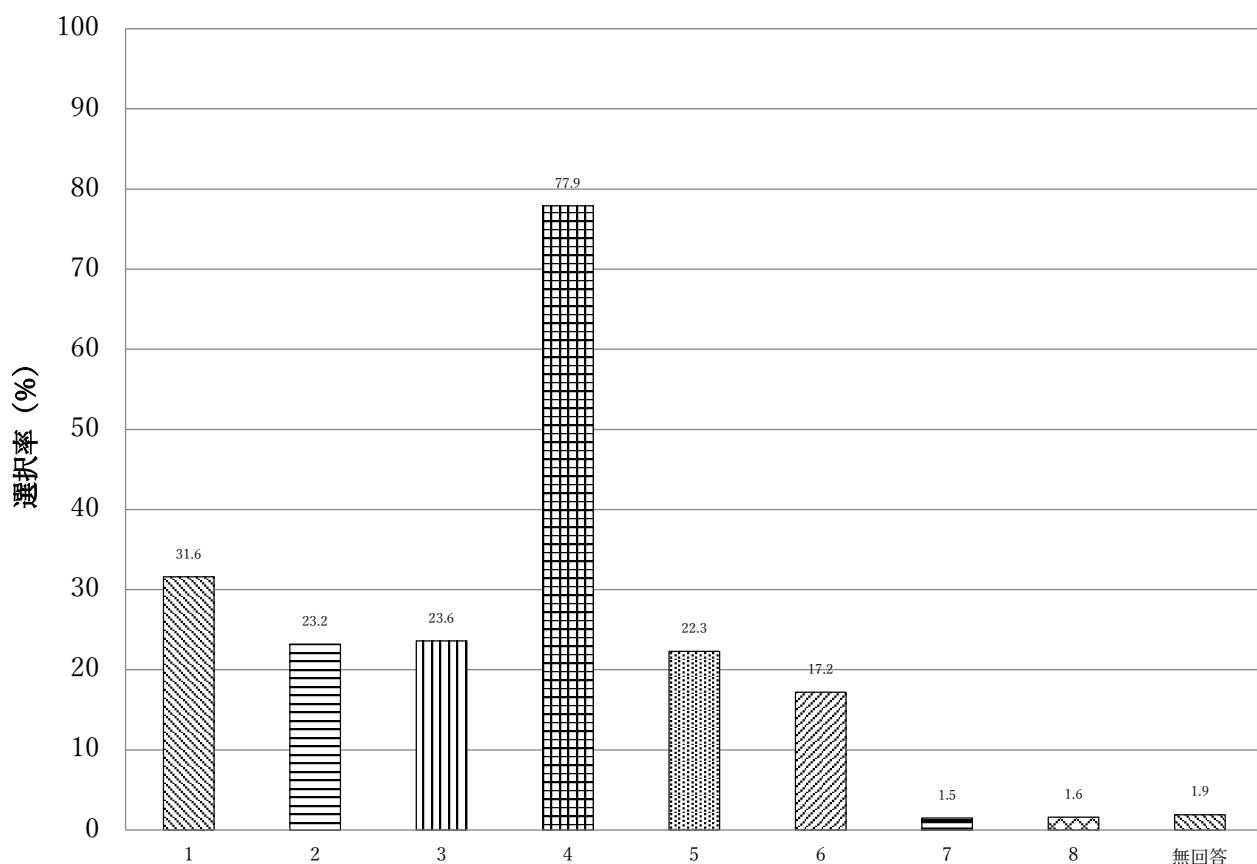
【性別】「公共交通機関の遅延・運休情報」は女性54.1%で、男性45.2%を8.9ポイント上回る。

【年代】「公共交通機関の遅延・運休情報」は29歳以下67.6%、70歳以上44.4%で差が大きい。

2-7 雪に関する情報提供手段について

【問 19】あなたは、大雪が予想される際や降雪時に、除排雪の作業予定や交通への影響などについて、どのような手段での情報提供を希望しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「テレビのニュース番組」が 77.9% で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 札幌市公式SNS	2. 札幌市公式ホームページ	3. その他のウェブサイト・アプリ	4. テレビのニュース番組	5. 新聞	6. ラジオ	7. その他	8. 特にない	無回答
全体		2411	762	559	569	1879	538	414	37	38	45
性別(F1)	男性	964	313	229	246	719	236	211	24	18	13
			32.5%	23.8%	25.5%	74.6%	24.5%	21.9%	2.5%	1.9%	1.3%
	女性	1395	437	319	307	1120	292	194	12	20	31
			31.3%	22.9%	22.0%	80.3%	20.9%	13.9%	0.9%	1.4%	2.2%
その他		10	3	0	2	7	0	1	0	0	0
			30.0%	0.0%	20.0%	70.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		42	9	11	14	33	10	8	1	0	1
			21.4%	26.2%	33.3%	78.6%	23.8%	19.0%	2.4%	0.0%	2.4%
年齢(F2)	29歳以下	136	70	30	45	90	7	7	1	1	1
			51.5%	22.1%	33.1%	66.2%	5.1%	5.1%	0.7%	0.7%	0.7%
	30～39歳	209	103	51	62	141	10	11	3	5	2
			49.3%	24.4%	29.7%	67.5%	4.8%	5.3%	1.4%	2.4%	1.0%
	40～49歳	351	177	90	105	239	23	57	6	6	4
			50.4%	25.6%	29.9%	68.1%	6.6%	16.2%	1.7%	1.7%	1.1%
	50～59歳	452	170	122	139	344	70	70	9	8	3
			37.6%	27.0%	30.8%	76.1%	15.5%	15.5%	2.0%	1.8%	0.7%
60～69歳		488	118	121	131	412	120	96	5	4	6
			24.2%	24.8%	26.8%	84.4%	24.6%	19.7%	1.0%	0.8%	1.2%
	70歳以上	745	113	137	78	634	302	168	12	14	29
			15.2%	18.4%	10.5%	85.1%	40.5%	22.6%	1.6%	1.9%	3.9%
無回答		30	11	8	9	19	6	5	1	0	0
			36.7%	26.7%	30.0%	63.3%	20.0%	16.7%	3.3%	0.0%	0.0%

【全体】性別・年代別とも「テレビのニュース番組」が最も高い。

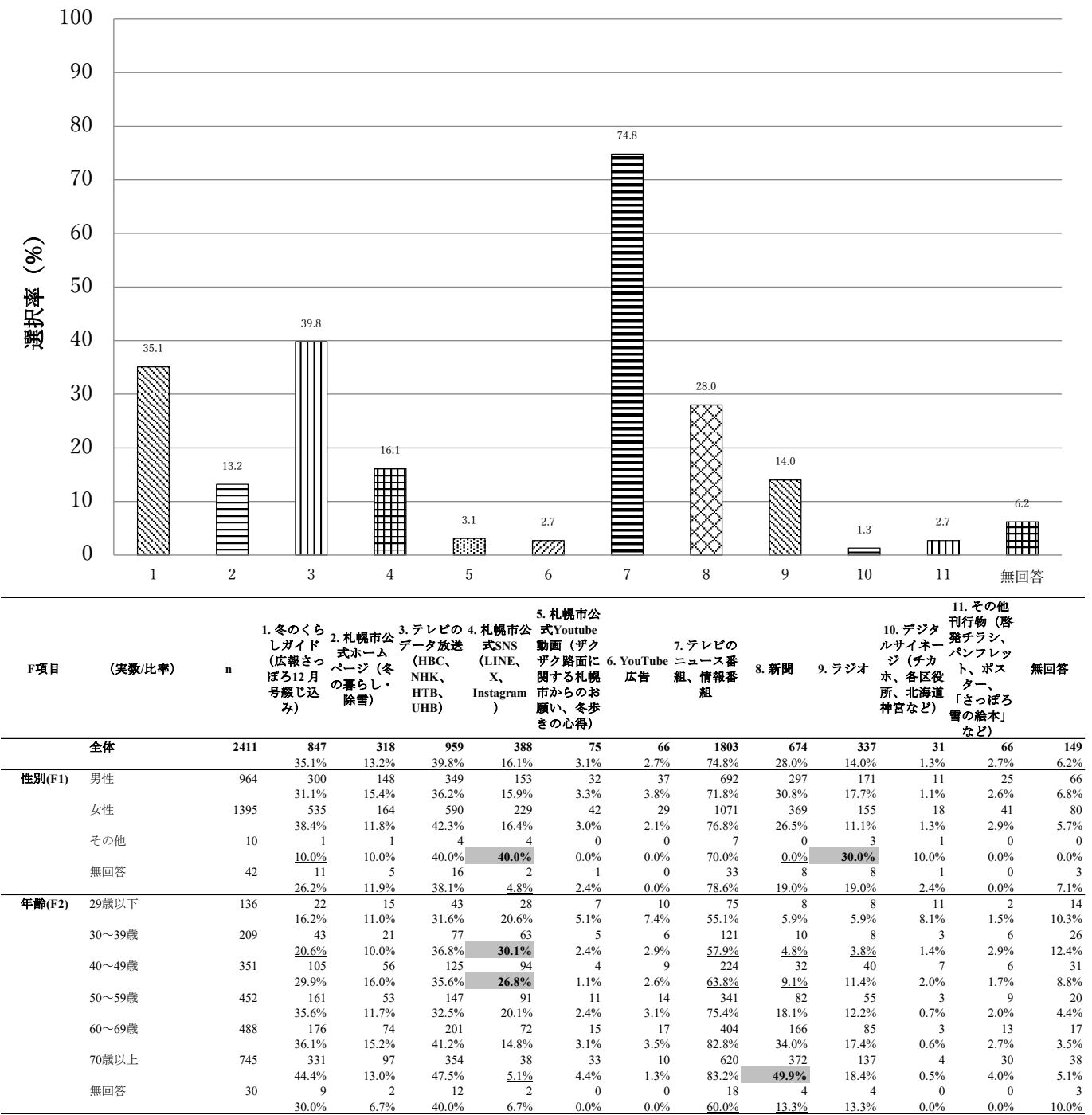
【性別】「ラジオ」は男性 21.9% で、女性 13.9% を 8.0 ポイント上回る。

【年代】「札幌市公式 SNS」は 29 歳以下 51.5%、70 歳以上 15.2% で差が大きい。

2-8 役に立った「冬の暮らしに関する情報」について

【問 20】札幌市では、昨年度、冬の暮らしに関する情報(札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出勤情報など)を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあって役立ったものにいくつかでも○をつけてください。

●「テレビのニュース番組、情報番組」が74.8%で最多。

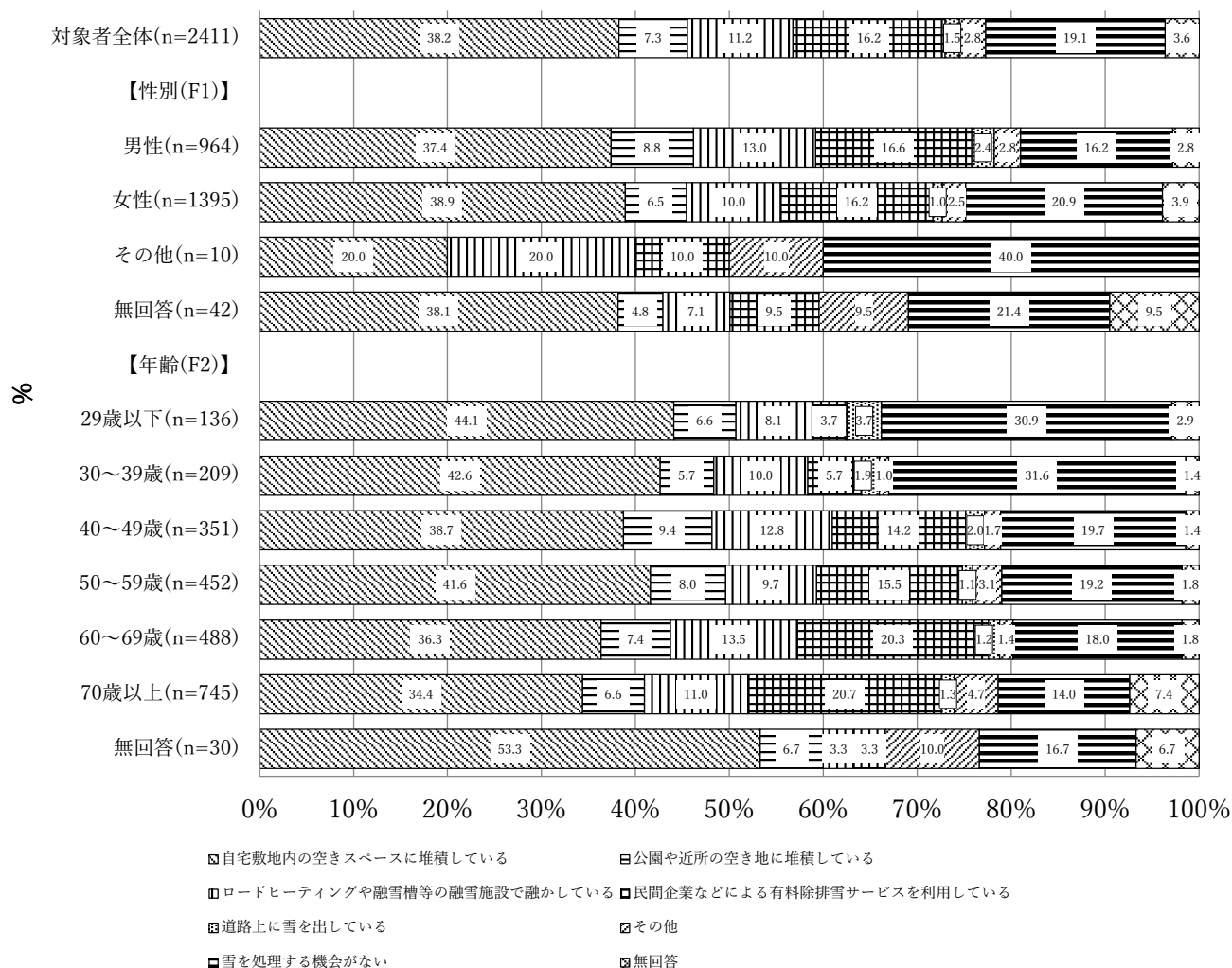
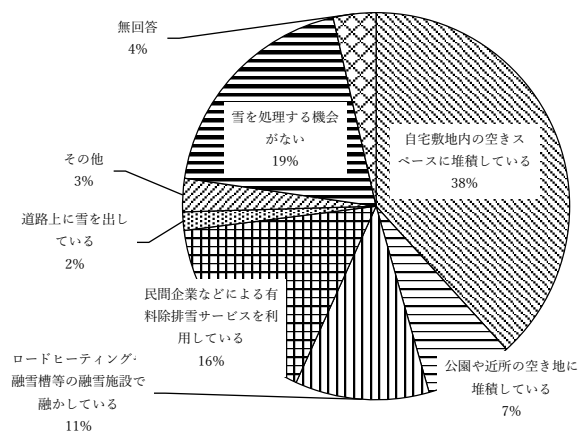


【全体】性別・年代別とも「テレビのニュース番組、情報番組」が最も高い。
【性別】「冬のくらしガイド」は女性38.4%で、男性31.1%を7.3ポイント上回る。
【年代】「新聞」は70歳以上49.9%、30歳代4.8%で差が大きい。

2-9 雪処理の方法

【問21】あなたは、これまで自宅敷地内に積もった雪を主にどのような方法で処理していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「自宅敷地内の空きスペースに堆積している」が38.2%で最多。



【全体】性別・年代別とも「自宅敷地内の空きスペースに堆積している」が最も高い。

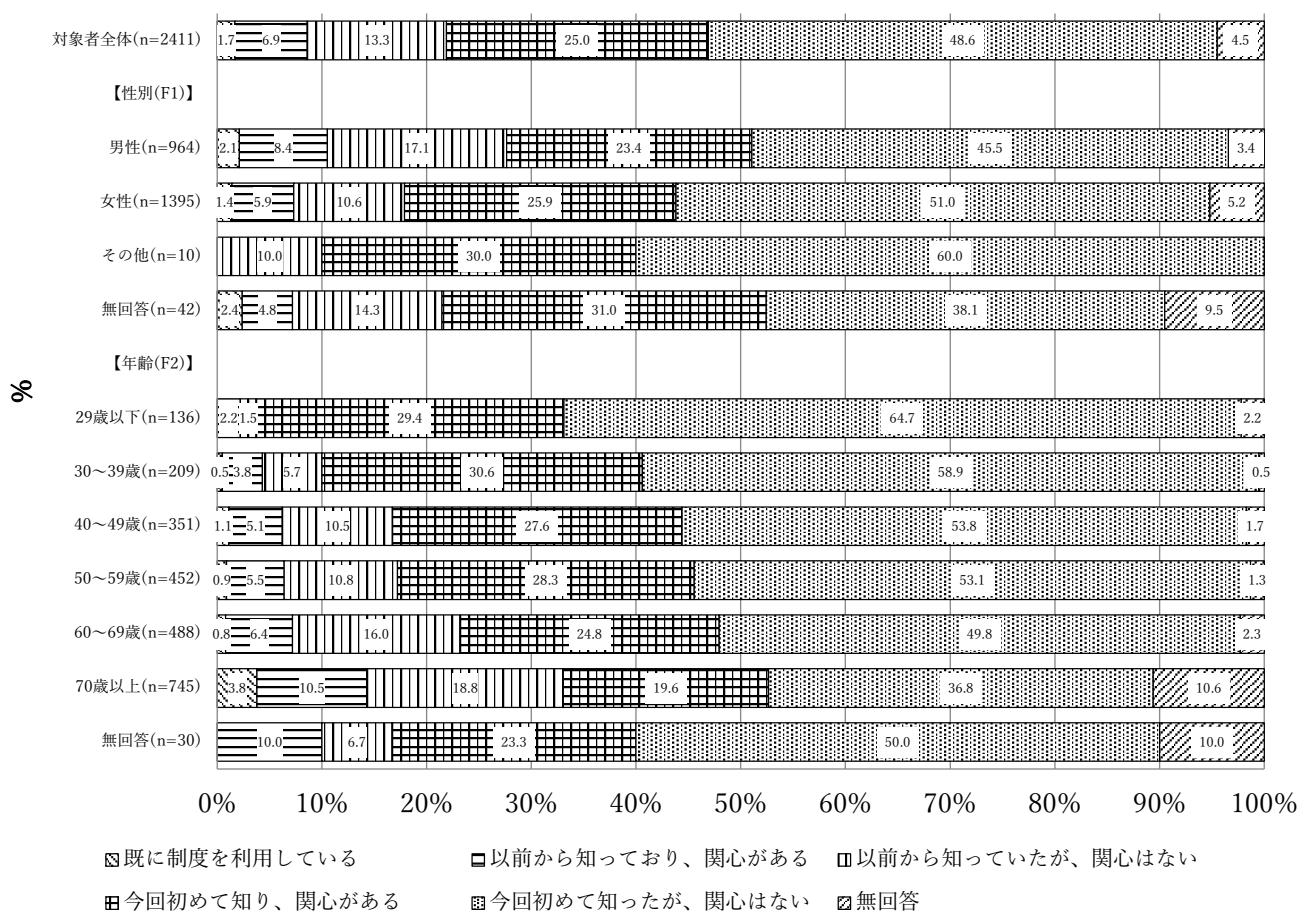
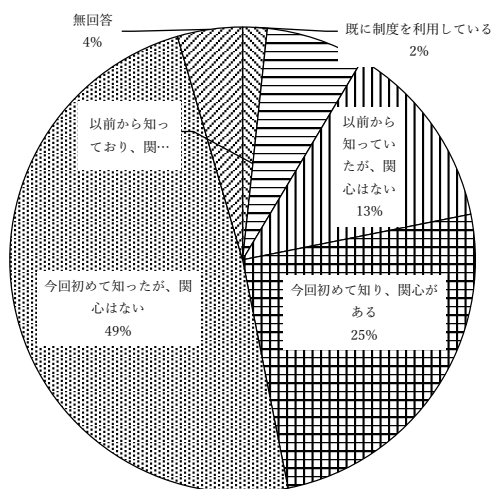
【性別】男女差は小さく、最大でも「雪を処理する機会がない」の4.7ポイント。

【年代】「雪を処理する機会がない」は30歳代31.6%、70歳以上14.0%で差が大きい。

2-10 「融雪施設設置資金融資あっせん制度」について

【問 22】札幌市の「融雪施設設置資金融資あっせん制度」について、現在のあなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください

●「今回初めて知ったが、関心はない」が48.6%で最多。



【全体】性別・年代別とも「今回初めて知ったが、関心はない」が最も高い。

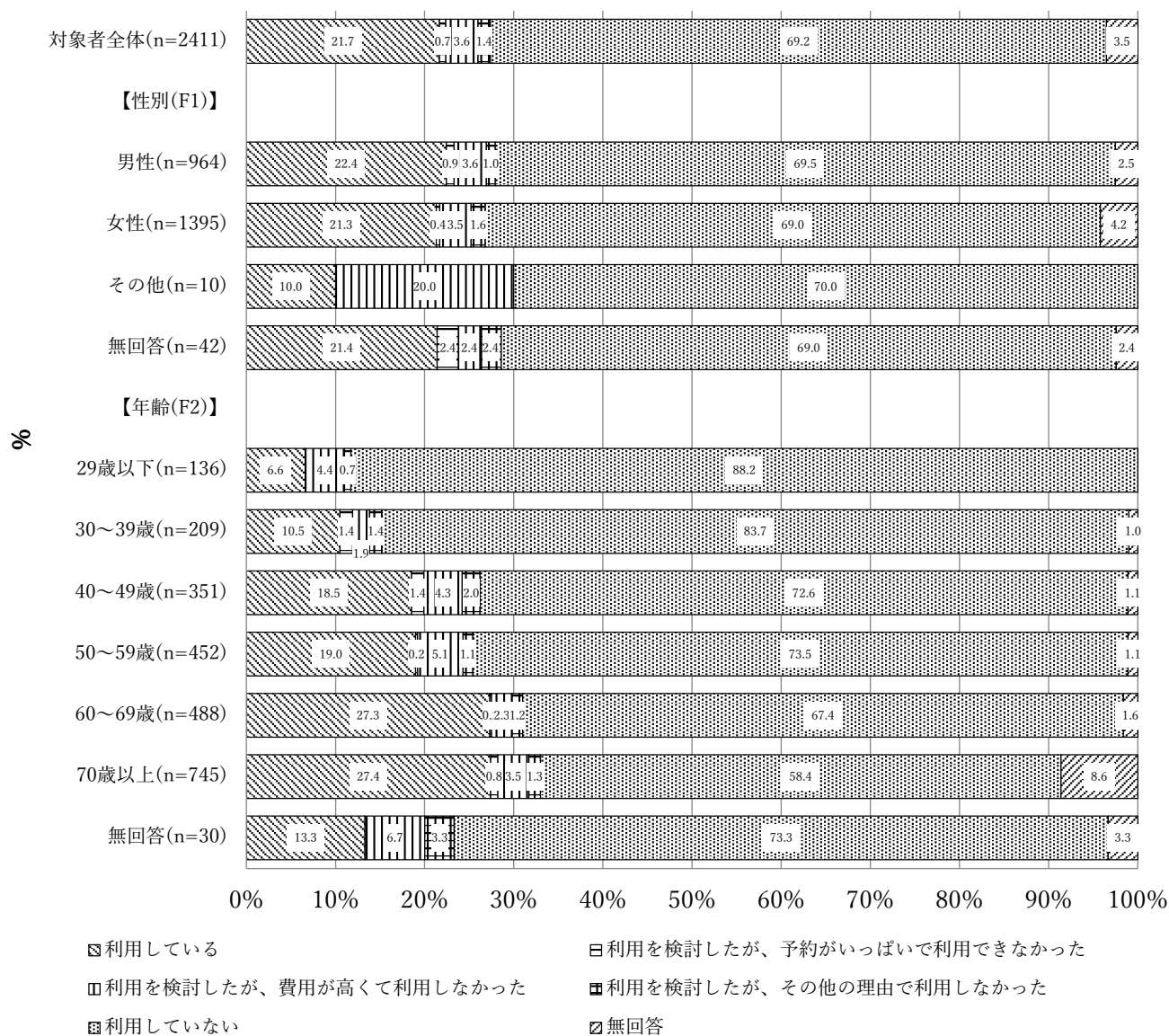
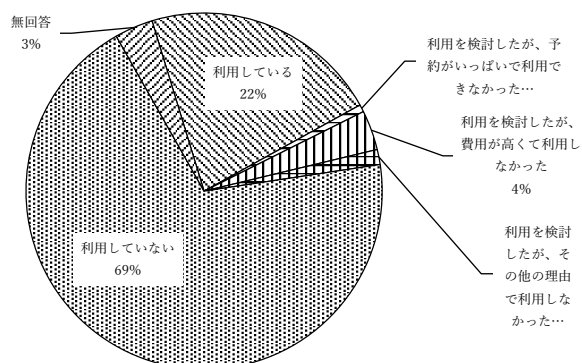
【性別】「以前から知っていたが、関心はない」は男性17.1%で、女性10.6%を6.5ポイント上回る。

【年代】「今回初めて知ったが、関心はない」は29歳以下64.7%、70歳以上36.8%で差が大きい。

2-11 有料除排雪サービスの利用について

【問 23】あなたは、冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス(福祉除雪を除く)を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「利用していない」が69.2%で最多。



【全体】性別・年代別とも「利用していない」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「利用している」の1.1ポイント。

【年代】「利用していない」は29歳以下88.2%、70歳以上58.4%で差が大きい。

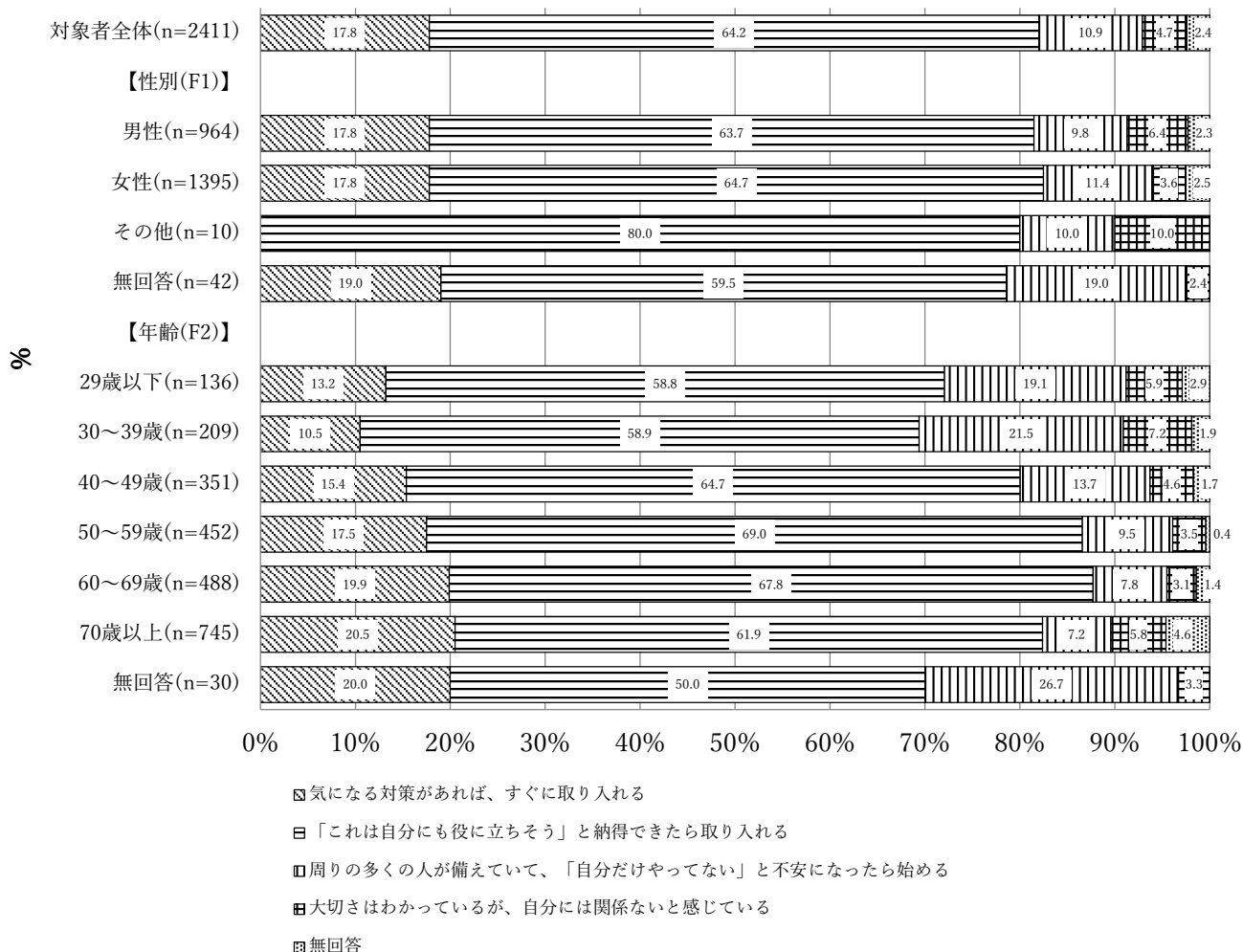
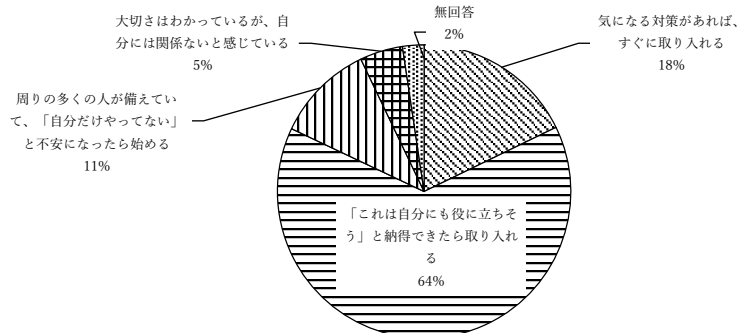
Theme 3. 防災意識・災害への備えについて

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害や社会醸成に応じた防災対策に取り組んでいる。そこで、今後の防災対策の参考とするために、皆様に災害に対する備えについてお聞きした。

3-1 災害への備えに対する考え方

【問 24】あなたの「災害への備え」に対する考え方に一番近いものに1つだけ○をつけてください

●「役に立つと納得できたら取り入れる」が 64.2% で最多。



【全体】性別・年代別とも「役に立つと納得できたら取り入れる」が最も高い。

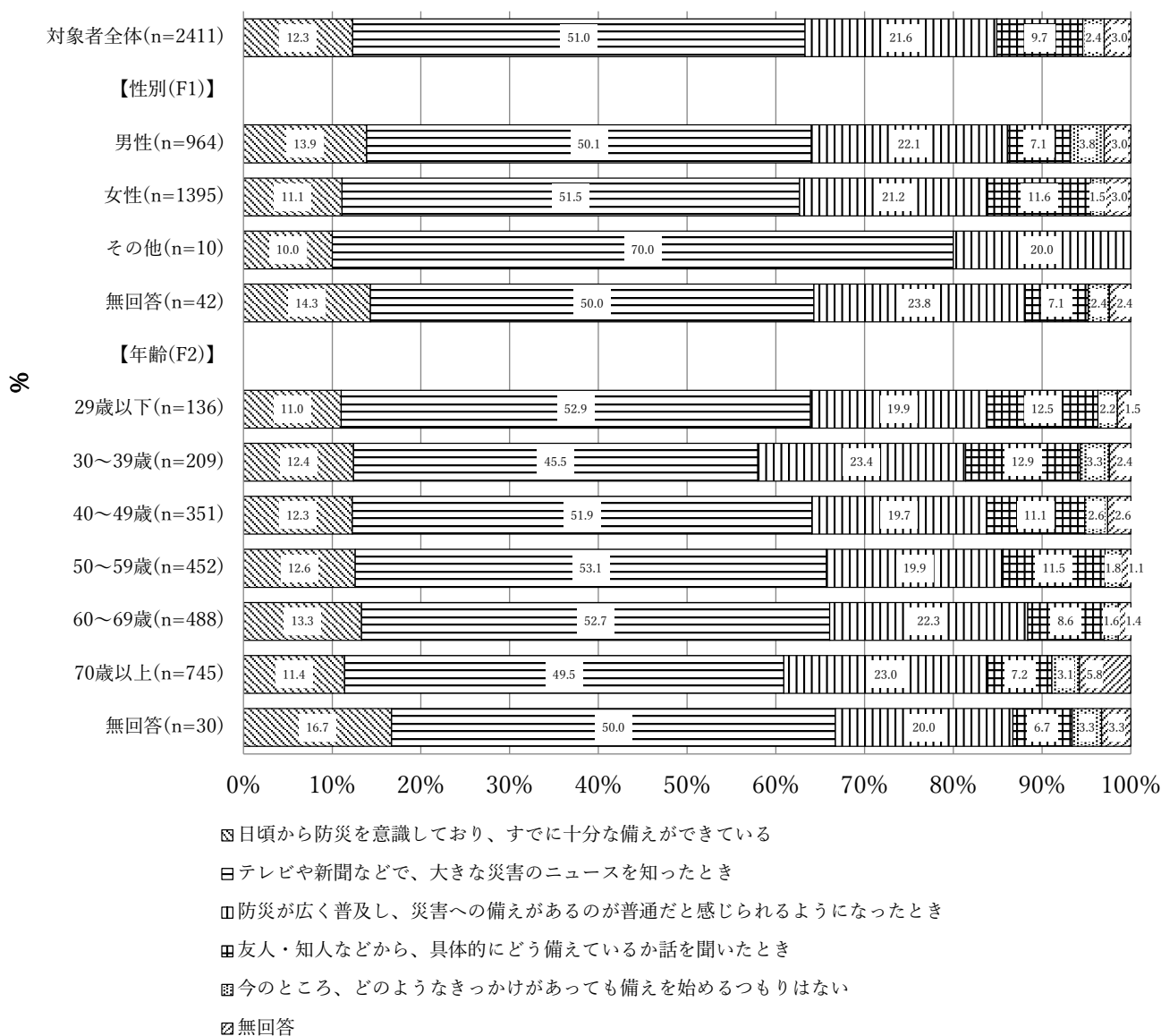
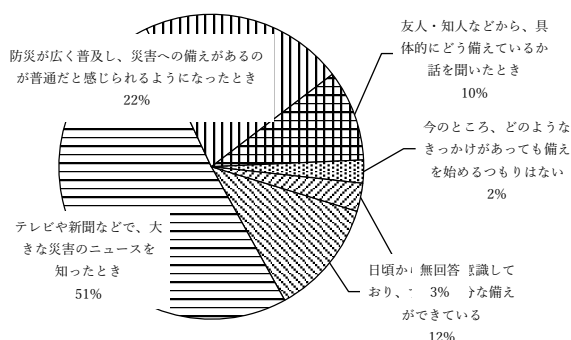
【性別】男女差は小さく、最大でも「大切さはわかっているが、自分には関係ないと感じている」の 2.8 ポイント。

【年代】「周囲が備えていると不安になったら始める」は 30 歳代 21.5%、70 歳以上 7.2% で差が大きい。

3-2 災害への備えのきっかけ

【問 25】あなたは、どのようなきっかけがあると、「自分も備えよう」という気持ちになりますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「大きな災害のニュースを知ったとき」が51.0%で最多。

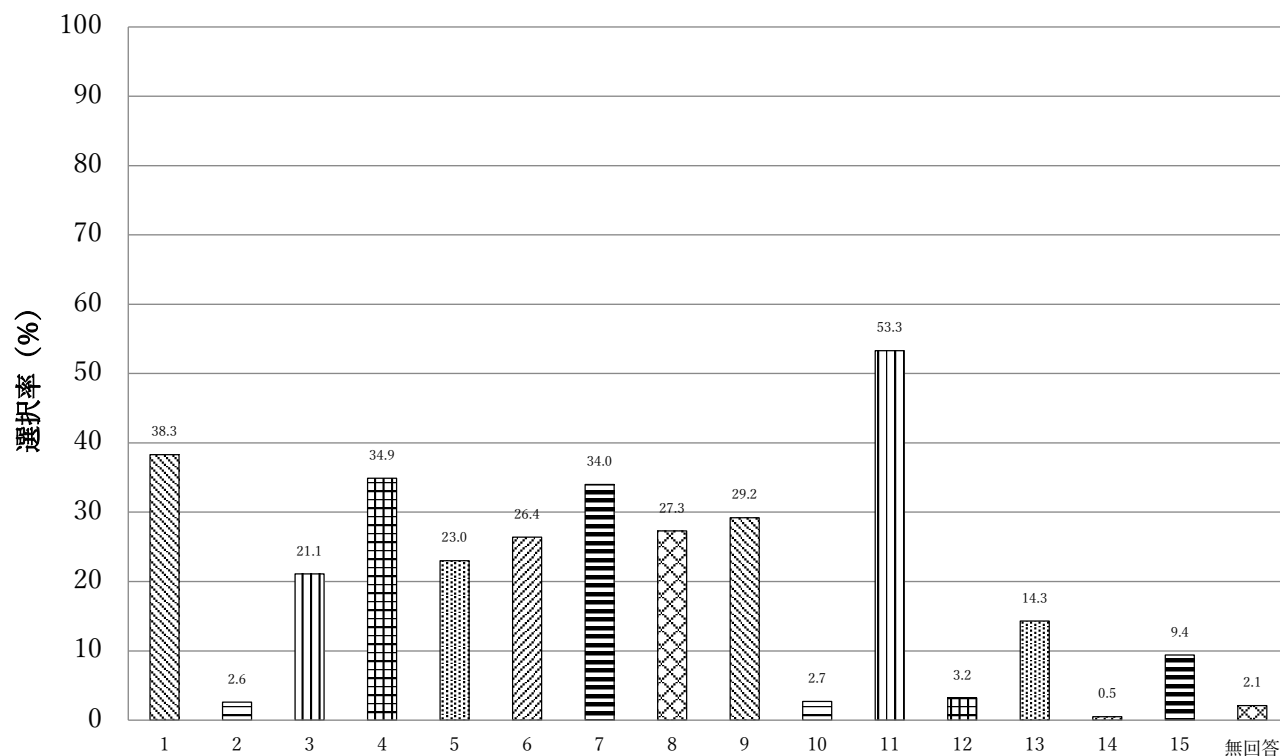


【全体】性別・年代別とも「大きな災害のニュースを知ったとき」が最も高い。
 【性別】男女差は小さく、最大でも「友人・知人から備え方を聞いたとき」の4.5ポイント。
 【年代】年代差は小さく、「大きな災害のニュースを知ったとき」は45.5～53.1%。

3-3 地震や風水害への対策

【問26】あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「食料・飲料水の多めの買い置き」が53.3%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 家具の固定や配置の工夫	2. 家屋や塀などの補強	3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	4. 備蓄品や非常持ち出し袋の用意	5. テレビや書籍等での知識取得	6. 自家用車への早めの満タン給油	7. 避難方法や最寄りの避難所の確認	8. ハザードマップの確認	9. 地震保険や水災保険などへの加入	10. 親戚や知人宅への避難の相談	11. 食料品や飲料水の多めの買い置き（ローリングストック）	12. 地域での防災訓練やイベントへの参加	13. 防災アプリのインストール（スマートフォン等）	14. その他	15. 特になにもしていない	無回答
全体		2411	924	62	508	841	555	636	820	659	705	64	1286	78	344	13	226	50
性別(F1)																		
男性		964	354	28	180	315	259	293	303	295	297	24	455	38	166	6	106	18
女性		1395	554	34	313	507	288	328	489	350	397	38	803	37	166	7	116	31
その他		10	3	0	3	4	1	1	6	3	1	0	6	1	3	0	1	0
無回答		42	13	0	12	15	7	14	22	11	10	2	22	2	9	0	3	1
年齢(F2)																		
29歳以下		136	37	2	21	39	19	13	39	23	14	4	64	0	25	0	18	3
30～39歳		209	27.2%	1.5%	15.4%	28.7%	14.0%	9.6%	28.7%	16.9%	10.3%	2.9%	47.1%	0.0%	18.4%	0.0%	13.2%	2.2%
40～49歳		351	66	4	37	74	39	39	57	42	40	8	106	2	16	2	40	3
50～59歳		452	31.6%	1.9%	17.7%	35.4%	18.7%	18.7%	27.3%	20.1%	19.1%	3.8%	50.7%	1.0%	7.7%	1.0%	19.1%	1.4%
60～69歳		488	120	7	70	138	66	92	118	100	108	10	195	10	56	1	28	7
70歳以上		745	34.2%	2.0%	19.9%	39.3%	18.8%	26.2%	33.6%	28.5%	30.8%	2.8%	55.6%	2.8%	16.0%	0.3%	8.0%	2.0%
無回答		30	160	3	118	159	98	154	149	129	117	11	250	6	80	3	42	3
			35.4%	0.7%	26.1%	35.2%	21.7%	34.1%	33.0%	28.5%	25.9%	2.4%	55.3%	1.3%	17.7%	0.7%	9.3%	0.7%
			195	17	108	181	143	162	163	143	173	7	281	17	86	3	37	5
			40.0%	3.5%	22.1%	37.1%	29.3%	33.2%	33.4%	29.3%	35.5%	1.4%	57.6%	3.5%	17.6%	0.6%	7.6%	1.0%
			336	29	147	240	186	163	279	214	246	24	374	42	76	4	59	29
			45.1%	3.9%	19.7%	32.2%	25.0%	21.9%	37.4%	28.7%	33.0%	3.2%	50.2%	5.6%	10.2%	0.5%	7.9%	3.9%
			10	0	7	10	4	13	15	8	7	0	16	1	5	0	2	0
			33.3%	0.0%	23.3%	33.3%	13.3%	43.3%	50.0%	26.7%	23.3%	0.0%	53.3%	3.3%	16.7%	0.0%	6.7%	0.0%

【全体】性別・年代別とも「食料・飲料水の多めの買い置き」が最も高い。

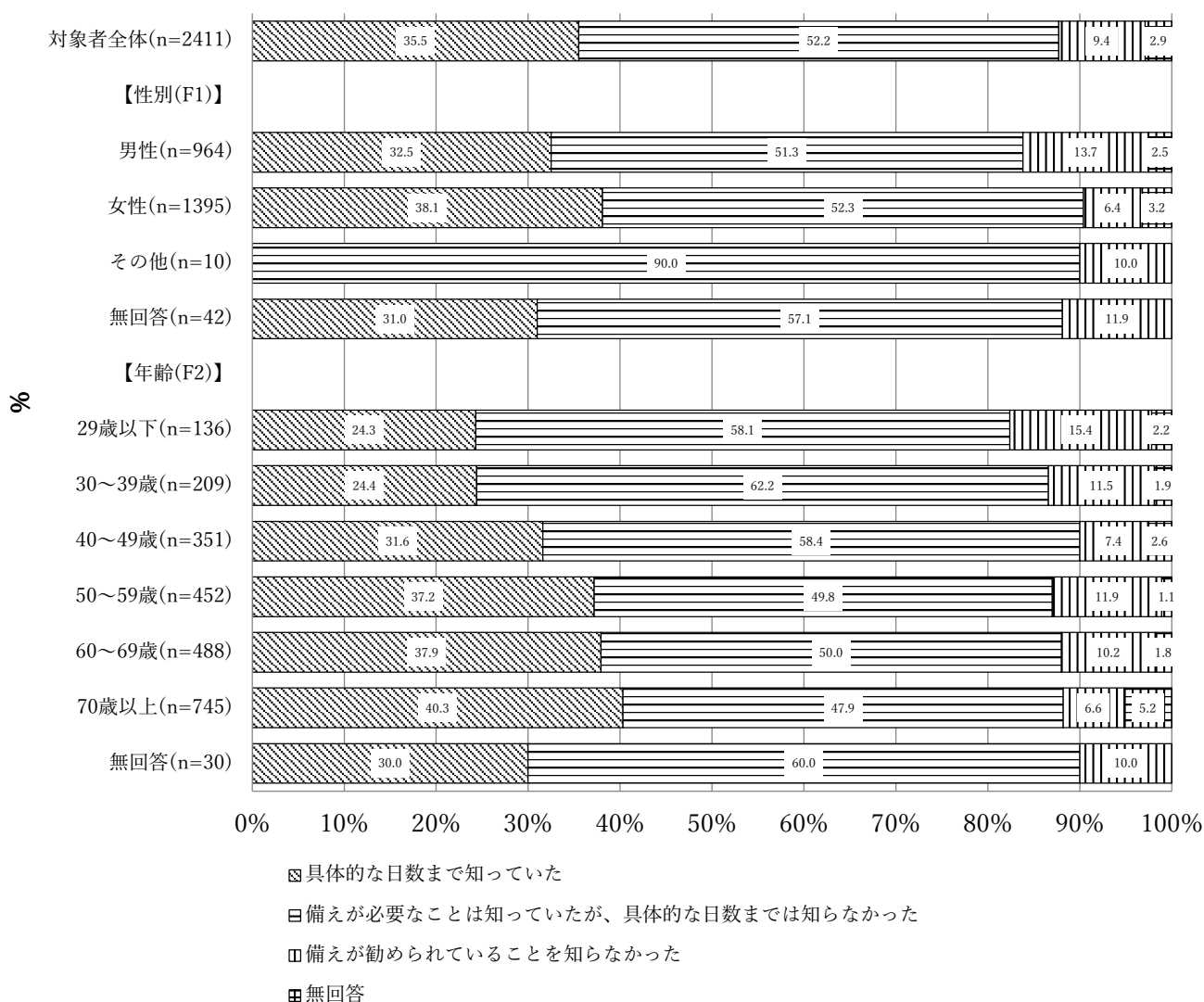
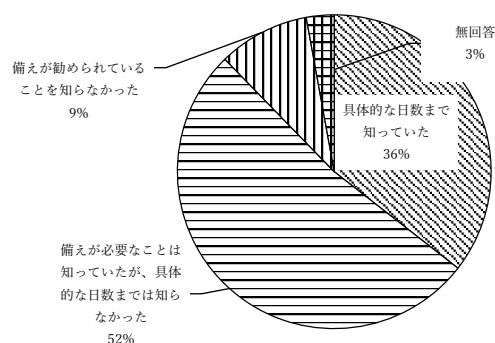
【性別】「食料・飲料水の多めの買い置き」は女性 57.6%で、男性 47.2%を 10.4 ポイント上回る。

【年代】「地震保険や水災保険などへの加入」は 60 歳代 35.5%、29 歳以下 10.3%で差が大きい。

3-4 備蓄目安への認識の有無

【問 27】札幌市では災害への備えとして「最低3日分、できれば1週間分」の備蓄（食料や水など）を勧めています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「必要性は知っていたが日数は知らなかった」が52.2%で最多。



【全体】性別・年代別とも「必要性は知っていたが日数は知らなかった」が最も高い。

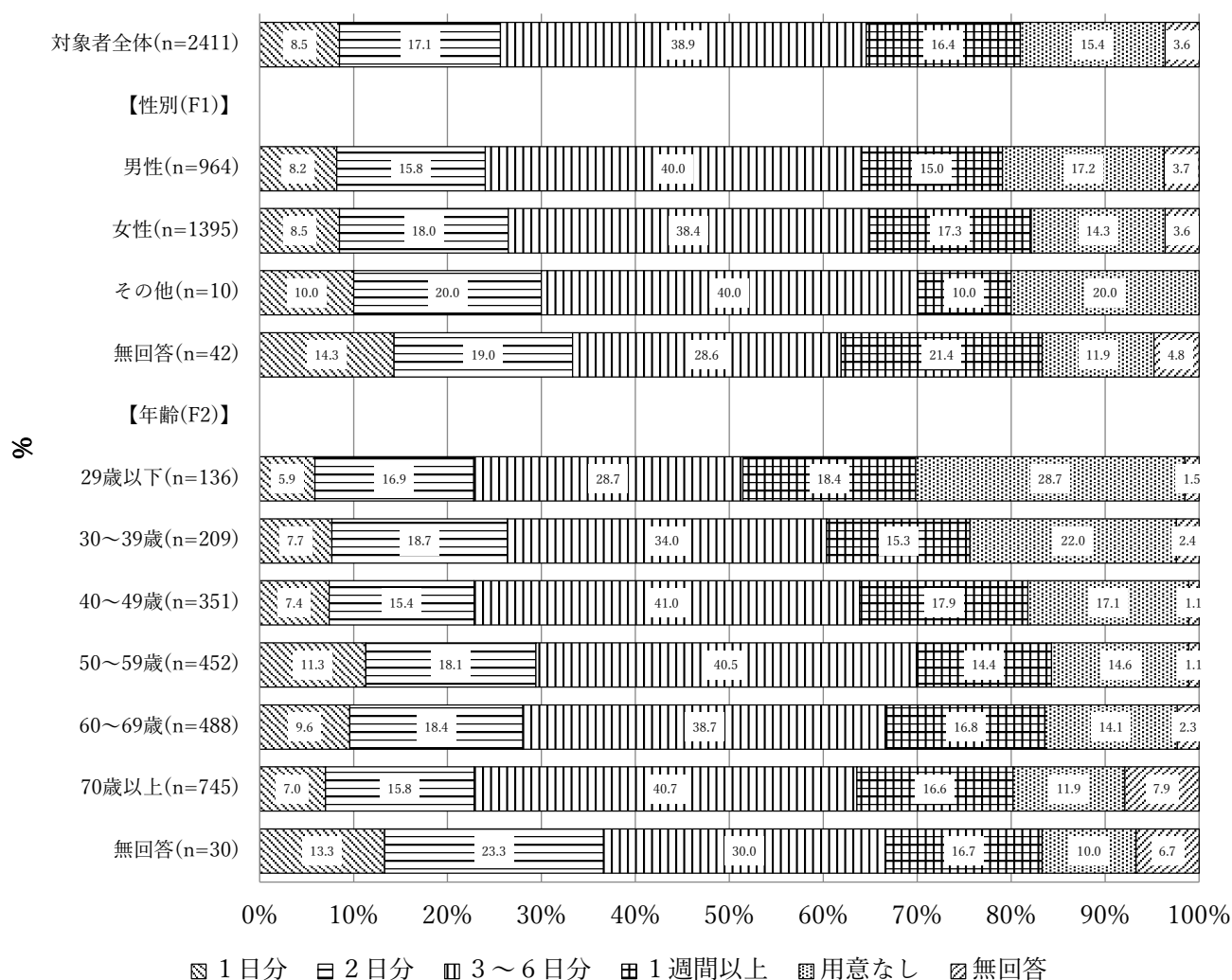
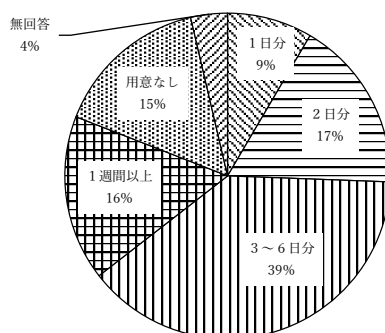
【性別】「備えが勧められていることを知らなかった」は男性13.7%で、女性6.4%を7.3ポイント上回る。

【年代】「具体的な日数まで知っていた」は70歳以上40.3%、29歳以下24.3%で差が大きい。

3-5 備蓄状況（[ア]飲料水）

【問 28】あなたは、災害に備えて、以下の品目を「何日分」くらい用意していますか。次のア～ウのそれぞれの項目について、あてはまる数字に1つつ○をつけてください。

●「3～6日分」との回答が38.9%で最多¹



【全体】性別・年代別とも、「3～6日分」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「用意なし」の2.9ポイント。

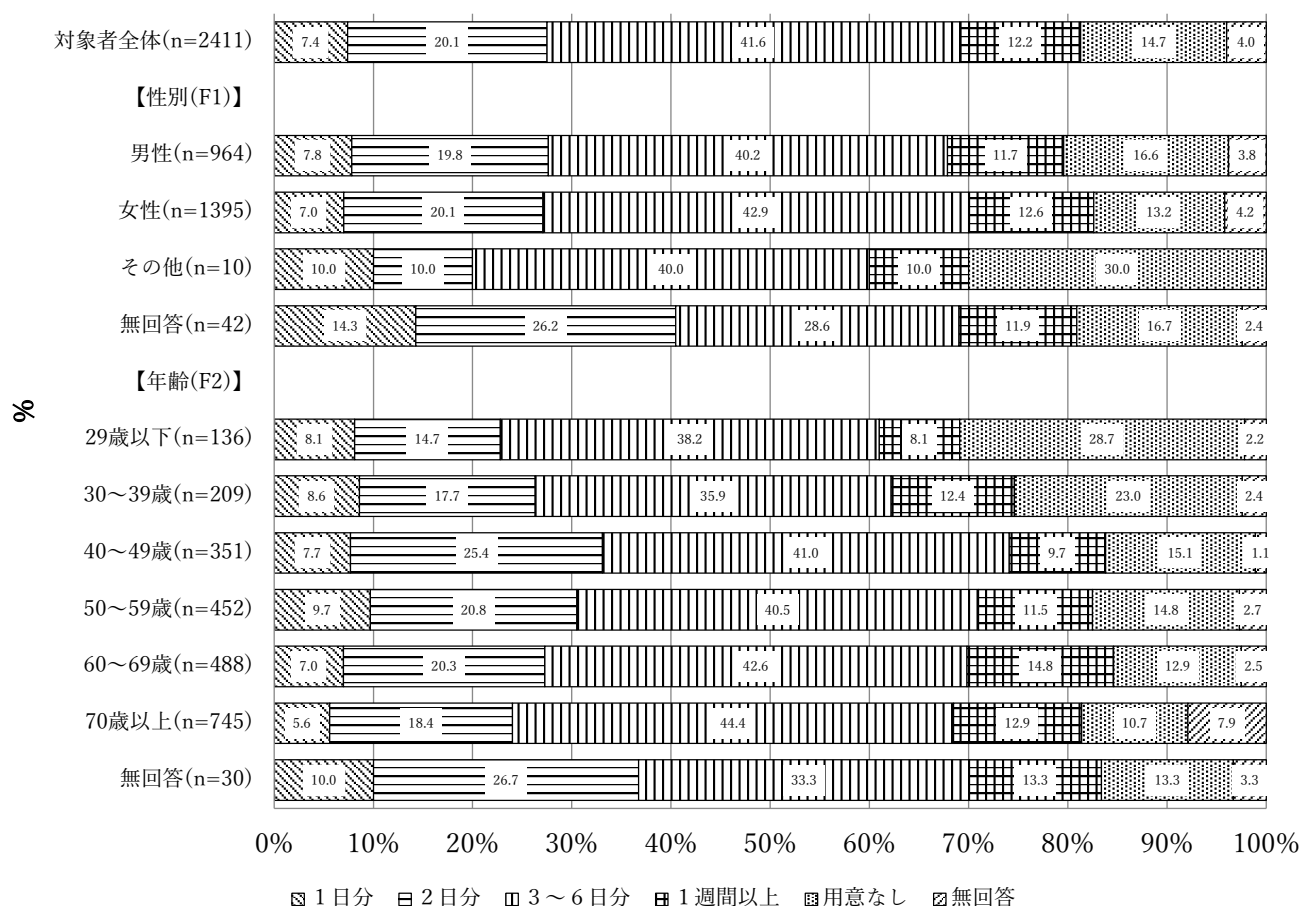
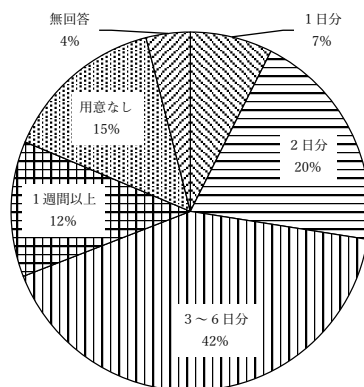
【年代】「用意なし」は29歳以下28.7%、70歳以上11.9%で差が大きい。

¹ 「3～6日分」は複数の日数を含む比較的幅の広い選択肢であることから、「1日分」「2日分」など他の選択肢との割合の単純な比較には留意が必要である。

3-6 備蓄状況（[イ]食料）

【問 28】あなたは、災害に備えて、以下の品目を「何日分」くらい用意していますか。次のア～ウのそれぞれの項目について、あてはまる数字に1つつ〇をつけてください。

● 「3～6日分」との回答が41.6%で最多²



【全体】性別・年代別とも「3～6日分」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「用意なし」の3.4ポイント。

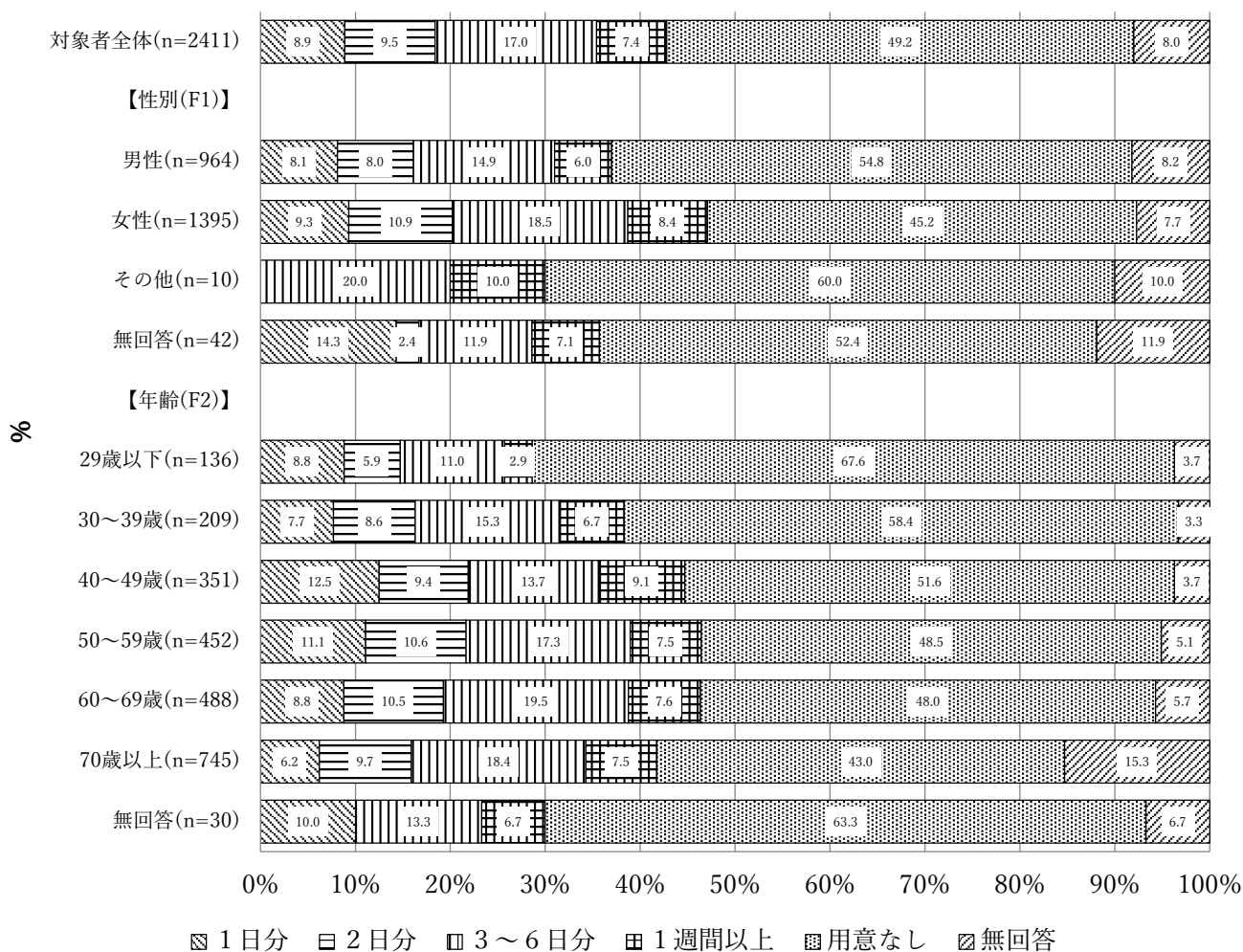
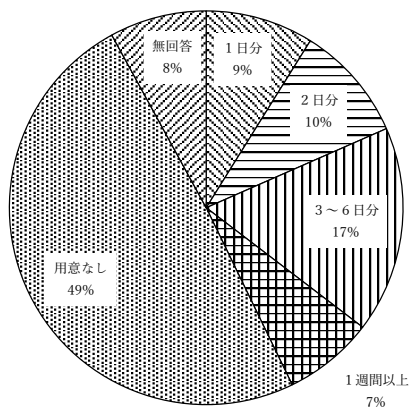
【年代】「用意なし」は29歳以下28.7%、70歳以上10.7%で差が大きい。

² 「3～6日分」は複数の日数を含む比較的幅の広い選択肢であることから、「1日分」「2日分」など他の選択肢との割合の単純な比較には留意が必要である。

3-7 備蓄状況（[ウ]携帯トイレ）

【問 28】あなたは、災害に備えて、以下の品目を「何日分」くらい用意していますか。次のア～ウのそれぞれの項目について、あてはまる数字に1つずつ○をつけてください。

●「用意なし」が49.2%で最多。



【全体】性別・年代別とも「用意なし」が最も高い。

【性別】「用意なし」は男性 54.8%で、女性 45.2%を 9.6 ポイント上回る。

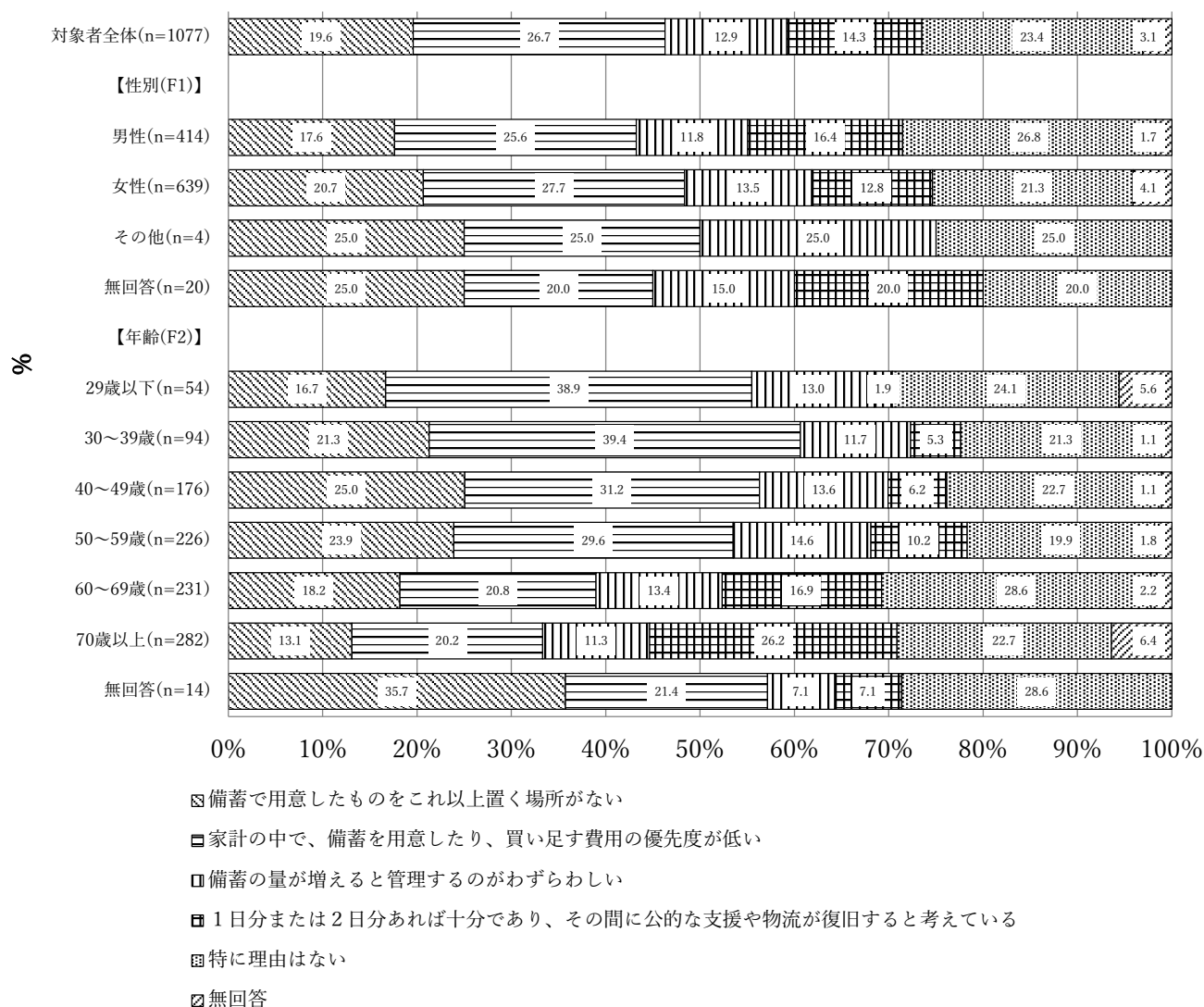
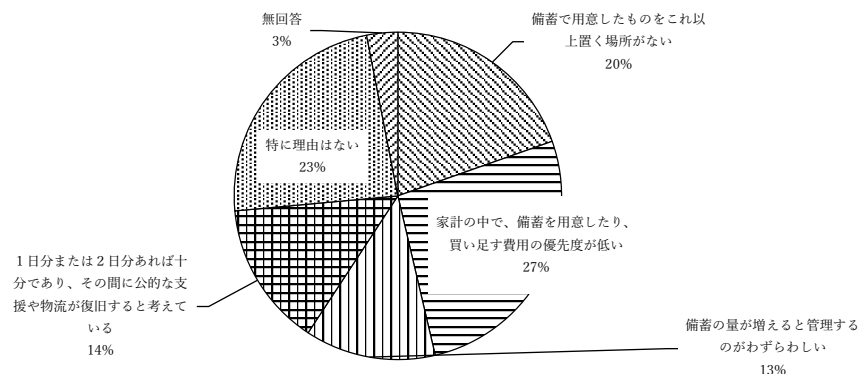
【年代】「用意なし」は 29 歳以下 67.6%、70 歳以上 43.0%で差が大きい。

3-8 3日以上の備蓄が困難な理由等

(問28で、ア～ウのいずれかの項目で「1日分」または「2日分」と答えた方)

【問28-1】あなたが、3日分以上の備蓄をすることが難しい理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「備蓄費用の優先度が低い」が26.7%で最多。



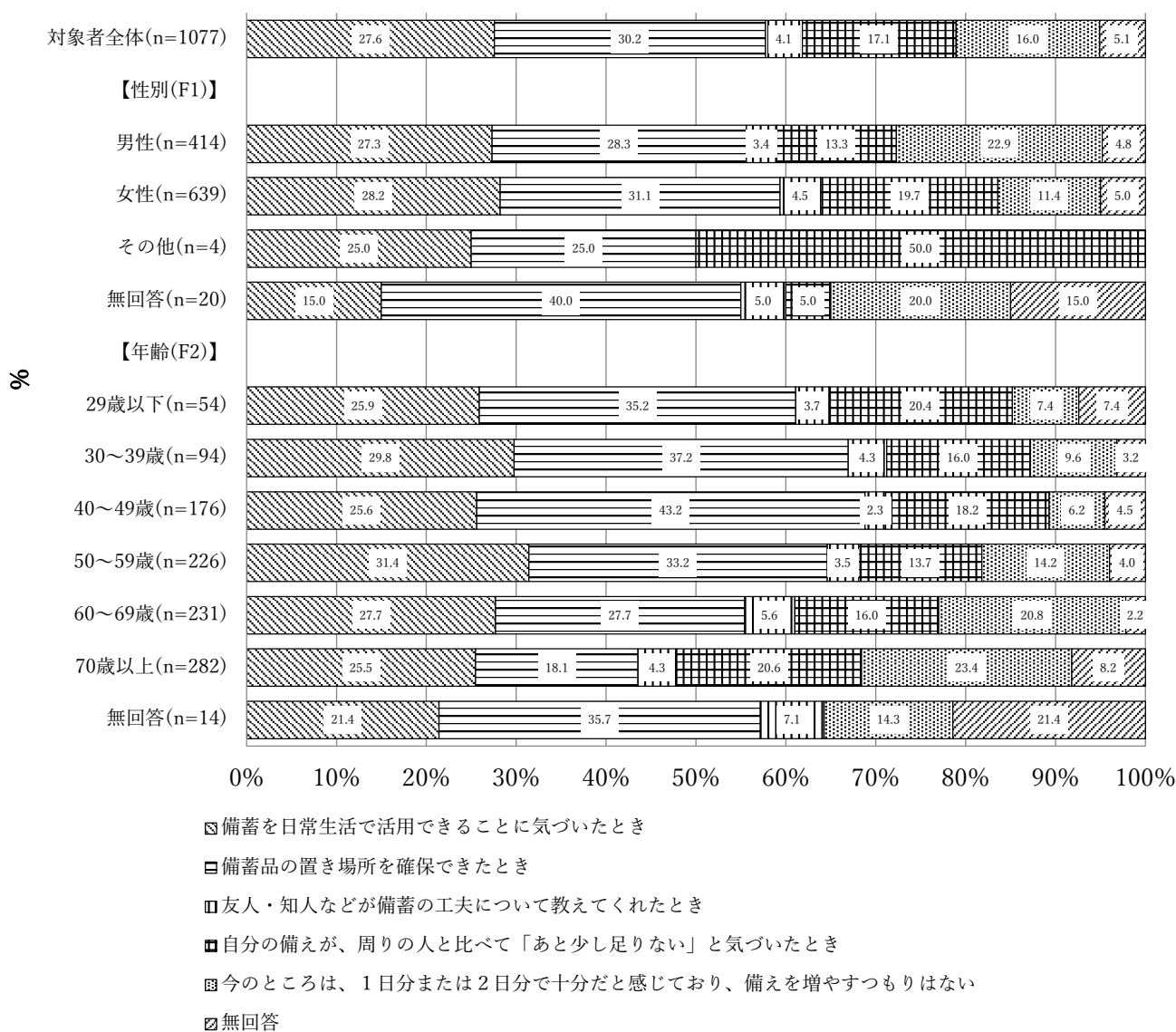
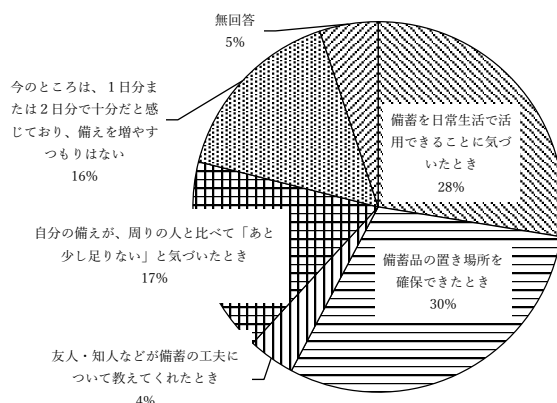
【全体】 属性によって最も高い回答が分かれています。

【性別】 「特に理由はない」は男性26.8%で、女性21.3%を5.5ポイント上回る。

【年代】 「1～2日分で十分と考えている」は70歳以上26.2%、29歳以下1.9%で差が大きい。

【問 28-2】あなたは、どのようなきっかけがあれば「3日以上」の備蓄ができると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「備蓄品の置き場所を確保できたとき」が30.2%で最多。



【全体】「備蓄品の置き場所を確保できたとき」30.2%と「備蓄を日常生活で活用できると気づいたとき」27.6%がほぼ同水準。

【性別】「1～2日分で十分で増やすつもりはない」は男性22.9%で、女性11.4%を11.5ポイント上回る。

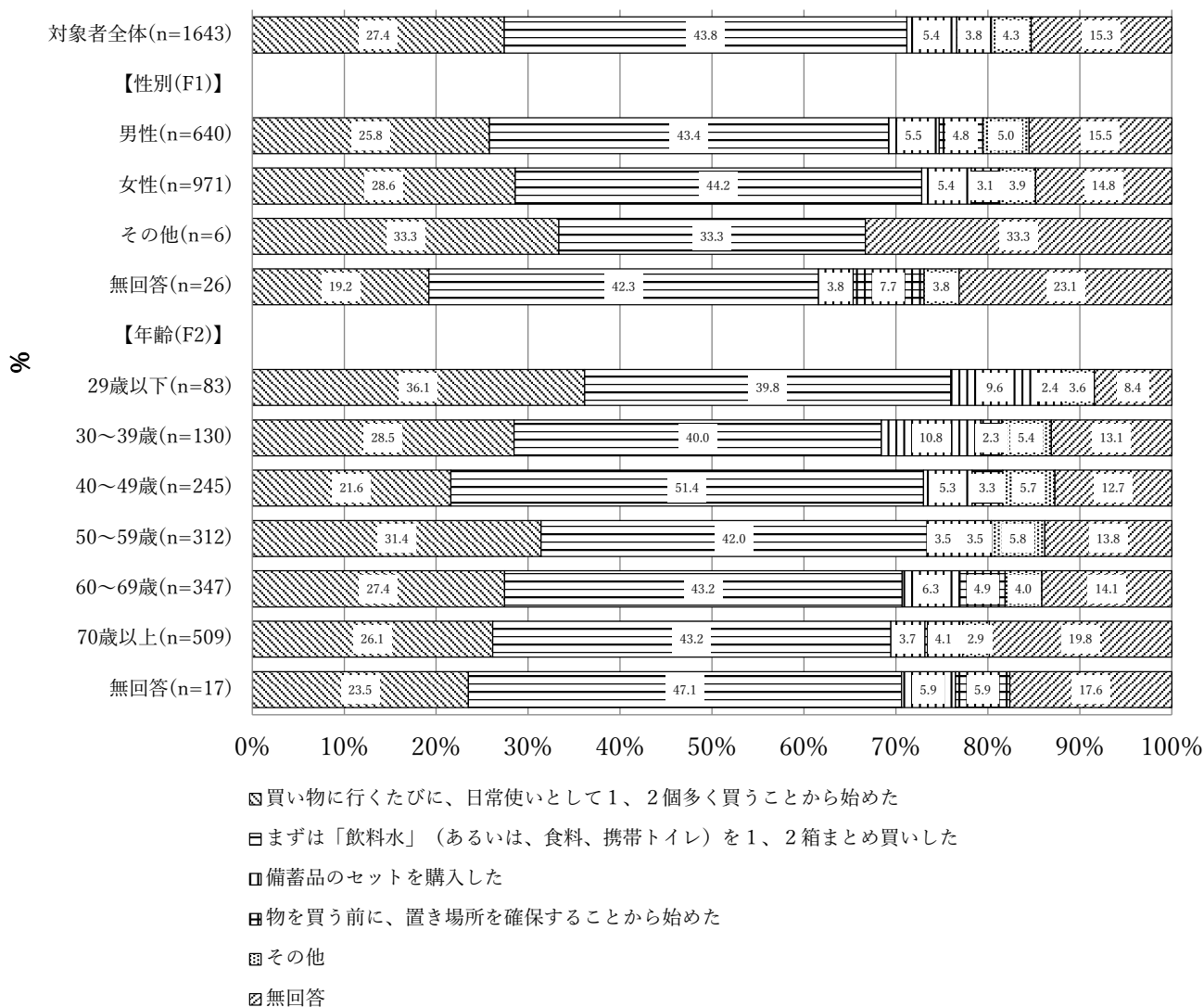
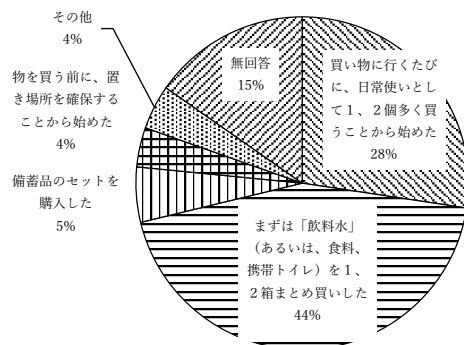
【年代】「備蓄品の置き場所を確保できたとき」は40歳代43.2%、70歳以上18.1%で差が大きい。

3-9 3日以上の備蓄を開始した方法

(問28で、ア～ウのいずれかの項目で「3～6日分」または「1週間以上」に○をつけた方)

【問28-3】あなたは、具体的に、どのような方法で備蓄を始めましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「飲料水等を1、2箱まとめ買い」が43.8%で最多。



【全体】性別・年代別とも「飲料水等を1、2箱まとめ買い」が最も高い。

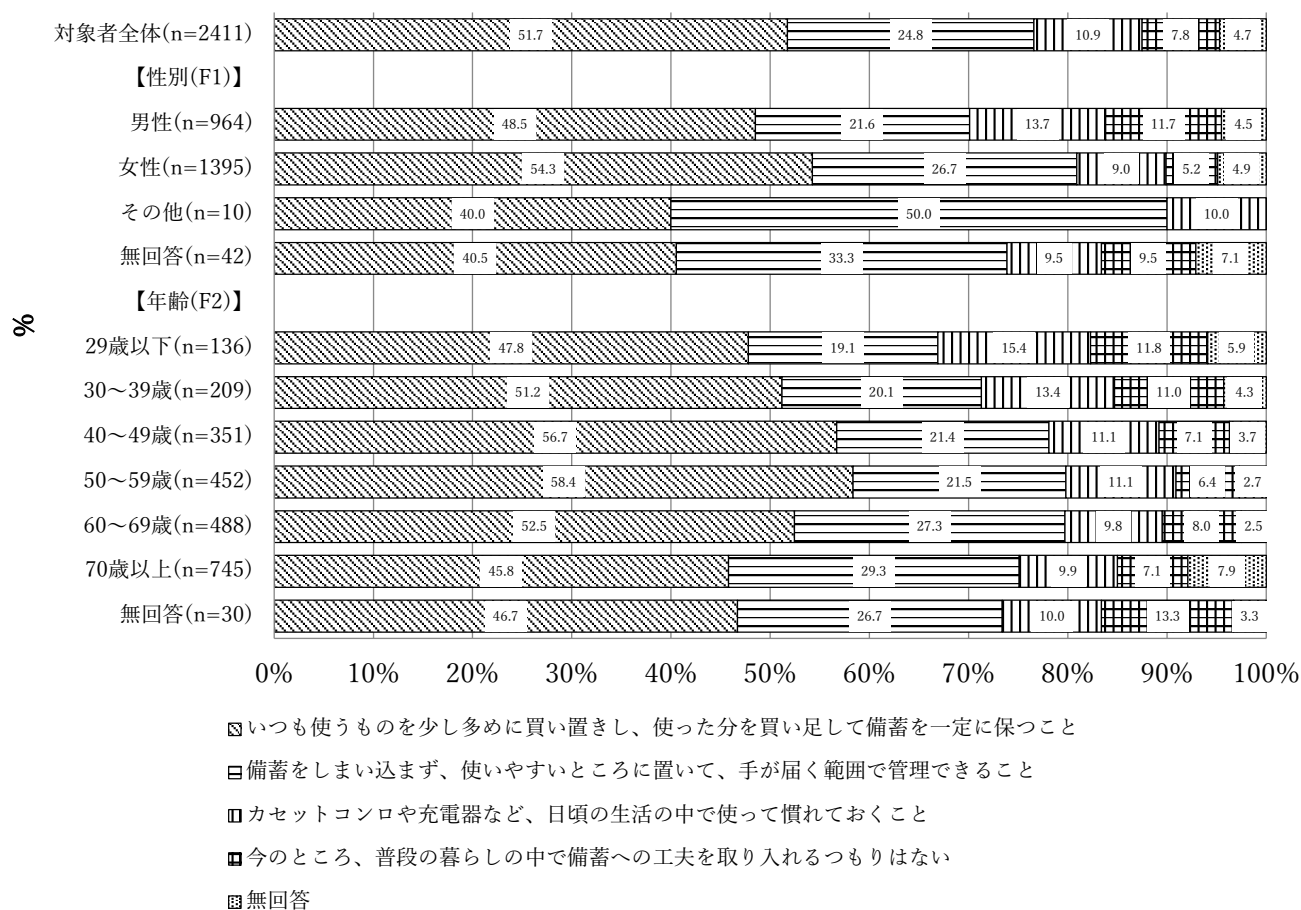
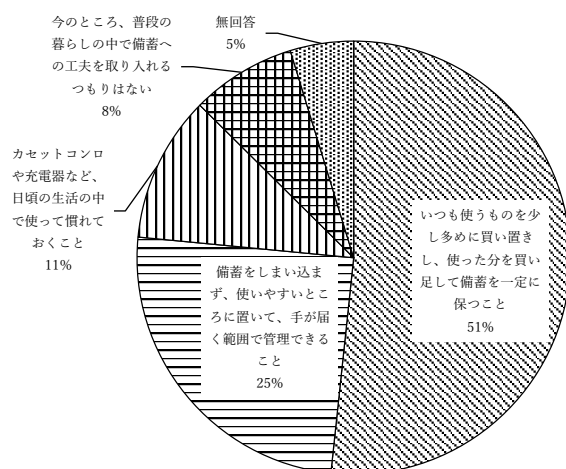
【性別】男女差は小さく、最大でも「買い物時に1、2個多く買う」の2.8ポイント。

【年代】「買い物時に1、2個多く買う」は29歳以下36.1%、40歳代21.6%で差が大きい。

3-10 暮らしの中での備蓄の工夫

【問 29】あなたは、どのような「普段の暮らしの中での工夫」であれば、無理なく備蓄が続けられますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「使うものを多めに買い、使った分を買い足す」が 51.7% で最多。



【全体】多くの性別・年代で「手の届く範囲で管理ができること」が最も高い。

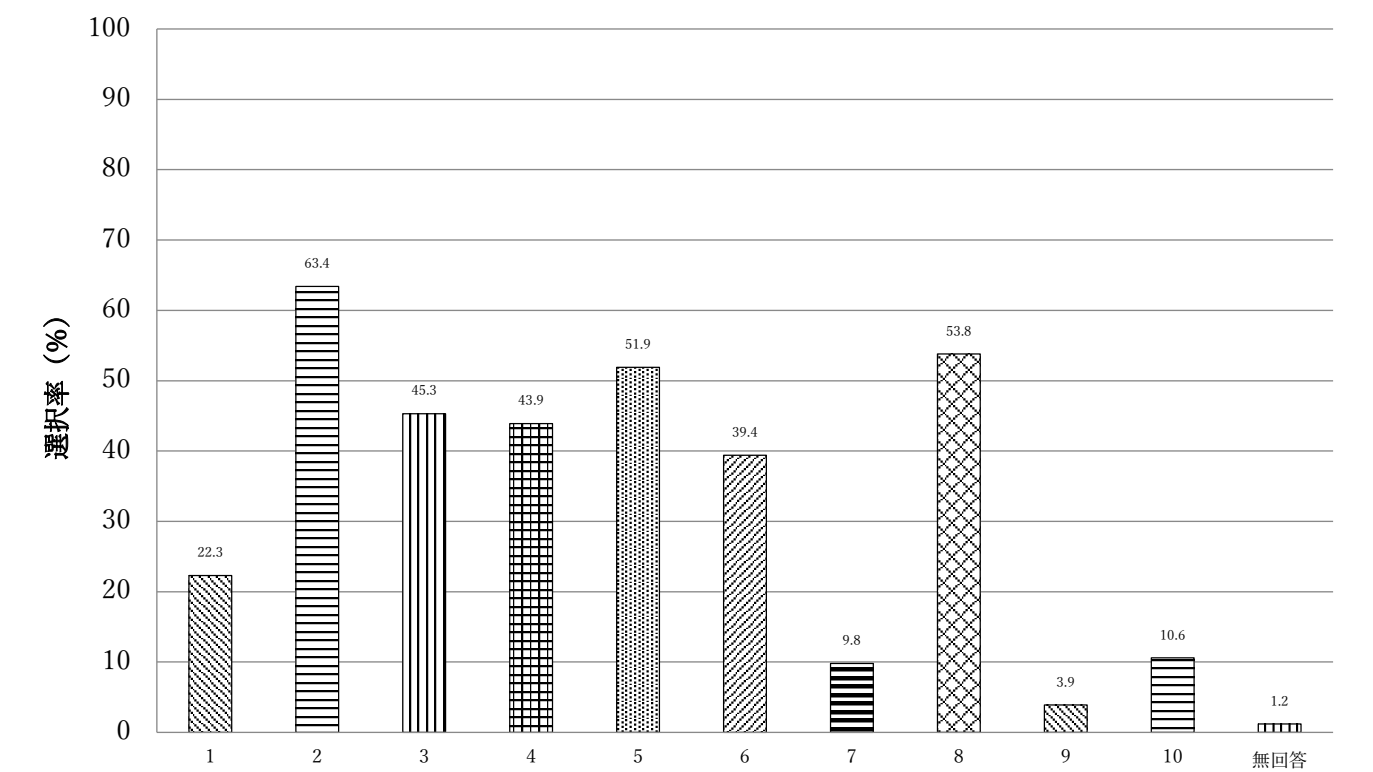
【性別】「備蓄の工夫を取り入れるつもりはない」は男性 11.7% で、女性 5.2% を 6.5 ポイント上回る。

【年代】「使うものを多めに買い、使った分を買い足す」は 50 歳代 58.4%、70 歳以上 45.8% で差が大きい。

3-11 冬の災害への備え

【問 30】あなたは、冬の災害に備えて、どのようなものを用意していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「カセットコンロ」が63.4%で最多。



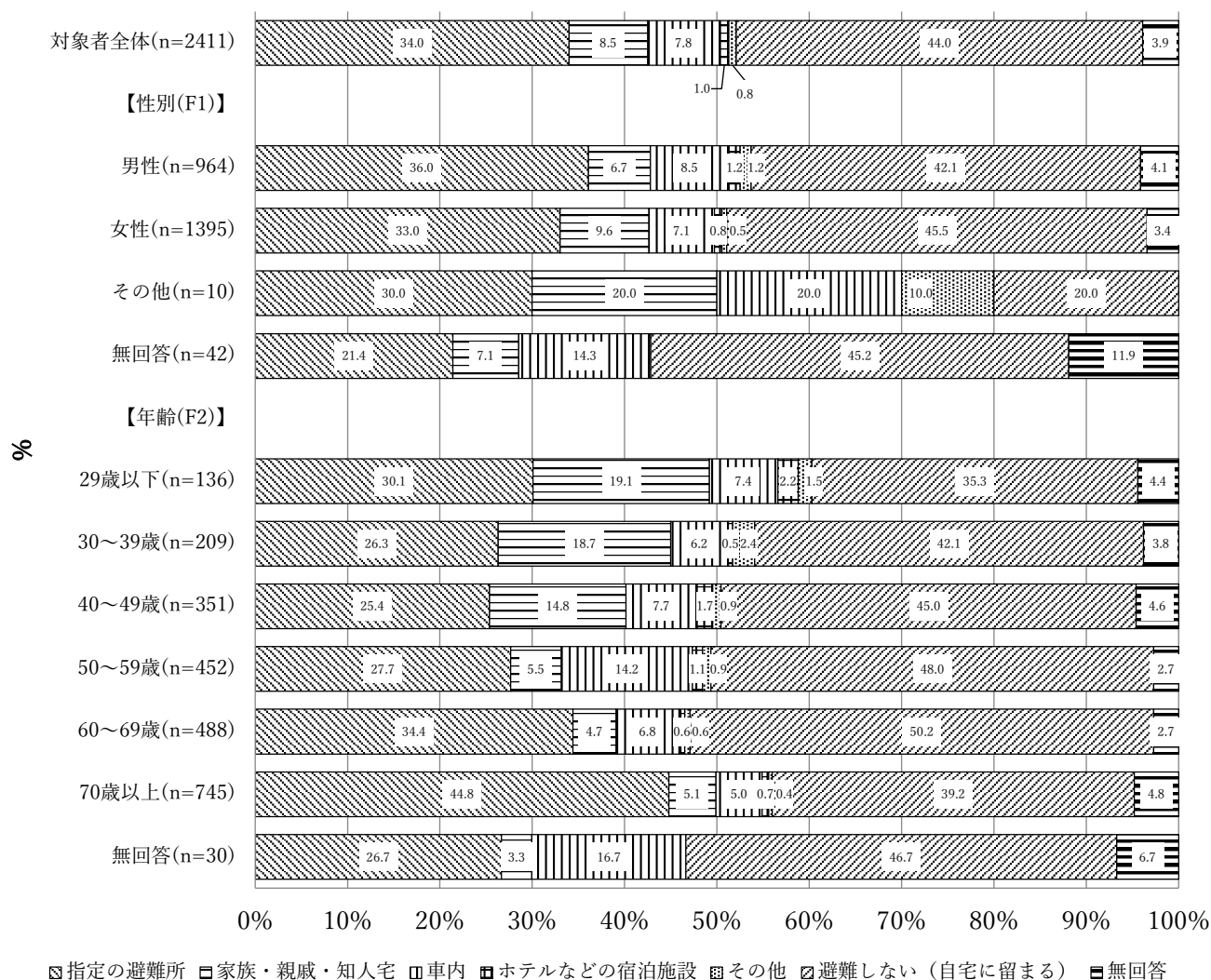
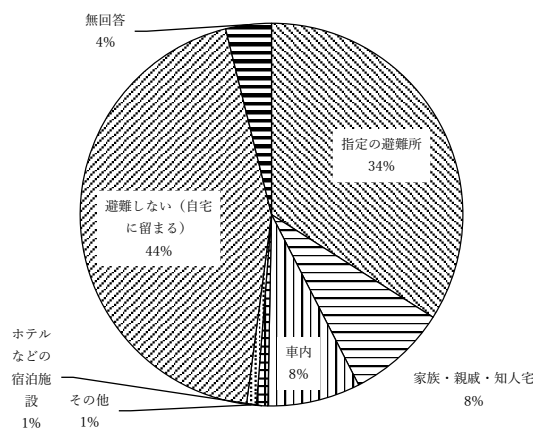
F項目		(実数/比率)	n	1. 防寒 シート	2. カセッ トコンロ	3. ポータ ブル電 源・乾電 池等	4. 暖かい インナー や靴下	5. 防寒着	6. 寝袋や 毛布	7. 防寒 シートや 段ボール	8. 使い捨 てカイロ	9. その他	10. 特に なにも用 意してい ない	無回答
全体			2411	537	1528	1092	1059	1252	949	236	1297	95	256	30
性別(F1)	男性		964	22.3%	63.4%	45.3%	43.9%	51.9%	39.4%	9.8%	53.8%	3.9%	10.6%	1.2%
	女性		1395	188	596	453	399	533	376	99	434	41	122	11
				19.5%	61.8%	47.0%	41.4%	55.3%	39.0%	10.3%	45.0%	4.3%	12.7%	1.1%
	その他		10	341	907	619	637	691	556	134	834	52	127	16
			24.4%	65.0%	44.4%	45.7%	49.5%	39.9%	9.6%	59.8%	3.7%	9.1%	1.1%	
年齢(F2)	無回答		42	10.0%	60.0%	30.0%	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%
				7	19	17	17	25	16	3	21	1	6	3
				16.7%	45.2%	40.5%	40.5%	59.5%	38.1%	7.1%	50.0%	2.4%	14.3%	7.1%
	29歳以下		136	19	55	34	57	62	54	13	74	2	26	1
				14.0%	40.4%	25.0%	41.9%	45.6%	39.7%	9.6%	54.4%	1.5%	19.1%	0.7%
年齢(F2)	30～39歳		209	35	113	80	106	109	92	16	110	5	31	1
				16.7%	54.1%	38.3%	50.7%	52.2%	44.0%	7.7%	52.6%	2.4%	14.8%	0.5%
	40～49歳		351	78	220	145	163	180	169	41	189	16	44	1
				22.2%	62.7%	41.3%	46.4%	51.3%	48.1%	11.7%	53.8%	4.6%	12.5%	0.3%
	50～59歳		452	101	309	209	206	226	187	39	237	25	39	3
				22.3%	68.4%	46.2%	45.6%	50.0%	41.4%	8.6%	52.4%	5.5%	8.6%	0.7%
	60～69歳		488	139	352	236	203	265	201	47	263	23	33	2
				28.5%	72.1%	48.4%	41.6%	54.3%	41.2%	9.6%	53.9%	4.7%	6.8%	0.4%
70歳以上		745	160	460	374	313	394	233	77	409	23	79	21	
			21.5%	61.7%	50.2%	42.0%	52.9%	31.3%	10.3%	54.9%	3.1%	10.6%	2.8%	
年齢(F2)	無回答		30	5	19	14	11	16	13	3	15	1	4	1
				16.7%	63.3%	46.7%	36.7%	53.3%	43.3%	10.0%	50.0%	3.3%	13.3%	3.3%

【全体】多くの性別・年代で「カセットコンロ」が最も高い。
【性別】「使い捨てカイロ」は女性 59.8%で、男性 45.0%を 14.8 ポイント上回る。
【年代】「カセットコンロ」は 60 歳代 72.1%、29 歳以下 40.4%で差が大きい。

3-12 停電（ブラックアウト）時の避難場所

【問 31】冬に大地震が発生し、自宅の被害が少ない一方で、地域一帯が停電（ブラックアウト）となった場合、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「避難しない（自宅に留まる）」が44.0%で最多。



【全体】多くの性別・年代で「避難しない（自宅に留まる）」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「避難しない（自宅に留まる）」の3.4ポイント。

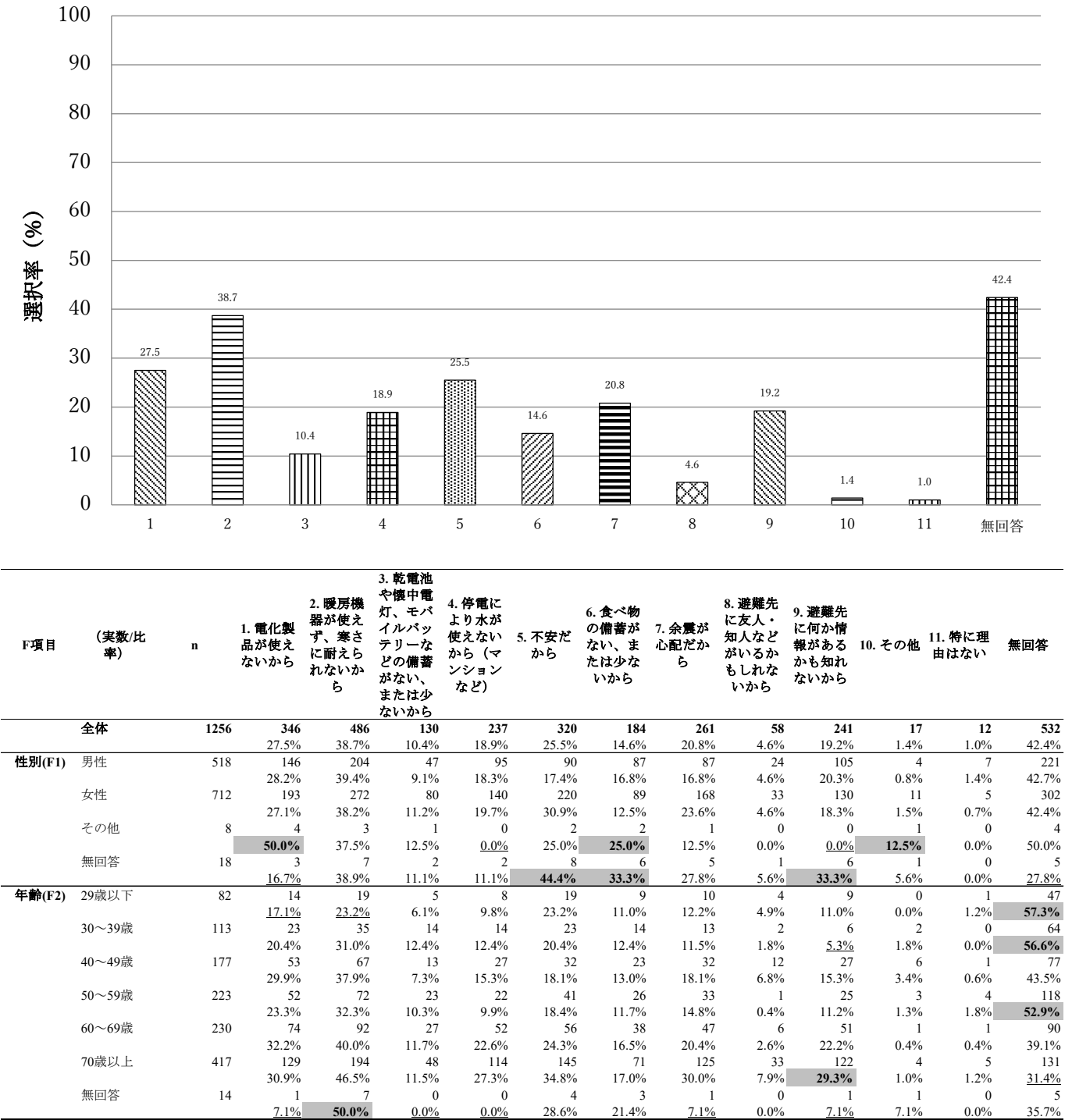
【年代】「指定の避難所」は70歳以上44.8%、40歳代25.4%で差が大きい。

3-13 避難しようと思う理由

(問 31 で「6 避難しない」以外に○をつけた方)

【問 31-1】あなたが避難しようと思う一番の理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「暖房機器が使えず、寒さに耐えられないから」が 38.7%で最多。

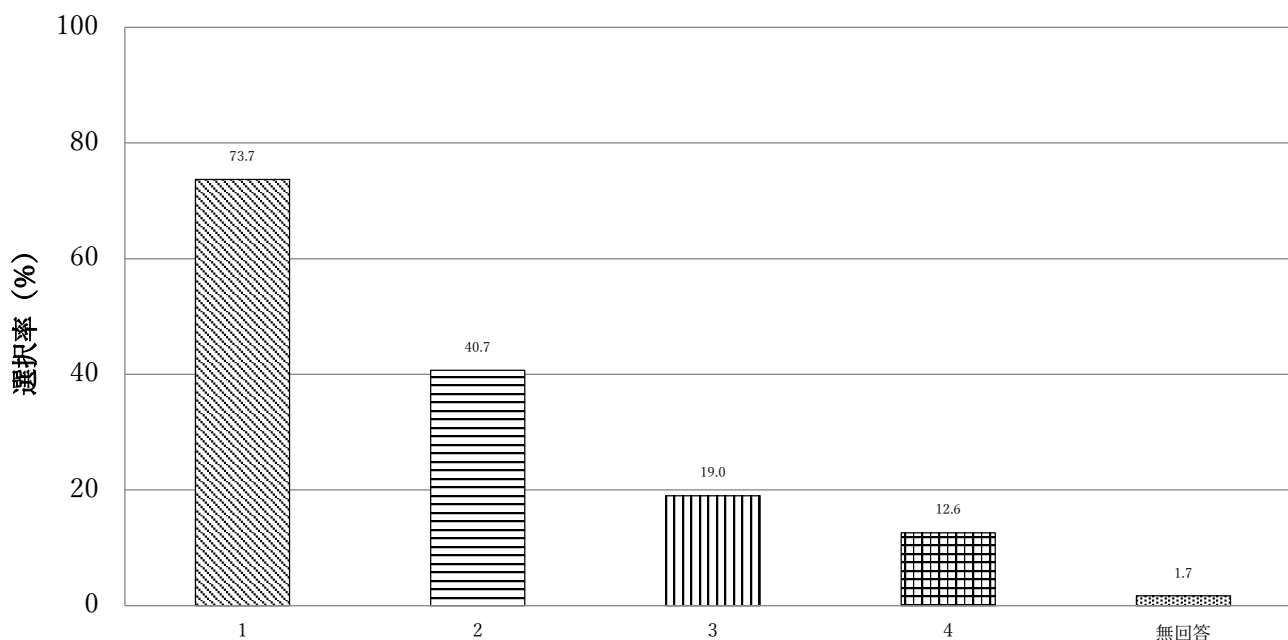


【全体】多くの性別・年代で「暖房機器が使えず、寒さに耐えられないから」が最も高い。
【性別】「不安だから」は女性 30.9%で、男性 17.4%を 13.5 ポイント上回る。
【年代】「避難先に情報があるかもしれないから」は 70 歳以上 29.3%、30 歳代 5.3%で差が大きい。

3-14 理想の暮らしについて

【問 32】あなたは、日頃から災害に備えることで、札幌市でどのような「暮らし」を実現したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「災害時も家で安心して過ごせる暮らし」が73.7%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 自分や家族が、災害時も大きな不安を感じることなく家で過ごせる暮らし	2. お隣同士や知り合い同士が、災害時に無理のない範囲で助け合える暮らし	3. 防災をきっかけに、普段から地域の幅広い世代につながるが生まれる暮らし	4. 今のところは現状のままで良いと感じているため、思いつかない	無回答
全体		2411	1778 73.7%	981 40.7%	457 19.0%	304 12.6%	41 1.7%
性別(F1)	男性	964	660 68.5%	372 38.6%	184 19.1%	159 16.5%	17 1.8%
	女性	1395	1080 77.4%	596 42.7%	263 18.9%	137 9.8%	23 1.6%
	その他	10	8 80.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%
	無回答	42	30 71.4%	13 31.0%	8 19.0%	7 16.7%	1 2.4%
年齢(F2)	29歳以下	136	112 82.4%	40 29.4%	18 13.2%	12 8.8%	0 0.0%
	30～39歳	209	162 77.5%	56 26.8%	25 12.0%	29 13.9%	1 0.5%
	40～49歳	351	266 75.8%	126 35.9%	58 16.5%	40 11.4%	3 0.9%
	50～59歳	452	328 72.6%	155 34.3%	87 19.2%	65 14.4%	5 1.1%
	60～69歳	488	357 73.2%	190 38.9%	100 20.5%	58 11.9%	5 1.0%
	70歳以上	745	533 71.5%	402 54.0%	163 21.9%	96 12.9%	27 3.6%
	無回答	30	20 66.7%	12 40.0%	6 20.0%	4 13.3%	0 0.0%

【全体】性別・年代別とも「災害時も家で安心して過ごせる暮らし」が最も高い。

【性別】「災害時も家で安心して過ごせる暮らし」は女性77.4%で、男性68.5%を8.9ポイント上回る。

【年代】「災害時に近隣で助け合える暮らし」は70歳以上54.0%、30歳代26.8%で差が大きい。

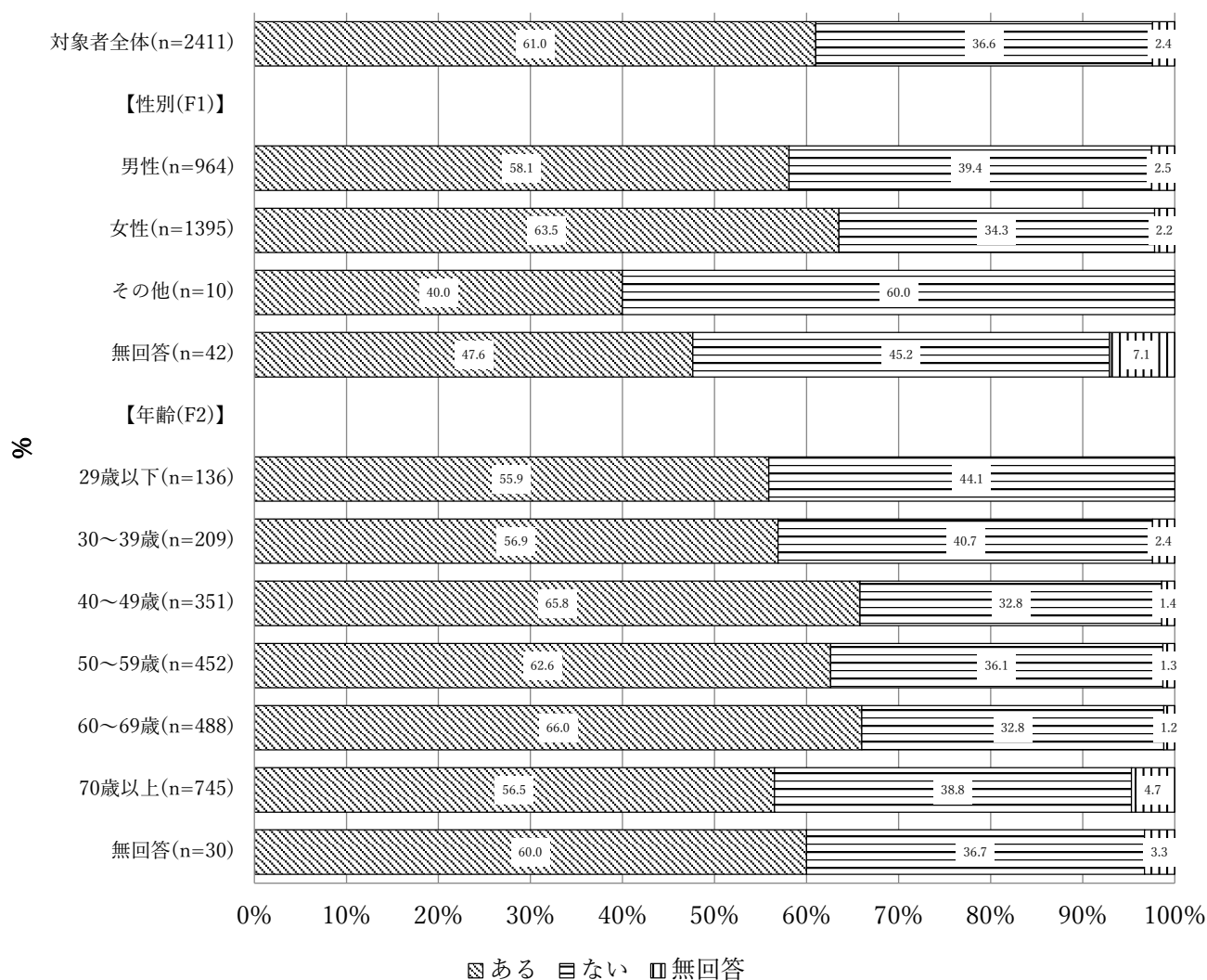
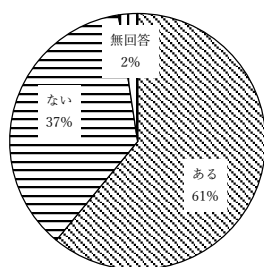
Theme 4. 「札幌芸術の森」の魅力向上に向けた今後の施設の在り方について

札幌市では、「札幌芸術の森」の一層の魅力向上に向け、今後の施設の在り方の検討を行っている。そこで、今後の魅力向上に向けた取り組みに期するため、市民の皆さまの「札幌芸術の森」に関する意識又はご意見などを調査した。

4-1 「札幌芸術の森」への訪問の有無

【問 33】 あなたは、これまでに「札幌芸術の森」を訪れたことがありますか

●「ある」が 61.0% で最多。



【全体】多くの性別・年代で「ある」が最も高い。

【性別】「ある」は女性 63.5% で、男性 58.1% を 5.4 ポイント上回る。

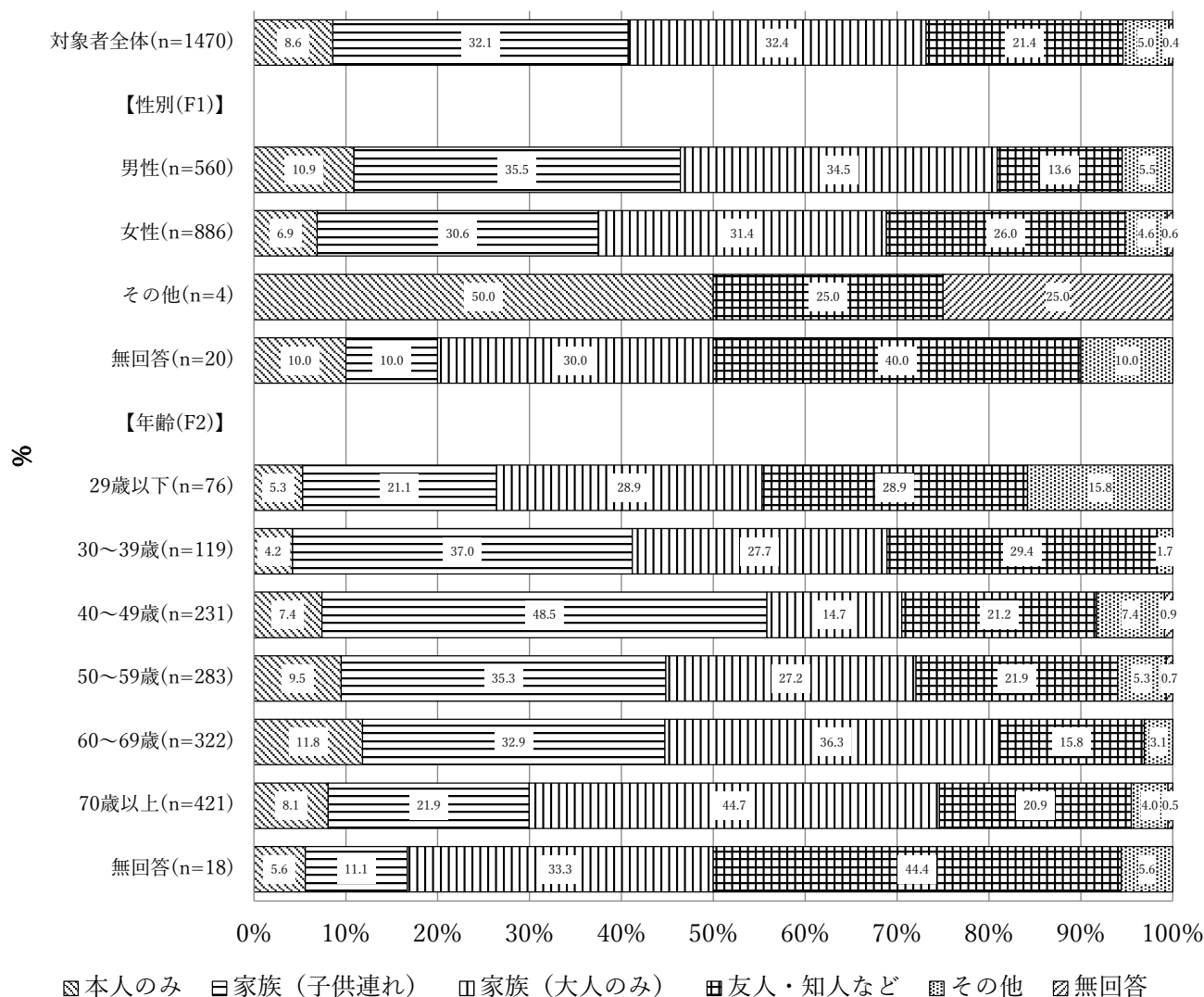
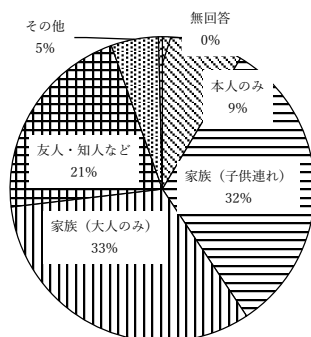
【年代】「ない」は 29 歳以下 44.1%、40 歳代 32.8% で差が大きい。

4-2 「札幌芸術の森」への同行者について

(問 33 で「1 (訪れたことが) ある」と答えた方のみ)

【問 33-1】あなたは、「札幌芸術の森」へ誰と来ることが多いですか。最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「家族 (大人のみの)」が 32.4% で最多。



【全体】「家族 (大人のみの)」32.4%と「家族 (子供連れ)」32.1%がほぼ同水準。

【性別】「友人・知人など」は女性 26.0%で、男性 13.6%を 12.4 ポイント上回る。

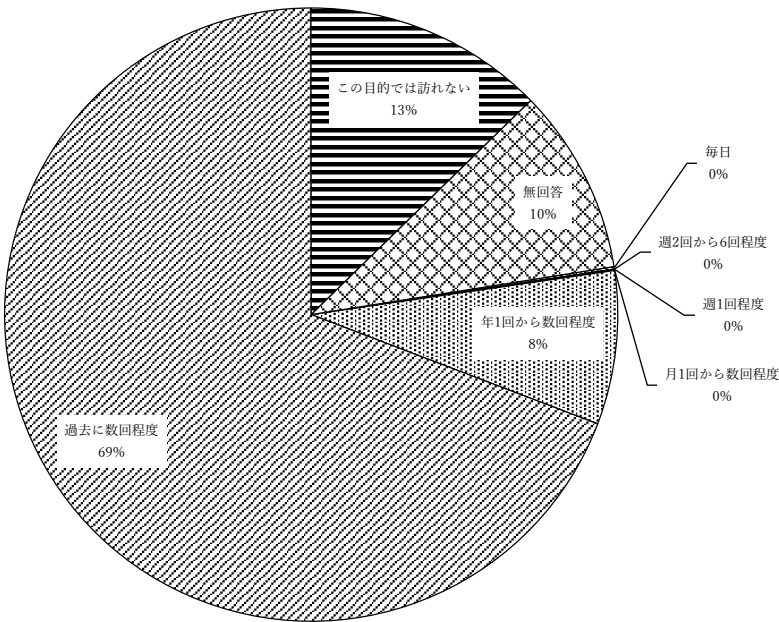
【年代】「家族 (大人のみの)」は 70 歳以上 44.7%、40 歳代 14.7%で差が大きい。

4-3 「札幌芸術の森」の訪問の目的と頻度

(問 33 で「1 (訪れたことが) ある」と答えた方のみ)

【問 33-2】あなたが「札幌芸術の森」を訪れた目的とその頻度についてお聞きます。次のア～オのそれぞれの項目について、あてはまる数字に1つずつ○をつけてください。

- (ア) 美術館、公演等の鑑賞
- 「過去に数回程度」が 69.2% で最多。

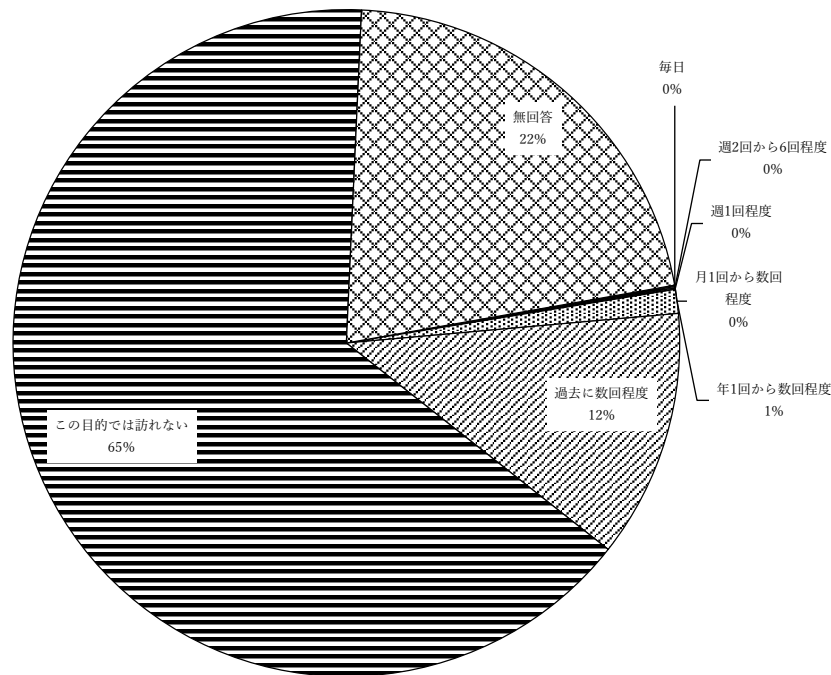


F項目	(実数/比率)	n	1. 毎日	2. 週2回から6回程度	3. 週1回程度	4. 月1回から数回程度	5. 年1回から数回程度	6. 過去に数回程度	7. この目的では訪れない	無回答
全体		1470	2	0	0	1	119	1017	187	144
			0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	8.1%	69.2%	12.7%	9.8%
性別(F1)	男性	560	1	0	0	1	50	376	87	45
			0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	8.9%	67.1%	15.5%	8.0%
	女性	886	1	0	0	0	67	626	98	94
			0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	70.7%	11.1%	10.6%
	その他	4	0	0	0	0	1	1	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%
無回答		20	0	0	0	0	1	14	2	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	70.0%	10.0%	15.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	0	0	0	0	9	48	17	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	63.2%	22.4%	2.6%
	30～39歳	119	0	0	0	0	7	93	9	10
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	78.2%	7.6%	8.4%
	40～49歳	231	1	0	0	0	20	156	42	12
			0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	67.5%	18.2%	5.2%
	50～59歳	283	0	0	0	0	20	202	38	23
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	71.4%	13.4%	8.1%
	60～69歳	322	0	0	0	1	29	232	36	24
			0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	9.0%	72.0%	11.2%	7.5%
70歳以上		421	1	0	0	0	32	273	45	70
			0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	64.8%	10.7%	16.6%
	無回答	18	0	0	0	0	2	13	0	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	72.2%	0.0%	16.7%

- 【全体】性別・年代別とも「過去に数回程度」が最も高い。
- 【性別】男女差は小さく、最大でも「この目的では訪れない」の 4.4 ポイント。
- 【年代】「過去に数回程度」は 30 歳代 78.2%、29 歳以下 63.2% で差が大きい。

(イ) 「趣味」としての作品制作、発表の場

●「この目的では訪れない」が 65.1%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 毎日	2. 週2回から6回程度	3. 週1回程度	4. 月1回から数回程度	5. 年1回から数回程度	6. 過去に数回程度	7. この目的では訪れない	無回答
全体		1470	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	17 1.2%	177 12.0%	957 65.1%	316 21.5%
性別(F1)	男性	560	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 1.2%	60 10.7%	391 69.8%	101 18.0%
	女性	886	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	10 1.1%	114 12.9%	555 62.6%	205 23.1%
	その他	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
	無回答	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	9 45.0%	8 40.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	9 11.8%	60 78.9%	5 6.6%
	30～39歳	119	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 10.9%	92 77.3%	14 11.8%
	40～49歳	231	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 2.6%	25 10.8%	173 74.9%	26 11.3%
	50～59歳	283	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.1%	43 15.2%	202 71.4%	35 12.4%
	60～69歳	322	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	48 14.9%	208 64.6%	63 19.6%
	70歳以上	421	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	0 0.0%	3 0.7%	37 8.8%	214 50.8%	165 39.2%
	無回答	18	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	8 44.4%	8 44.4%

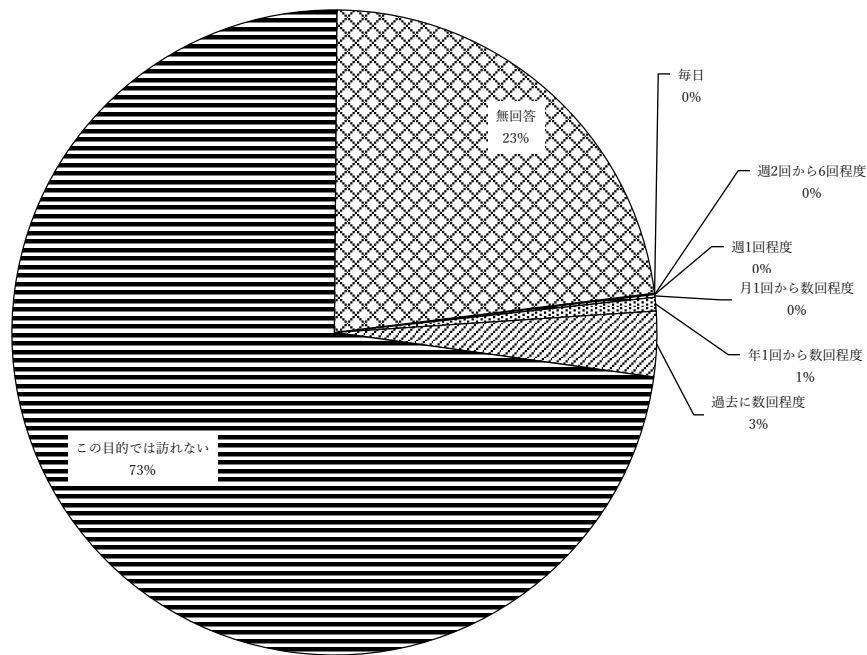
【全体】性別・年代別とも「この目的では訪れない」が最も高い。

【性別】「この目的では訪れない」は男性 69.8%で、女性 62.6%を 7.2 ポイント上回る。

【年代】「この目的では訪れない」は 29 歳以下 78.9%、70 歳以上 50.8%で差が大きい。

(ウ) 「仕事」としての作品制作、発表の場

●「この目的では訪れない」が 72.9%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 毎日	2. 週2回 から6回 程度	3. 週1回 程度	4. 月1回 から数回 程度	5. 年1回 から数回 程度	6. 過去に 数回程度	7. この目 的では訪 れない	無回答
全体		1470	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	10 0.7%	48 3.3%	1072 72.9%	337 22.9%
性別(F1)	男性	560	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	5 0.9%	26 4.6%	423 75.5%	104 18.6%
	女性	886	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	5 0.6%	21 2.4%	637 71.9%	222 25.1%
	その他	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
	無回答	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 50.0%	9 45.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.9%	68 89.5%	5 6.6%
	30～39歳	119	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.5%	100 84.0%	16 13.4%
	40～49歳	231	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	4 1.7%	7 3.0%	193 83.5%	25 10.8%
	50～59歳	283	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.1%	14 4.9%	225 79.5%	41 14.5%
	60～69歳	322	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	8 2.5%	246 76.4%	67 20.8%
	70歳以上	421	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	2 0.5%	10 2.4%	233 55.3%	175 41.6%
	無回答	18	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	7 38.9%	8 44.4%

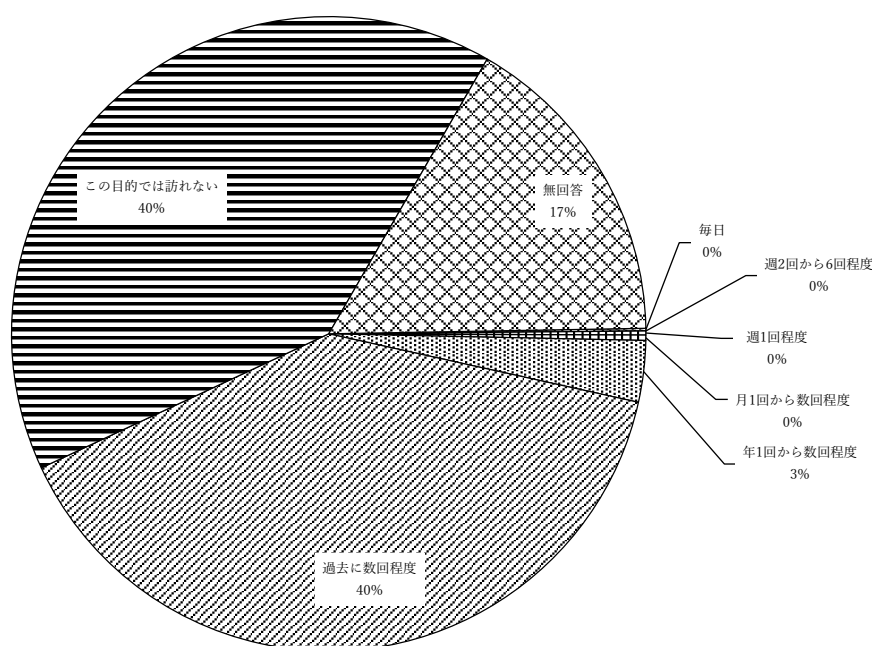
【全体】 性別・年代別とも「この目的では訪れない」が最も高い。

【性別】 男女差は小さく、最大でも「この目的では訪れない」の 3.6 ポイント。

【年代】 「この目的では訪れない」は 29 歳以下 89.5%、70 歳以上 55.3%で差が大きい。

(エ) 散策など公園としての利用

●「この目的では訪れない」が40.3%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 毎日	2. 週2回 から6回 程度	3. 週1回 程度	4. 月1回 から数回 程度	5. 年1回 から数回 程度	6. 過去に 数回程度	7. この目 的では訪 れない	無回答
全体		1470	2 0.1%	0 0.0%	3 0.2%	4 0.3%	46 3.1%	582 39.6%	592 40.3%	241 16.4%
性別(F1)	男性	560	1 0.2%	0 0.0%	2 0.4%	3 0.5%	23 4.1%	227 40.5%	224 40.0%	80 14.3%
	女性	886	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%	23 2.6%	345 38.9%	361 40.7%	154 17.4%
	その他	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%
	無回答	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 45.0%	6 30.0%	5 25.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	20 26.3%	48 63.2%	3 3.9%
	30～39歳	119	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.7%	35 29.4%	69 58.0%	13 10.9%
	40～49歳	231	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 3.9%	90 39.0%	114 49.4%	17 7.4%
	50～59歳	283	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	10 3.5%	117 41.3%	119 42.0%	35 12.4%
	60～69歳	322	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	8 2.5%	138 42.9%	123 38.2%	52 16.1%
	70歳以上	421	1 0.2%	0 0.0%	3 0.7%	0 0.0%	13 3.1%	175 41.6%	113 26.8%	116 27.6%
	無回答	18	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 38.9%	6 33.3%	5 27.8%

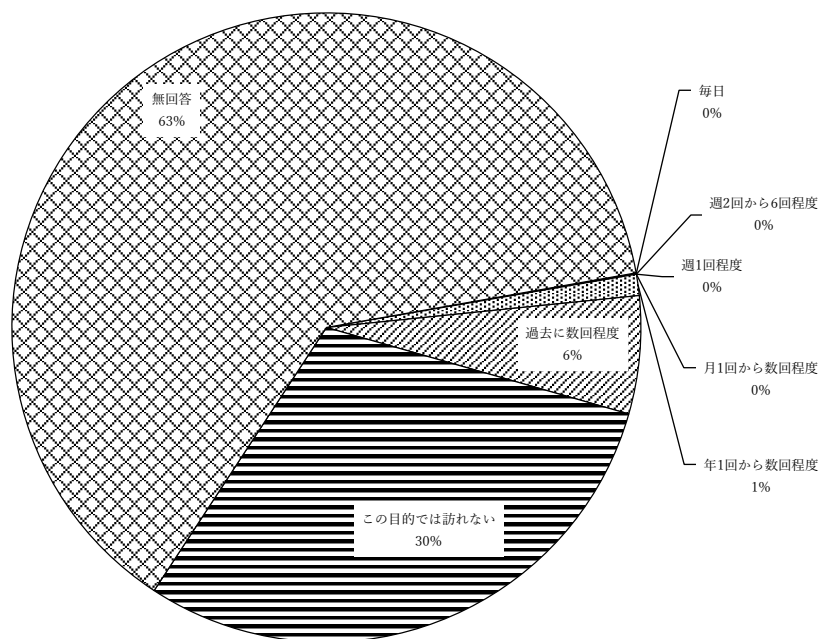
【全体】「この目的では訪れない」40.3%と「過去に数回程度」39.6%がほぼ同水準。

【性別】男女差は小さく、最大でも「過去に数回程度」の1.6ポイント。

【年代】「この目的では訪れない」は29歳以下63.2%、70歳以上26.8%で差が大きい。

(オ) その他

●「この目的では訪れない」が 29.8%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 毎日	2. 週2回 から6回 程度	3. 週1回 程度	4. 月1回 から数回 程度	5. 年1回 から数回 程度	6. 過去に 数回程度	7. この目 的では訪 れない	無回答
全体		1470	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 1.1%	89 6.1%	438 29.8%	926 63.0%
性別(F1)	男性	560	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.9%	33 5.9%	194 34.6%	327 58.4%
	女性	886	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 1.2%	53 6.0%	236 26.6%	586 66.1%
	その他	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%
	無回答	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	7 35.0%	11 55.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 10.5%	35 46.1%	33 43.4%
	30～39歳	119	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.7%	6 5.0%	56 47.1%	55 46.2%
	40～49歳	231	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.2%	26 11.3%	88 38.1%	111 48.1%
	50～59歳	283	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.4%	28 9.9%	90 31.8%	161 56.9%
	60～69歳	322	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	8 2.5%	94 29.2%	218 67.7%
	70歳以上	421	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.7%	12 2.9%	70 16.6%	336 79.8%
	無回答	18	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	5 27.8%	12 66.7%

【全体】性別・年代別とも「この目的では訪れない」が最も高い。

【性別】「この目的では訪れない」は男性 34.6%で、女性 26.6%を 8.0 ポイント上回る。

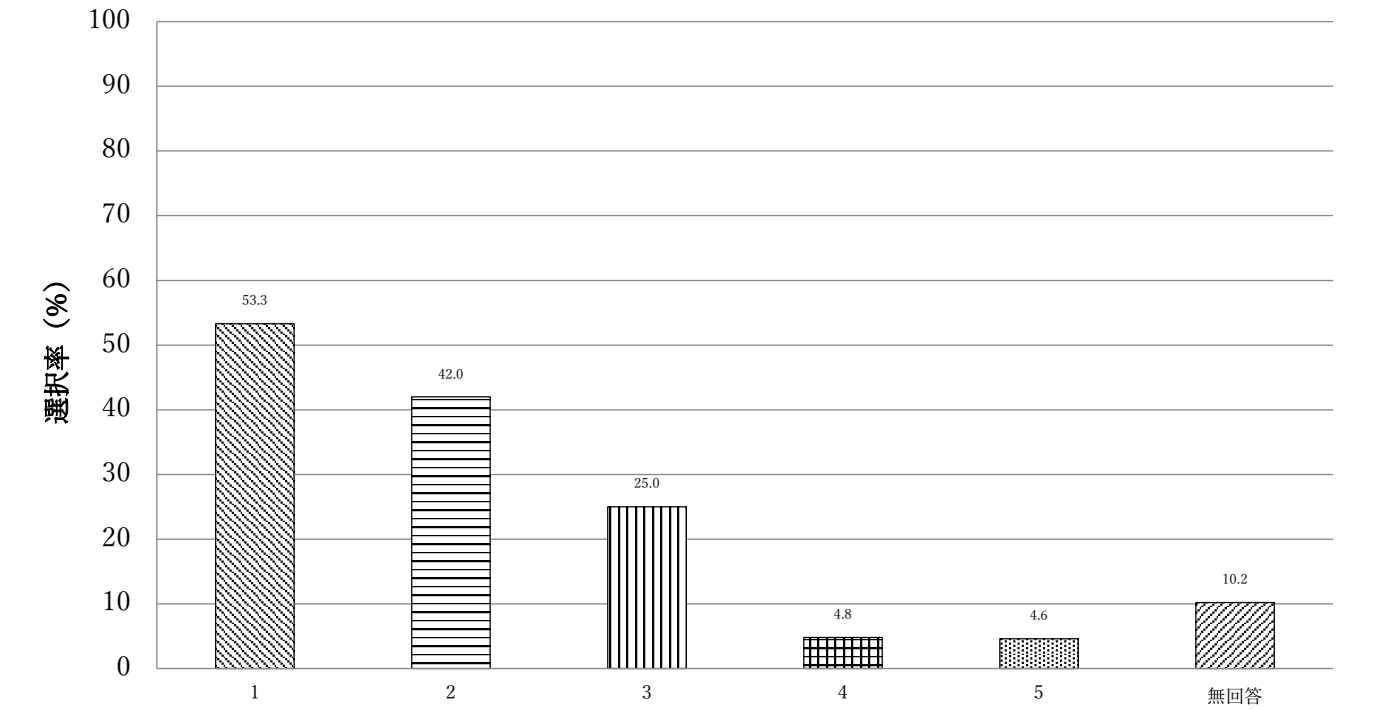
【年代】「この目的では訪れない」は 30 歳代 47.1%、70 歳以上 16.6%で差が大きい。

4-4 「札幌芸術の森」の訪問で感じたこと

(問 33 で「1 (訪れたことが) ある」と答えた方のみ)

【問 33-3】あなたは、「札幌芸術の森」を訪れたことで、どのように感じましたか。次のア～イのそれぞれの項目について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。ア～イ以外で感じたことがあれば、ウにご記載ください。

- (ア) 芸術鑑賞や創作活動を通じて感じたこと
- 「文化芸術への知的好奇心や教養の向上」が 53.3%で最多。

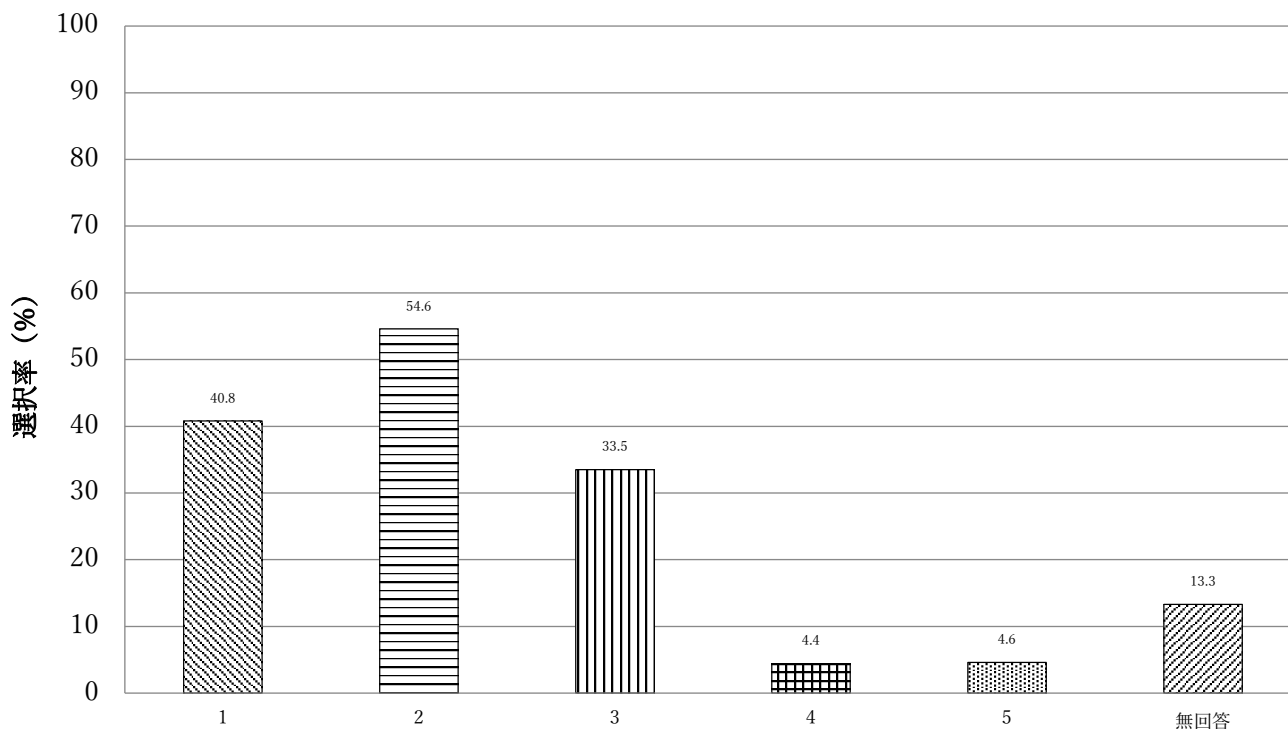


F項目		(実数/比率)	n	1. 文化芸術への知的 好奇心や教養の 向上	2. 心身のリラック スやストレス軽減	3. 自身の感性、想 像力の育成	4. 自身の創作活動 への刺激	5. その他	無回答
全体			1470	784 53.3%	617 42.0%	367 25.0%	70 4.8%	68 4.6%	150 10.2%
性別(F1)	男性		560	290 51.8%	228 40.7%	139 24.8%	29 5.2%	35 6.2%	57 10.2%
	女性		886	482 54.4%	378 42.7%	222 25.1%	40 4.5%	31 3.5%	91 10.3%
	その他		4	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%
	無回答		20	11 55.0%	11 55.0%	5 25.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%
年齢(F2)	29歳以下		76	35 46.1%	31 40.8%	31 40.8%	7 9.2%	2 2.6%	5 6.6%
	30～39歳		119	69 58.0%	40 33.6%	37 31.1%	10 8.4%	2 1.7%	10 8.4%
	40～49歳		231	115 49.8%	81 35.1%	85 36.8%	23 10.0%	16 6.9%	23 10.0%
	50～59歳		283	161 56.9%	130 45.9%	62 21.9%	10 3.5%	12 4.2%	23 8.1%
	60～69歳		322	178 55.3%	146 45.3%	68 21.1%	10 3.1%	15 4.7%	26 8.1%
	70歳以上		421	215 51.1%	178 42.3%	78 18.5%	10 2.4%	20 4.8%	62 14.7%
	無回答		18	11 61.1%	11 61.1%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%

- 【全体】性別・年代別とも「文化芸術への知的好奇心や教養の向上」が最も高い。
- 【性別】男女差は小さく、最大でも「その他」の 2.7 ポイント。
- 【年代】「自身の感性、想像力の育成」は 29 歳以下 40.8%、70 歳以上 18.5%で差が大きい。

(イ) 公園の散策を通じて感じたこと

●「心身のリラックスやストレス軽減」が54.6%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 森林浴や、遊歩道を歩くことによる健康増進	2. 心身のリラックスやストレス軽減	3. 四季の移ろいを感じたり、生息する動植物の観察を通じた感性の刺激	4. 他者とのコミュニケーション	5. その他	無回答
全体		1470	600	803	492	64	67	196
			40.8%	54.6%	33.5%	4.4%	4.6%	13.3%
性別(F1)	男性	560	242	289	188	25	33	71
			43.2%	51.6%	33.6%	4.5%	5.9%	12.7%
	女性	886	347	502	296	37	32	121
			39.2%	56.7%	33.4%	4.2%	3.6%	13.7%
	その他	4	1	1	0	1	1	2
			25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
	無回答	20	10	11	8	1	1	2
			50.0%	55.0%	40.0%	5.0%	5.0%	10.0%
年齢(F2)	29歳以下	76	30	47	31	7	2	7
			39.5%	61.8%	40.8%	9.2%	2.6%	9.2%
	30～39歳	119	51	68	37	7	1	20
			42.9%	57.1%	31.1%	5.9%	0.8%	16.8%
	40～49歳	231	103	126	75	16	15	27
			44.6%	54.5%	32.5%	6.9%	6.5%	11.7%
	50～59歳	283	104	169	98	7	15	37
			36.7%	59.7%	34.6%	2.5%	5.3%	13.1%
	60～69歳	322	125	190	96	5	20	38
			38.8%	59.0%	29.8%	1.6%	6.2%	11.8%
	70歳以上	421	179	193	147	20	12	65
			42.5%	45.8%	34.9%	4.8%	2.9%	15.4%
	無回答	18	8	10	8	2	2	2
			44.4%	55.6%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%

【全体】性別・年代別とも「心身のリラックスやストレス軽減」が最も高い。

【性別】「心身のリラックスやストレス軽減」は女性 56.7%で、男性 51.6%を 5.1 ポイント上回る。

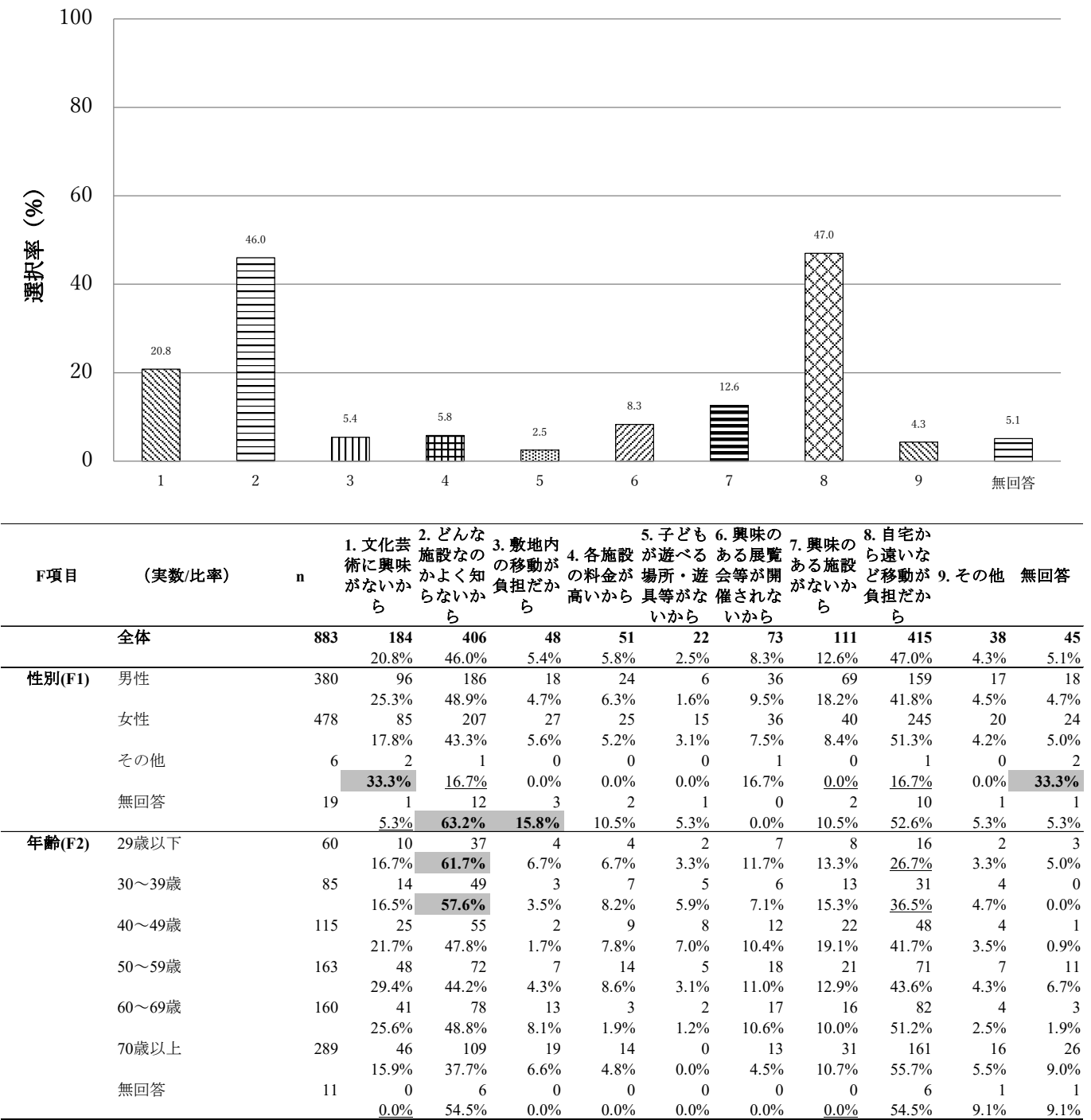
【年代】「心身のリラックスやストレス軽減」は 29 歳以下 61.8%、70 歳以上 45.8%で差が大きい。

4-5 「札幌芸術の森」を訪れたことがない理由

(問 33 で「2 (訪れたことが) ない」と答えた方のみ)

【問 34】あなたが「札幌芸術の森」を訪れたことがない理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「自宅から遠いなど移動が負担だから」が 47.0%で最多。



【全体】「自宅から遠いなど移動が負担だから」47.0%と「どんな施設なのかよく知らないから」46.0%がほぼ同水準。

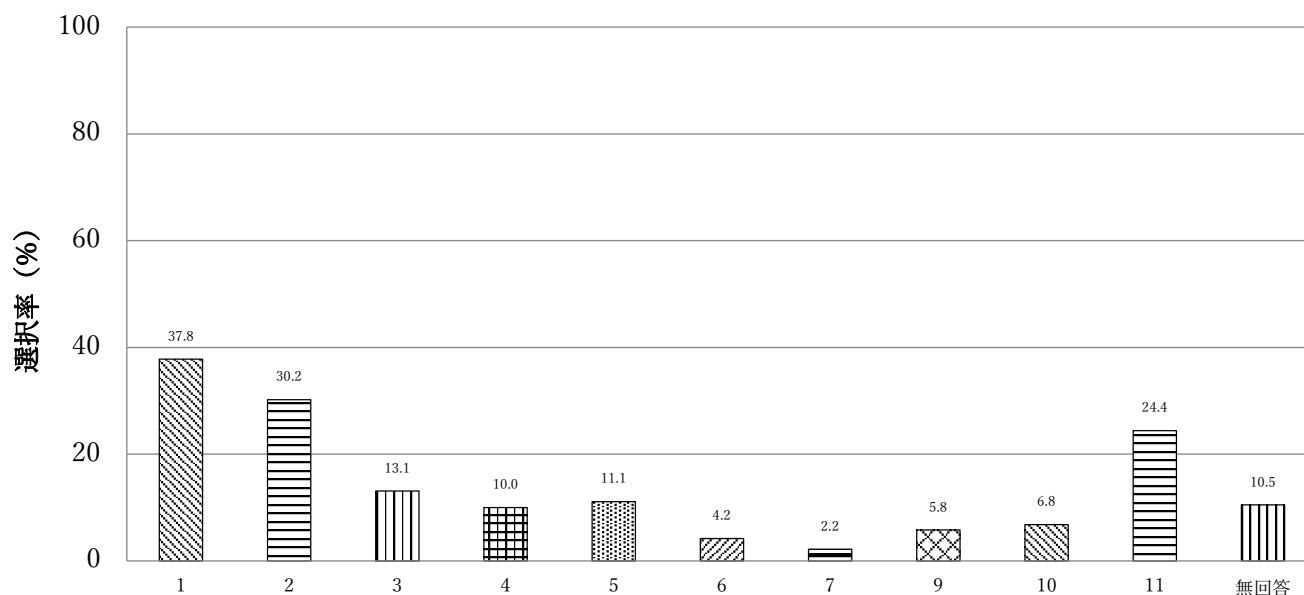
【性別】「興味のある施設がないから」は男性 18.2%で、女性 8.4%を 9.8 ポイント上回る。

【年代】「自宅から遠いなど移動が負担だから」は 70 歳以上 55.7%、29 歳以下 26.7%で差が大きい。

4-6 「札幌芸術の森」の魅力向上に寄与すると思う取り組み

【問 35】あなたは、「札幌芸術の森」がどのような取組を行うと魅力が向上すると思いますか。あてはまるものについてでも○をつけて、詳細をご自由にお書きください。

●「広報活動（施設紹介やイベント情報の発信など）」が37.8%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 広報活動 (施設紹介やイベント情報の発信など)	2. 屋内美術館等の展示会の充実	3. 料金の見直し	4. 新施設の増設	5. 初心者向けの制作体験会の充実	6. 創作活動を行う場の機材の充実	7. 開園閉園時間・貸室の利用時間の見直し	9. 作品発表の場（機会）の充実	10. その他	11. 特にない（今のままでよい）	無回答
全体		2411	911	728	315	240	267	101	54	139	165	588	252
性別(F1)	男性	964	37.8%	30.2%	13.1%	10.0%	11.1%	4.2%	2.2%	5.8%	6.8%	24.4%	10.5%
			360	289	140	112	85	43	25	63	74	256	91
	女性	1395	37.3%	30.0%	14.5%	11.6%	8.8%	4.5%	2.6%	6.5%	7.7%	26.6%	9.4%
			534	429	166	125	178	56	28	74	88	320	150
	その他	10	38.3%	30.8%	11.9%	9.0%	12.8%	4.0%	2.0%	5.3%	6.3%	22.9%	10.8%
年齢(F2)	29歳以下	136	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	10.0%
			16	9	7	1	4	2	1	2	3	6	10
	30～39歳	209	38.1%	21.4%	16.7%	2.4%	9.5%	4.8%	2.4%	4.8%	7.1%	14.3%	23.8%
			55	39	17	22	18	11	4	8	6	26	8
	40～49歳	351	40.4%	28.7%	12.5%	16.2%	13.2%	8.1%	2.9%	5.9%	4.4%	19.1%	5.9%
年齢(F2)	50～59歳	452	40.2%	36.4%	14.8%	19.1%	13.4%	6.2%	2.4%	3.3%	7.7%	19.1%	4.3%
			142	102	58	59	56	16	12	27	32	72	12
	60～69歳	488	40.5%	29.1%	16.5%	16.8%	16.0%	4.6%	3.4%	7.7%	9.1%	20.5%	3.4%
			163	151	74	44	61	20	14	36	35	124	25
	70歳以上	745	36.1%	33.4%	16.4%	9.7%	13.5%	4.4%	3.1%	8.0%	7.7%	27.4%	5.5%
性別(F1)	無回答	30	40.2%	34.2%	12.7%	7.6%	10.0%	3.9%	2.0%	4.7%	7.2%	23.0%	8.0%
			259	184	69	37	52	19	8	36	38	208	156
	無回答	30	34.8%	24.7%	9.3%	5.0%	7.0%	2.6%	1.1%	4.8%	5.1%	27.9%	20.9%
			12	9	4	1	3	3	1	2	3	6	3
	無回答	30	40.0%	30.0%	13.3%	3.3%	10.0%	10.0%	3.3%	6.7%	10.0%	20.0%	10.0%

【全体】多くの性別・年代で「広報活動（施設紹介やイベント情報の発信など）」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「初心者向けの制作体験会の充実」の4.0ポイント。

【年代】「新施設の増設」は30歳代19.1%、70歳以上5.0%で差が大きい。

4-7 「札幌芸術の森」についての自由意見

【問 36】「札幌芸術の森」全体として、今後どうしていくと良いか、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。(例: 広大な敷地を活用して〇〇を作る、〇〇施設は〇〇を実施するとよいなど)

主だった回答の一部を記載 (原文ママ)

- どのような施設なのか不明なので内容の案内があれば良い
- 身体を使った体験が出来るものがあると良い
- 芸術の森で行われるイベントの情報が少なく何が行われるのかわからないので改善して欲しい
- イベントやコンサートなどを増やしたらと、思います。
- 特に興味のある展示等があっても自家用車がなく友人に頼るしかなく、又、公共交通網も今いち整備されておらず、地下鉄→バスを乗り継いで行くことを考えると、諦めてしまうことが多くあります。
- 特別展示の時だけでも、真駒内駅前から、送迎バスを出して下さると有難いと思います。送迎バスは有料でもいいかと思います。
- 札幌市内から遠いイメージが強く、まずはアクセスについて考えたらいいのかなと思います。
- 地下鉄から現地までのバスの本数が増えると、便利だと思う。
- 歌手などアーティストのライブ会場として使用し、作品とのコラボや、芸森の魅力を発揮できる演出をする。
- 誰の作品があるのかが分からない。行って何が见れるのかが分からない。森と芸術が融合することによる差別化が欲しい。森であるなら、ここでしか見れない自然の絶景を芸術として提供するだけでも観光資源として注目を浴びるでしょう。
- 野外、屋内それぞれに観覧料がかかりますがそれに加えて駐車料がかかるので、なかなか行くことができません。バスなどを利用して、交通費が高額になってしまうので札幌市内のバスや地下鉄などと提携して最寄りの駅やバス停から1000円ぐらいの定額で、入館(入場)パスができると良いと思いました。途中下車をせず芸術の森から自宅の最寄りのバスや地下鉄などの駅までの往復チケットを携帯の電子チケットなどで作ってもらえるとありがたいです。
- 毎年恒例となるようなイベント開催
- 施設内や屋外を散策したあと、手ぶらでも気軽に創作活動ができると良いです。オープンペースなどに、イスなどがあって見晴らしのよい所でコーヒーなど飲みたいです。
- 除雪、排雪した雪を集めて創作活動に利用できるようにする。そり滑れるように山を作るとか。柔軟に土地を活用して楽しくて自然に触れられて「なんでもできる」という実感や体験が子供、大人でも出来たら凄いいし活用する。雪が降りすぎてうっとうしく感じさせないような感動できる場所があると芸術の森へ行く。
- 花畑作って写真映する場所を作る 2. レストラン、カフェを増やす 3. 冬はイルミネーションで写真映する所を作る
- 夏場、アイスクリーム等を売る施設があれば良いと思う。
- 花火大会
- 企業主体のイベントを増やし、収入を増やすことで施設の改装費用等を確保する
- 野外フェス
- 先日札幌芸術の森に行きましたが、多くの施設が閉まっていて、駐車料金もかかりました。さらに坂道が多く、ベビーカーでの移動が大変だったため、小さい子ども連れの家族にはあまり親切ではないと感じました。

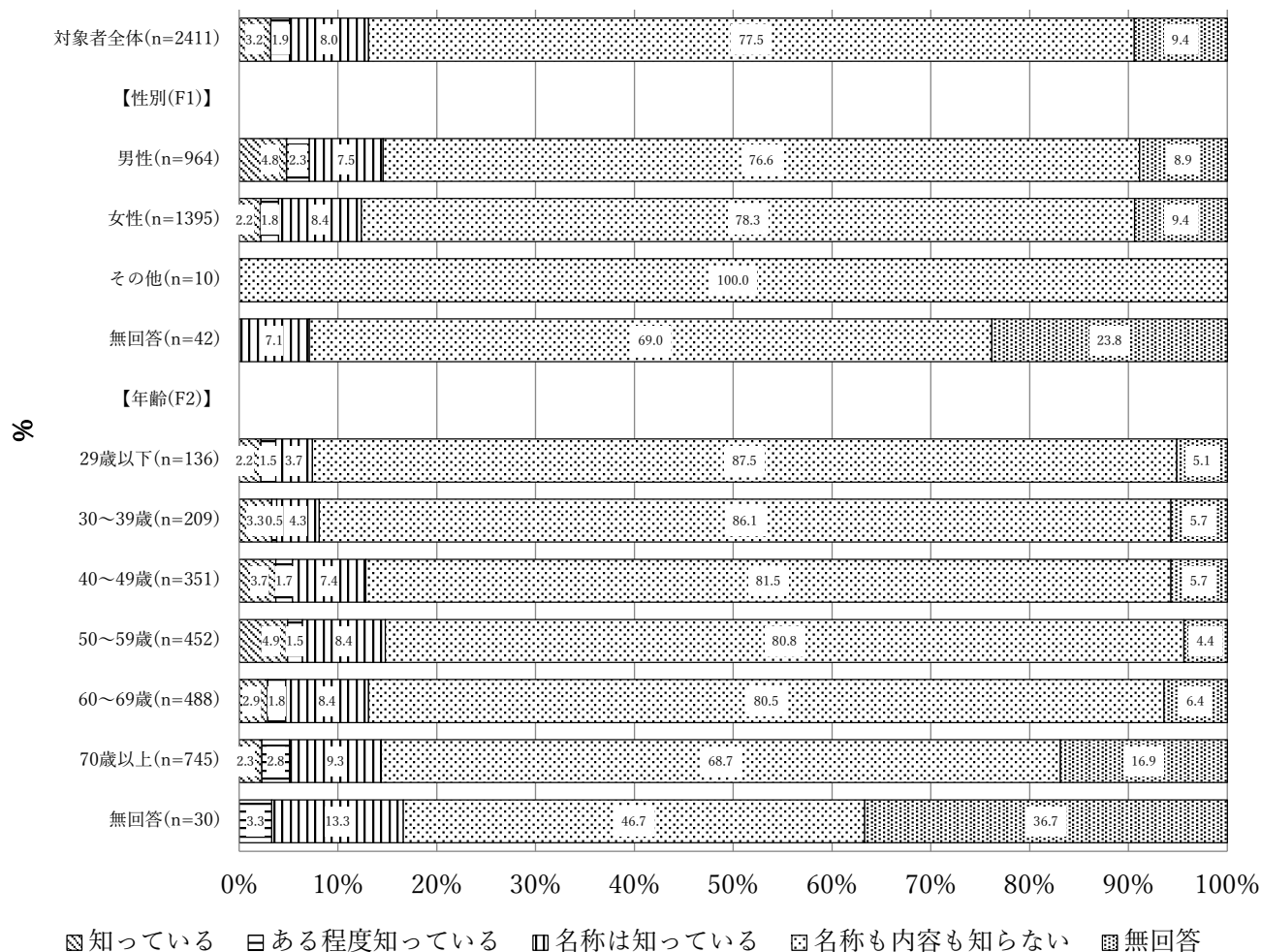
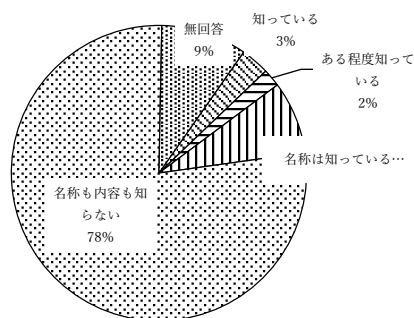
Theme 5. さぼーとほっと基金について

札幌市のさぼーとほっと基金は、皆さまからの寄付を募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支援しています。

5-1 さぼーとほっと基金についての認知状況

【問37】あなたは、さぼーとほっと基金を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「名称も内容も知らない」が77.5%で最多。



【全体】性別・年代別とも「名称も内容も知らない」が最も高い。

【性別】男女差は小さく、最大でも「知っている」の2.6ポイント。

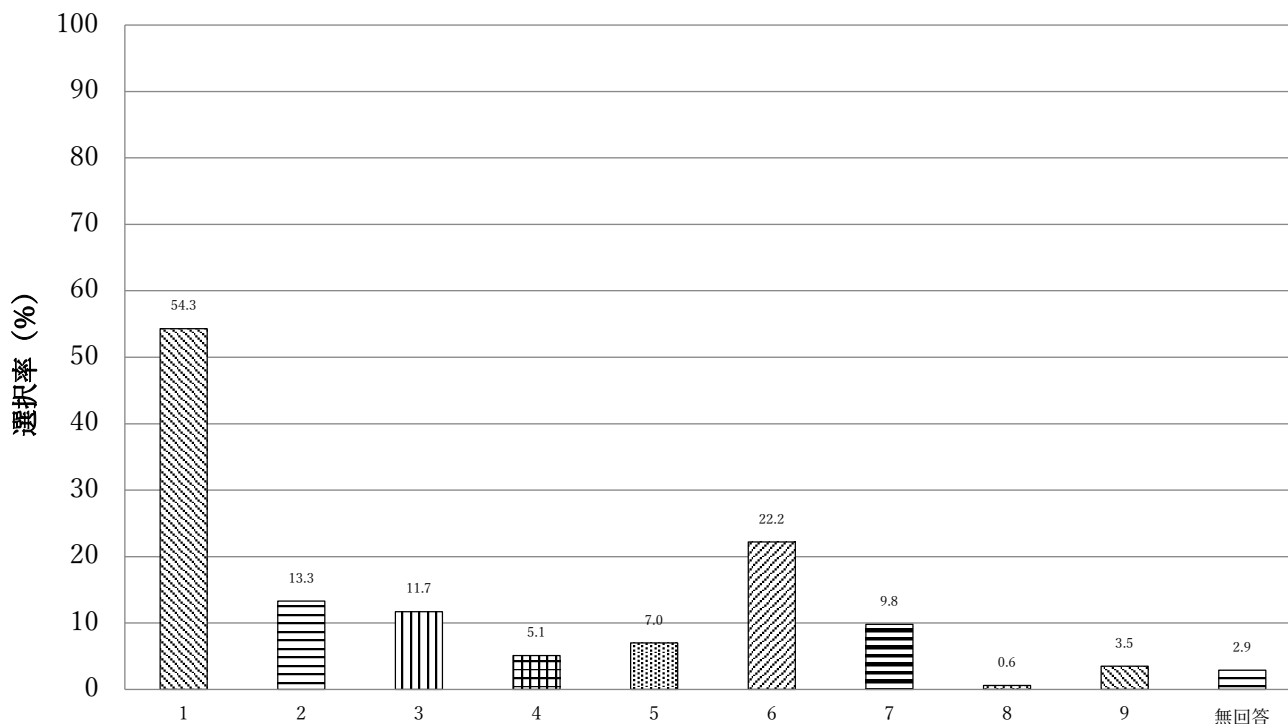
【年代】「名称も内容も知らない」は29歳以下87.5%、70歳以上68.7%で差が大きい。

5-2 さぼーとほっと基金を知ったきっかけ

(問 37 で「1 知っている」「2 ある程度知っている」「3 名称は知っている」と答えた方のみ)

【問 37-1】あなたが、さぼーとほっと基金を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「札幌市の冊子・パンフレット」が 54.3%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 札幌市が発行している冊子やパンフレット	2. 札幌市公式ホームページ	3. さぼーとほっと基金に寄付している企業の活動を通して	4. 市民まちづくり活動を行っている団体から紹介さ	5. イベントや展示など	6. テレビ・ラジオ・新聞	7. 家族や知人からの口コミ	8. 他の窓口などで紹介された	9. その他	無回答
全体		315	171	42	37	16	22	70	31	2	11	9
			54.3%	13.3%	11.7%	5.1%	7.0%	22.2%	9.8%	0.6%	3.5%	2.9%
性別(F1)	男性	140	79	26	22	7	8	27	13	1	7	2
			56.4%	18.6%	15.7%	5.0%	5.7%	19.3%	9.3%	0.7%	5.0%	1.4%
	女性	172	91	16	15	9	14	42	17	1	4	7
			52.9%	9.3%	8.7%	5.2%	8.1%	24.4%	9.9%	0.6%	2.3%	4.1%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
			33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢(F2)	29歳以下	10	3	1	0	0	0	1	4	0	0	1
			30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	30～39歳	17	7	3	2	0	0	1	3	0	3	0
			41.2%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%	17.6%	0.0%
	40～49歳	45	23	12	7	3	6	4	7	1	2	0
			51.1%	26.7%	15.6%	6.7%	13.3%	8.9%	15.6%	2.2%	4.4%	0.0%
	50～59歳	67	37	6	13	1	2	18	2	0	1	2
			55.2%	9.0%	19.4%	1.5%	3.0%	26.9%	3.0%	0.0%	1.5%	3.0%
60～69歳		64	31	9	8	5	3	11	4	1	4	2
			48.4%	14.1%	12.5%	7.8%	4.7%	17.2%	6.2%	1.6%	6.2%	3.1%
	70歳以上	107	68	10	7	7	11	34	10	0	1	3
			63.6%	9.3%	6.5%	6.5%	10.3%	31.8%	9.3%	0.0%	0.9%	2.8%
	無回答	5	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1
			40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%

【全体】多くの性別・年代で「札幌市の冊子・パンフレット」が最も高い。

【性別】「札幌市公式ホームページ」は男性 18.6%で、女性 9.3%を 9.3 ポイント上回る。

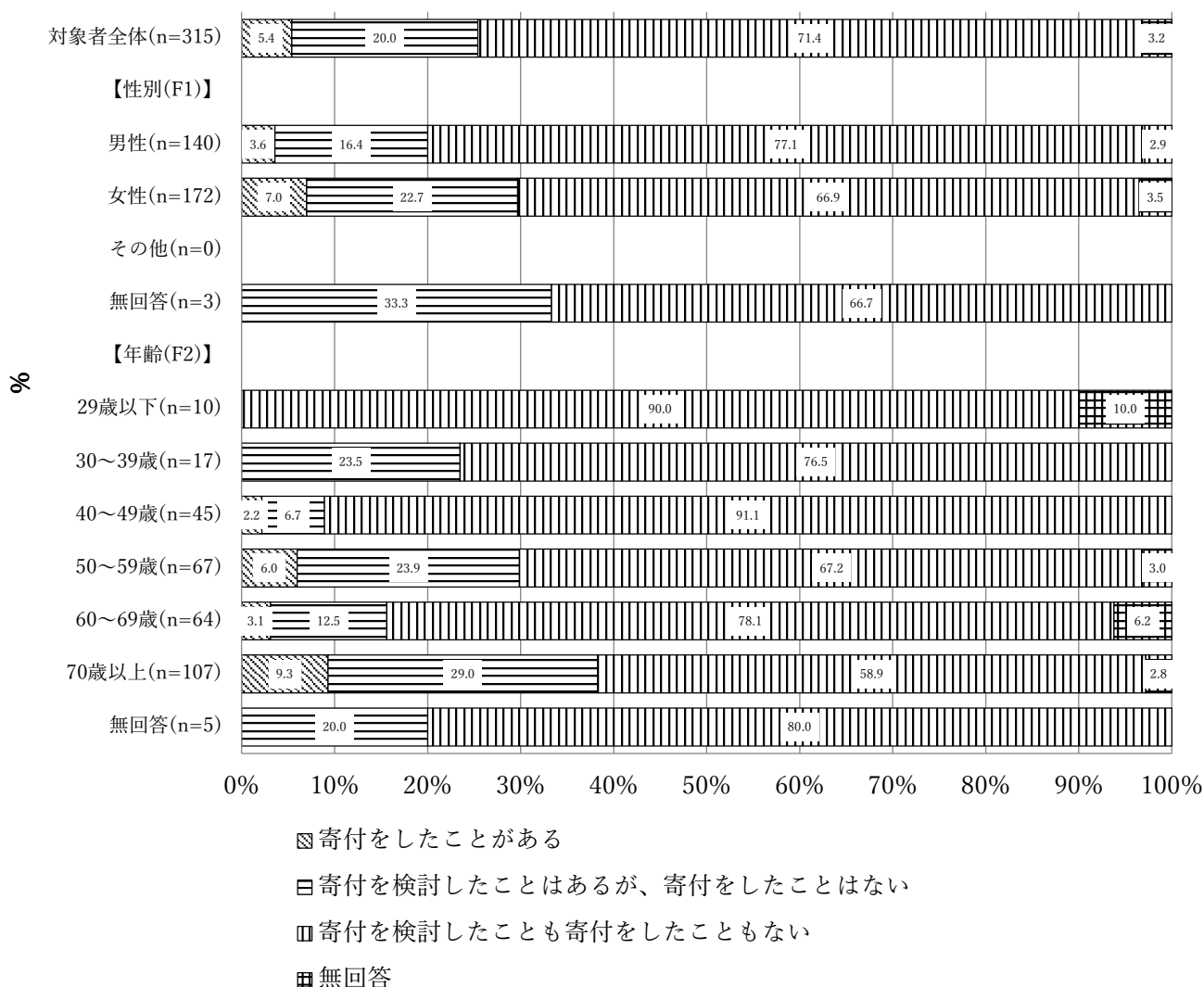
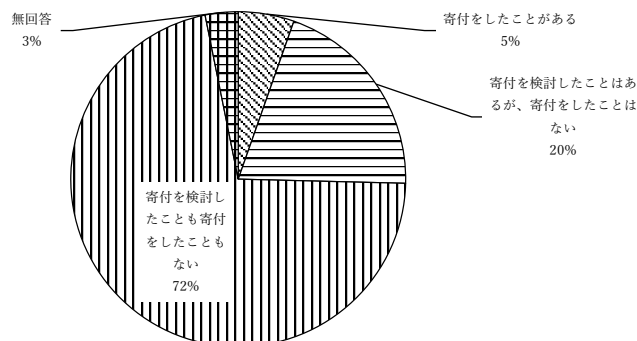
【年代】「家族や知人からの口コミ」は 29 歳以下 40.0%、50 歳代 3.0%で差が大きい。

5-3 さぼーとほっと基金への寄付の有無

(問 37 で「1 知っている」「2 ある程度知っている」「3 名称は知っている」と答えた方のみ)

【問 37-2】あなたは、さぼーとほっと基金に寄付をしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

●「寄付の検討・経験ともにない」が71.4%で最多。



【全体】性別・年代別とも「寄付の検討・経験ともにない」が最も高い。

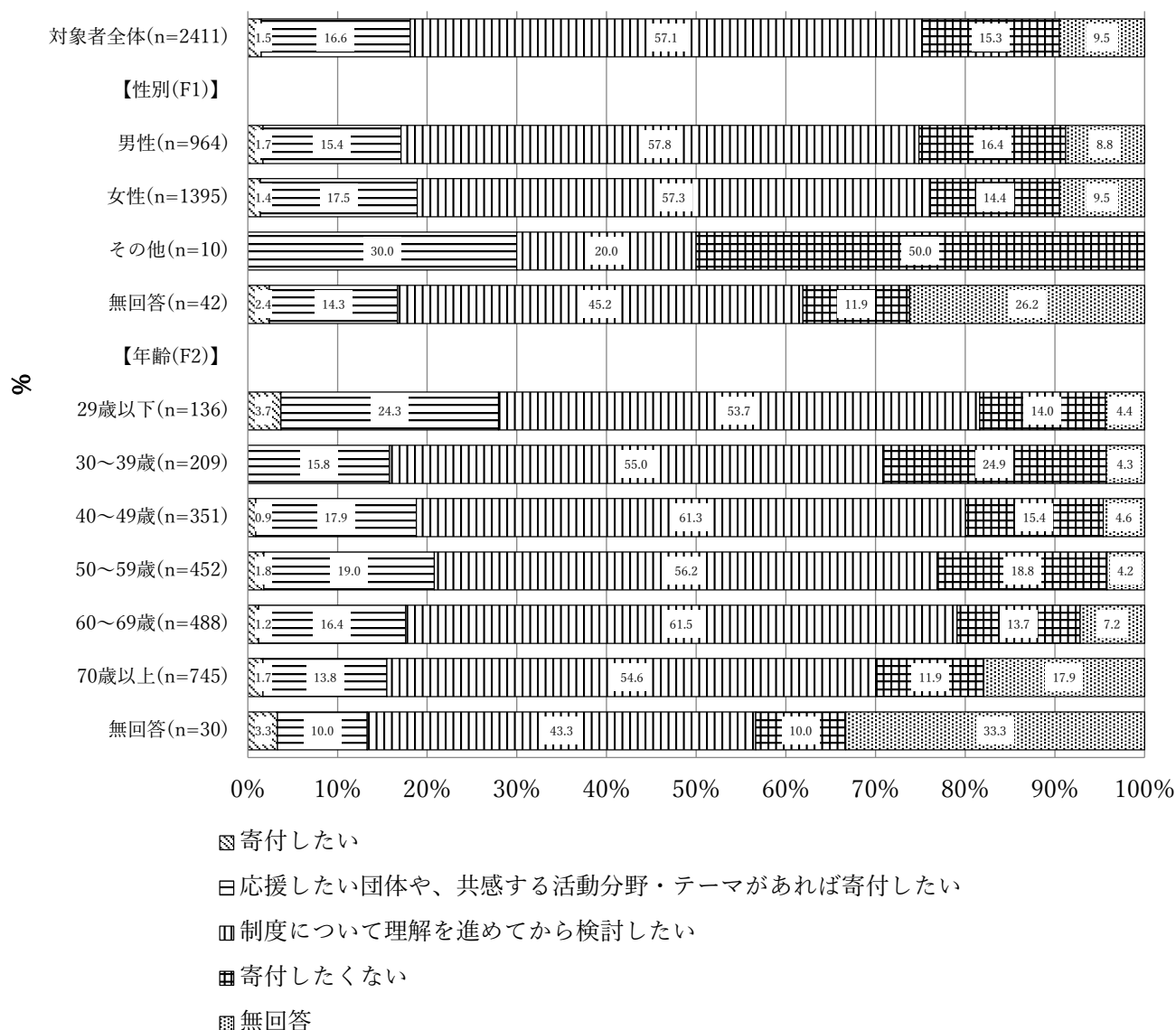
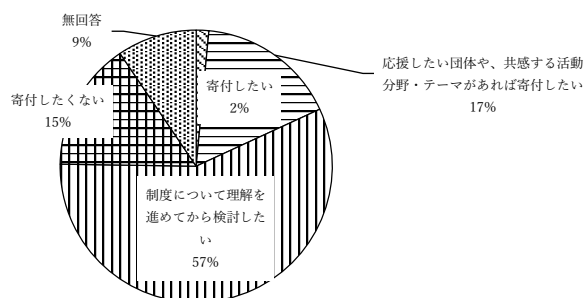
【性別】「寄付の検討・経験ともにない」は男性77.1%で、女性66.9%を10.2ポイント上回る。

【年代】「寄付の検討・経験ともにない」は40歳代91.1%、70歳以上58.9%で差が大きい。

5-4 さぽーとほっと基金への寄付の意思

【問 38】あなたは、今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。また、「4 寄付したくない」を選んだ方はその理由についても併せてご記載ください。

●「制度を理解してから検討したい」が57.1%で最多。



【全体】多くの性別・年代で「制度を理解してから検討したい」が最も高い。

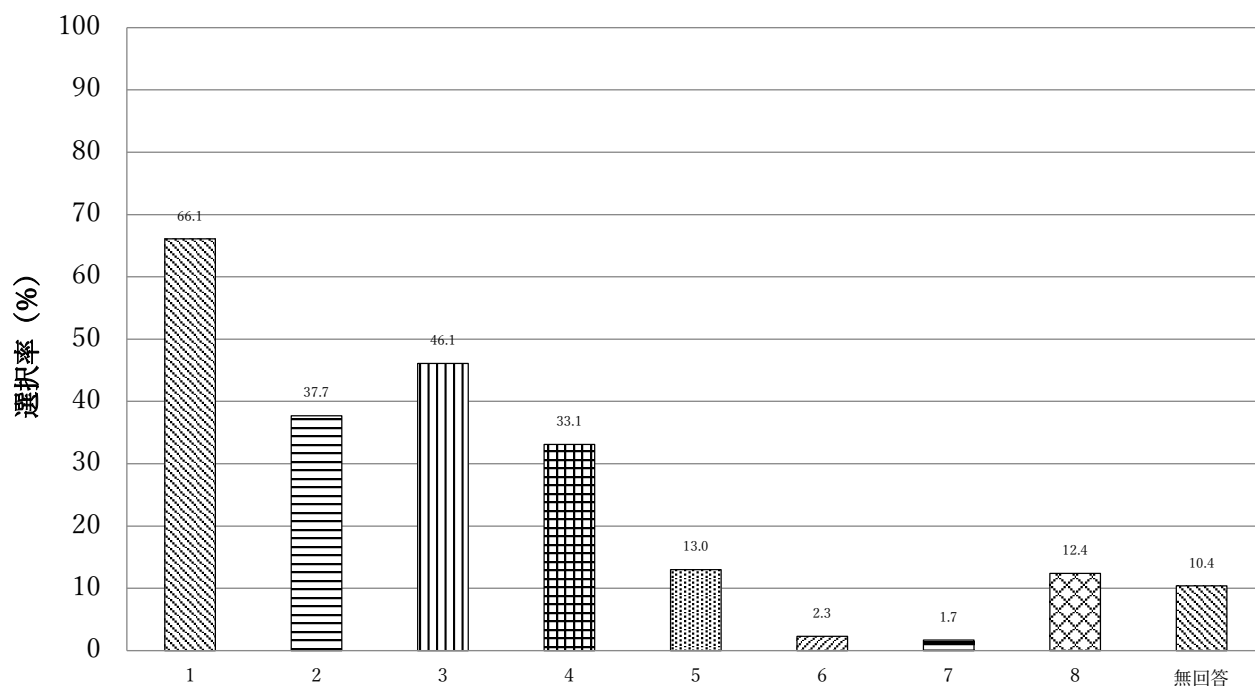
【性別】男女差は小さく、最大でも「共感する団体・活動があれば寄付したい」の2.1ポイント。

【年代】「寄付したくない」は30歳代24.9%、70歳以上11.9%で差が大きい。

5-5 さぽーとほっと基金への寄付の際に重要視する点

【問 39】あなたが、さぽーとほっと基金に寄付をする際に重要だと思うことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「使い道の透明性が担保されている」が66.1%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 使い道の透明性が担保されている	2. 情報発信・報告がしっかりしている	3. 活動内容に共感できる	4. 活動成果が具体的である	5. 身近に活動していて親しみが持てる	6. 寄付することで感謝状などの特典がある	7. その他	8. 特にない	無回答
全体		2411	1594 66.1%	908 37.7%	1112 46.1%	799 33.1%	313 13.0%	56 2.3%	40 1.7%	298 12.4%	251 10.4%
性別(F1)	男性	964	585 60.7%	338 35.1%	413 42.8%	295 30.6%	113 11.7%	23 2.4%	21 2.2%	160 16.6%	95 9.9%
	女性	1395	984 70.5%	556 39.9%	681 48.8%	493 35.3%	193 13.8%	33 2.4%	19 1.4%	130 9.3%	142 10.2%
	その他	10	3 30.0%	2 20.0%	2 20.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%
	無回答	42	22 52.4%	12 28.6%	16 38.1%	7 16.7%	5 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.1%	14 33.3%
年齢(F2)	29歳以下	136	98 72.1%	54 39.7%	63 46.3%	59 43.4%	26 19.1%	14 10.3%	4 2.9%	15 11.0%	8 5.9%
	30～39歳	209	152 72.7%	75 35.9%	104 49.8%	94 45.0%	37 17.7%	12 5.7%	5 2.4%	24 11.5%	5 2.4%
	40～49歳	351	260 74.1%	129 36.8%	209 59.5%	146 41.6%	54 15.4%	17 4.8%	12 3.4%	28 8.0%	15 4.3%
	50～59歳	452	313 69.2%	179 39.6%	233 51.5%	173 38.3%	66 14.6%	7 1.5%	8 1.8%	72 15.9%	19 4.2%
	60～69歳	488	359 73.6%	215 44.1%	230 47.1%	163 33.4%	55 11.3%	4 0.8%	4 0.8%	49 10.0%	32 6.6%
	70歳以上	745	397 53.3%	251 33.7%	262 35.2%	159 21.3%	71 9.5%	2 0.3%	7 0.9%	107 14.4%	162 21.7%
	無回答	30	15	5	11	5	4	0	0	3	10

【全体】多くの性別・年代で「使い道の透明性が担保されている」が最も高い。

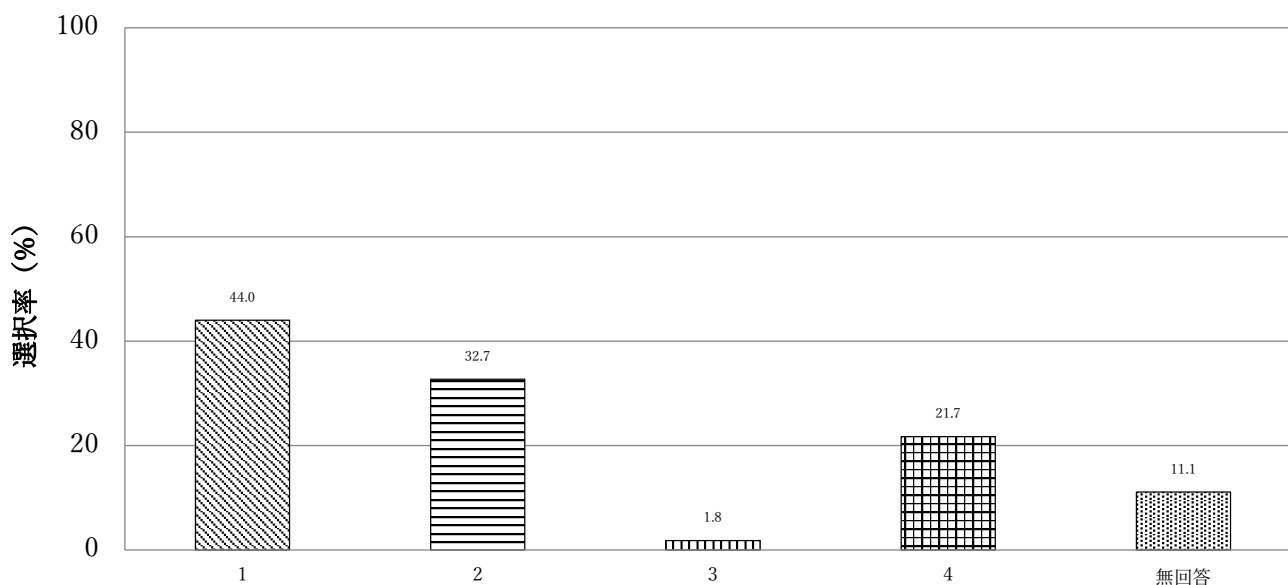
【性別】「使い道の透明性が担保されている」は女性 70.5%で、男性 60.7%を 9.8 ポイント上回る。

【年代】「活動内容に共感できる」は 40 歳代 59.5%、70 歳以上 35.2%で差が大きい。

5-6 さぼーとほっと基金で利用したい決済方法

【問 40】あなたは、寄付をする際にどの決済方法を利用したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「現金（納付書払い）」が44.0%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 現金 (市窓口、銀行窓口での納付書払い)	2. クレジットカード、電子マネー	3. その他	4. 特になし	無回答
全体		2411	1061 44.0%	788 32.7%	43 1.8%	522 21.7%	268 11.1%
性別(F1)	男性	964	395 41.0%	324 33.6%	21 2.2%	237 24.6%	100 10.4%
	女性	1395	649 46.5%	452 32.4%	20 1.4%	275 19.7%	154 11.0%
	その他	10	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%
	無回答	42	15 35.7%	8 19.0%	1 2.4%	6 14.3%	14 33.3%
年齢(F2)	29歳以下	136	60 44.1%	73 53.7%	1 0.7%	23 16.9%	9 6.6%
	30～39歳	209	77 36.8%	106 50.7%	6 2.9%	44 21.1%	8 3.8%
	40～49歳	351	134 38.2%	175 49.9%	10 2.8%	68 19.4%	16 4.6%
	50～59歳	452	194 42.9%	197 43.6%	9 2.0%	107 23.7%	23 5.1%
	60～69歳	488	237 48.6%	163 33.4%	7 1.4%	95 19.5%	33 6.8%
	70歳以上	745	352 47.2%	67 9.0%	9 1.2%	178 23.9%	170 22.8%
	無回答	30	7 23.3%	7 23.3%	1 3.3%	7 23.3%	9 30.0%

【全体】属性によって最も高い回答が分かれている。

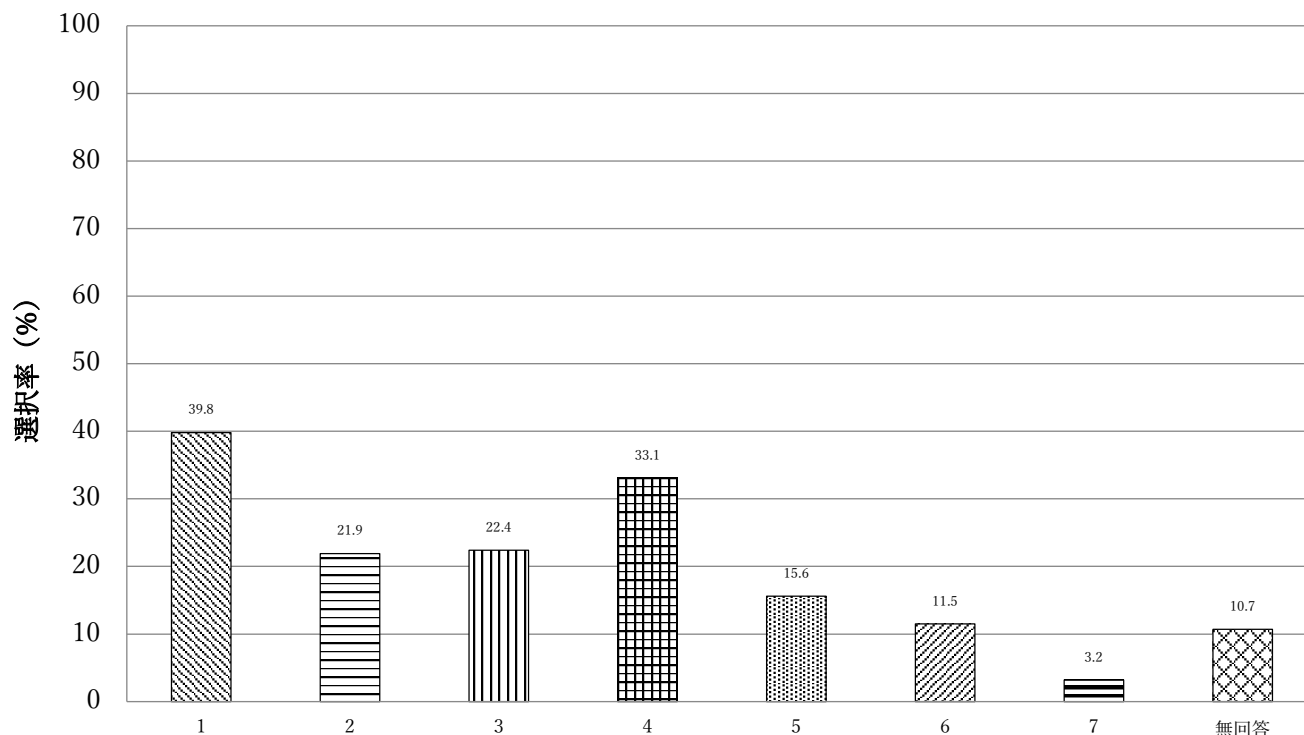
【性別】「現金（納付書払い）」は女性46.5%で、男性41.0%を5.5ポイント上回る。

【年代】「クレジットカード、電子マネー」は29歳以下53.7%、70歳以上9.0%で差が大きい。

5-7 寄付をしたいと思う「市民まちづくり活動」と「6 寄付したいと思わない」理由

【問 41】あなたが寄付をしたいと思う市民まちづくり活動³は以下のどのような分野の活動ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

●「保健・医療・福祉の増進」が39.8%で最多。



F項目	(実数/比率)	n	1. 保健、医療、福祉の増進を図る活動	2. まちづくりの推進を図る活動	3. 文化・スポーツ・観光・経済等の振興を図る活動	4. 子どもの健全育成を図る活動	5. 寄付したいと思うが、分野にこだわらない	6. 寄付したいと思わない	7. その他	無回答
全体		2411	959	527	539	798	376	278	76	258
性別(F1)										
男性		964	39.8%	21.9%	22.4%	33.1%	15.6%	11.5%	3.2%	10.7%
女性		1395	38.1%	25.5%	26.9%	35.1%	13.7%	13.9%	3.1%	10.2%
その他		10	581	274	274	450	236	138	44	146
無回答		42	41.6%	19.6%	19.6%	32.3%	16.9%	9.9%	3.2%	10.5%
			0	0	0	3	2	4	1	0
			0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%
年齢(F2)										
29歳以下		136	26.2%	16.7%	14.3%	16.7%	14.3%	4.8%	2.4%	33.3%
30～39歳		209	62	31	42	62	18	11	1	8
40～49歳		351	45.6%	22.8%	30.9%	45.6%	13.2%	8.1%	0.7%	5.9%
50～59歳		452	80	58	51	93	28	32	5	5
60～69歳		488	38.3%	27.8%	24.4%	44.5%	13.4%	15.3%	2.4%	2.4%
70歳以上		745	125	78	89	145	57	36	11	18
無回答		30	35.6%	22.2%	25.4%	41.3%	16.2%	10.3%	3.1%	5.1%
			196	110	109	134	76	73	20	20
			43.4%	24.3%	24.1%	29.6%	16.8%	16.2%	4.4%	4.4%
			211	102	129	140	67	59	16	36
			43.2%	20.9%	26.4%	28.7%	13.7%	12.1%	3.3%	7.4%
			280	148	117	220	123	65	22	160
			37.6%	19.9%	15.7%	29.5%	16.5%	8.7%	3.0%	21.5%
			5	0	2	4	7	2	1	11
			16.7%	0.0%	6.7%	13.3%	23.3%	6.7%	3.3%	36.7%

【全体】属性によって最も高い回答が分かれている。

【性別】「文化・スポーツ・観光・経済等の振興」は男性26.9%で、女性19.6%を7.3ポイント上回る。

【年代】「子どもの健全育成」は29歳以下45.6%、60歳代28.7%で差が大きい。

³ 市民が営利を目的とせず、市内において町内会、自治会、ボランティア団体、特定非営利活動法人等又は個人により自発的に行う公益的な活動。